

# 令和5年度公立高等学校 みやぎ学力状況調査 分析結果報告書

Pick Up! 国語・数学・英語	P. 1
I 調査の概要	P. 4
II 学力状況に関する調査結果の概要と分析	P. 5
1 国語	
(1) 調査結果の概要	P. 5
(2) 分析結果から見える授業づくりのポイント	P. 7
(3) 設問ごとの分析結果	P. 8
2 数学	
(1) 調査結果の概要	P. 13
(2) 分析結果から見える授業づくりのポイント	P. 15
(3) 設問ごとの分析結果	P. 16
3 英語	
(1) 調査結果の概要	P. 26
(2) 分析結果から見える授業づくりのポイント	P. 28
(3) 設問ごとの分析結果	P. 29
III 学習状況等に関する調査結果の概要と分析	P. 39
1 学習状況	P. 39
2 心身の健康、志教育等	P. 53
IV 学力向上に向けた今後の取組	P. 56
V 学習状況に関する調査 設問ごとの結果	P. 57
VI 学習状況に関する調査の回答と 学力状況に関する調査の共通問題正答率の関係	P. 71

令和5年11月  
宮城県教育委員会

## 登場人物の行動や心情の描かれ方を捉えること

### 令和5年度調査問題

#### 第3問（文学的文章）

問4 本文の表現の特色・内容の説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① 馬淵と妻の会話を軸に場面が展開することで、娘の結婚についてどう思っているのか、互いの心中を押し量ろうとする夫婦の思いやりが描かれている。
- ② 馬淵の描写を中心に、妻とのやり取りや馬淵自身の思いが簡潔な文体で表され、娘の結婚という出来事に直面した父親の感情の機微が描かれている。
- ③ 一貫して馬淵の視点で描かれつつも、あえて心情描写を排除し事実のみを淡々と書き連ねることで、かえって父親としての葛藤が浮き彫りになっている。
- ④ 馬淵の日常の営みを精密に情景描写で表しながら、小さな事件によって妻や娘たちが離れていくさまを浮き彫りにし、馬淵の喪失感を際立たせている。

設問の  
ねらい

表現の特色・内容を叙述に基づいて捉えられるかをみる

正答率

55.5%

【表1】誤答の類型と選択率

誤答率 (%)	無答率 (%)	誤答の選択肢の選択率(%)			
		①	②	③	④
43.8	0.7	16.5	○	22.6	4.7

【表2】他問題との比較

R5 第3問(文学的文章)における問1～問4の正答率

	問1	問2	問3	問4
正答率(%)	67.5	74.8	70.8	55.5

### 分析と考察

第3問の問4は、文学的文章を読み、本文の表現の特色・内容を叙述に基づいて捉えられるかをみる問題である。本文中から、それぞれの場面での主人公の心情を捉え、それらを関連付けることで、主人公の微細な心の動きを捉えることができる。

生徒はどこでつまづいたのか？

誤答の選択肢を選んだ生徒は、主人公「馬淵」の心情の変化を捉え、描写の仕方と関連付けることができていると考えられる。「馬淵」の心情は直接的に描写されているところもあれば、妻とのやりとりや行動、情景などを通して暗示的に描写されているところもある。細部の描写にも着目しながら「馬淵」の心情の変化を丁寧に捉えていくこと、さらに、心情がどのように描写されているかを捉えることに課題がある。

登場人物の行動や心情の描かれ方を捉える

第3問のうち、本文における表現の特色・内容の把握に関する問4の正答率は、問1～3の正答率と比較して下回っている【表2】。この結果から、それぞれの場面における内容の把握は概ねできているが、登場人物の行動や心情といった内容とそれらがどのように描かれているかといった形式とを関連付け、表現の特色を見いだすことに課題があるといえる。

### 高校入試の結果分析から

文学的文章について、叙述に基づいて的確に内容を捉えたり、表現に着目し人物の心情を捉えたりすることに課題があることは、現2年生が受験した令和4年度高校入試の結果分析※でも指摘があり、継続的な課題といえる。

※令和4年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「国語」第二問 問四（文章中の表現から登場人物の心情の変化を捉え、表現する問題）

### 課題への対応

文学的文章を扱う場合、作品を通読し、内容や構成、展開などの全体像を捉えることが、単元の学習活動の起点となる。登場人物の設定や相互関係、出来事や場面の推移を的確に把握した上で、「登場人物の心情の把握、解釈」、「構成や展開、表現の仕方、表現の特色についての評価」、「考えの形成・共有」へとつなげていくことが大切である。また、作品の内容や形式について、批評したり議論したりする言語活動を工夫していきたい。

「授業づくりのポイント」

p. 7

Pick Up!  
数学

改善・充実を図りたい事項

データを適切な手法を用いて分析し、その特徴を表現すること

令和5年度調査問題

A-18/B-10

下の表は、あるクラスの生徒10人の、理科の小テストの得点と、数学の小テストの得点(各10点満点)の結果をまとめたものである。

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
理科(点)	6	6	7	3	10	3	8	6	6	5
数学(点)	8	2	2	9	8	6	8	4	9	4

理科の得点の平均値と数学の得点の平均値はともに6点であり、理科の得点の標準偏差は2点であった。数学の得点の標準偏差は  $\frac{ト}{シ}$  点であることから、 $\frac{ナ}{ス}$  ことが分かる。

- ト/シ : ① 0      ②  $\sqrt{2}$       ③ 2      ④  $\sqrt{6}$   
 ⑤ 6      ⑥  $\sqrt{7}$       ⑦ 7      ⑧  $\sqrt{70}$
- ナ/ス : ① 理科の方が、数学より得点の散らばりの度合いが大きい  
 ② 数学の方が、理科より得点の散らばりの度合いが大きい  
 ③ 理科と数学の得点の散らばりの度合いは等しい

正答率  
16.2%

設問の  
ねらい

標準偏差を求め、データの散らばりの度合いを考察できるかをみる

【表1】誤答の種類と選択率

誤答率 (%)	無答率 (%)	誤答の選択率(%)				正答
		③、③	⑤、②	④、②	⑦、②	
80.8	3.0	15.6	11.6	8.3	8.2	⑥、②

【表2】過去問題との比較

H25~H27に出題した、「分散または標準偏差を求める問題」の正答率

出題年度	H25	H26	H27
正答率(%)	13.3 ※選択型B	34.0 ※A、B共通	9.9 ※選択型B

分析と考察

標準偏差を計算し、その大小から2種類のデータの散らばりの度合いを比較し、結果を表現する問題である。

生徒はどこでつまづいたのか？

「③、③」と解答した生徒は、数学の得点の標準偏差の計算を行わず、理科の得点の平均値が等しいことから標準偏差も等しいと判断したと考えられる。また、「⑤、②」や「④、②」と解答した生徒も、与えられた平均値のみに着目したと考えられ、いずれも標準偏差の意味の理解に課題がある。

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果から

現2年生の中学校3年生時に実施された調査において、2種類のデータの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することの全国正答率は11.1%であり、この調査の報告書では全国的な課題として挙げられた。同問の本県(仙台市を除く公立)の正答率は、6.3%であった。

高校入試の結果分析から

現2年生が受験した令和4年度高校入試の第二問問題4において、データの活用の問題が出題されている。その(2)の正答率は27.8%であり、2種類のデータから傾向を的確に捉えて判断することができていないとの指摘があり、継続的な課題といえる。

課題への対応

データの分析の指導に当たっては、関連する小・中学校の内容を確認し、必要に応じて、補うことが重要である。その上で、具体的なデータを用いて、統計的に処理し、データの傾向を捉え説明する活動や、教科横断的な視点で、「情報I」と相互の内容の関連を図り、データに含まれる傾向を見いだす活動を設定し、知識や技能を活用できるようにする。

「授業づくりのポイント」  
p. 15

Pick Up!  
英語

改善・充実を図りたい事項

## 英語を聞いて、発話全体から話し手の意図を把握すること

### 令和5年度調査問題

#### ② (リスニング問題) (1)

英語を聞いて、その内容を最も適切に表しているものを、1~4の中から1つ選びなさい。英語は2回放送されます。

(放送文) Mom, you cooked too much food for me. I'm full now.

- 1 The speaker cooked too much food.
- 2 The speaker doesn't want to eat any more.
- 3 The speaker's mother ate too much.
- 4 The speaker's mother didn't cook anything.

正答率

35.9%

### 設問の ねらい

短い発話を聞き、話し手の意図を把握することができるかをみる

【表1】誤答の種類と選択率

誤答率 (%)	無答率 (%)	誤答の選択肢の選択率(%)			
		1	2	3	4
63.4	0.7	32.8	○	18.5	12.1

【表2】過去問題との比較

R3~5に出題した、「短い発話を聞き、話し手の意図を把握する問題」の正答率

出題年度	R3	R4	R5
正答率(%)	74.5	77.5	35.9

### 分析と考察

②は、短い発話(10~15語程度)を聞き、話し手の意図を問う問題である。

#### 生徒はどこでつまづいたのか？

誤答の選択肢1を選んだ生徒は、“cooked too much food”を断片的に聞き取ったものの、それが誰の動作なのかを把握できなかったと考えられる。また、選択肢3と4を含め、誤答の選択肢を選んだ生徒は、1文目と2文目の内容を関連付けられず、話し手が全体として何を伝えようとしているのかを捉えることができなかったと推察される。

#### 否定の意味合いが含まれたことで正答率が低下

同じねらい・出題形式だった過去2回の正答率【表2】と今年度の正答率を比較すると、40ポイント前後低下した。過去2回との大きな違いは、放送文中にある“too(あまりにも~)”により、文全体が否定の意味合いをもつようになったことであり、これが話し手の意図を把握することを困難にしたと考えられる。生徒の習熟状況を適切に把握しながら、既習の語や文法事項を含む句を聞き取ることから、1文が表す内容を英語のまま捉えること、そして、発

話全体から話し手の意図を把握することへと、徐々に段階を上げていく指導が必要である。

#### 高校入試の結果分析から

現2年生が受験した令和4年度高校入試※においては、短い発話を聞いて、概要や要点を的確に把握すること、及び、発話に含まれる文法事項を踏まえて発話内容を理解することに課題があるとの指摘があり、継続的な課題といえる。

※令和4年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「英語」第一問 問題1 1番(短い発話を聞いて、内容を適切に表しているイラストを選択する問題)

#### 課題への対応

- ① 「誰が」「何をしたのか」など、聞き取るポイントを確認してから、発話を聞くようにする。
- ② “What does the speaker want to say?”など、話し手の意図を問う発問をする。

「授業づくりのポイント」

p. 28

# I 調査の概要

## 1 学力状況に関する調査

- (1) 目的 生徒の学力状況を把握し、各学校における学習指導及び進路指導の改善に役立てる。
- (2) 調査対象 公立（県立・仙台市立・石巻市立）高等学校 74校  
2年生 12, 277人
- (3) 実施期間 令和5年7月3日（月）から7月10日（月）までの間、各学校で実施
- (4) 実施内容
- ① 実施教科
- 国語、数学、英語の3教科
  - 高等学校第1学年修了までに学習した基礎的・基本的な内容を中心に出題し、平均正答率を50%と設定
  - 各教科、共通問題に加え学校選択問題を設定
    - ※ 学校選択型A問題は基礎的・基本的な内容の問題を設定（数学及び英語の学校選択型A問題は義務教育段階の内容を含む）
    - ※ 学校選択型B問題は基礎的・基本的な内容の問題及び応用力をみる問題を設定
- ② 実施人数
- 国語 11, 552人（A問題選択56校4, 815人、B問題選択31校6, 737人）  
数学 11, 536人（A問題選択58校5, 306人、B問題選択29校6, 230人）  
英語 11, 536人（A問題選択57校5, 119人、B問題選択30校6, 417人）  
※ 複数課程を併置又は分校を置く学校については、各課程・分校をそれぞれ1校として学校数を算出（全日制69校、定時制15校、分校3校、計87校）

## 2 学習状況等に関する調査

- (1) 目的 生徒の学習状況等を把握し、各学校における学習指導及び進路指導の改善に役立てる。
- (2) 調査対象 公立（県立・仙台市立・石巻市立）高等学校 75校  
1年生 12, 680人、 2年生 12, 277人
- (3) 実施期間 令和5年7月3日（月）から7月10日（月）までの間、各学校で実施
- (4) 実施内容
- ① 調査内容  
生徒の学習状況、心の有り様及び志教育に係る意識等に関する質問紙調査
- ② 実施人数
- 1年生 12, 122人（回収率 95.6%）  
2年生 11, 600人（回収率 94.5%）

## II 学力状況に関する調査結果の概要と分析

### 1 国語

#### (1) 調査結果の概要

##### 考察と課題

◇…相当数の生徒ができている ◆…課題がある

<〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」(論理的文章)>

- ◇ 筆者の考えが端的に述べられた部分を読んでその内容を理解することは、概ねできている。〔2〕1.2〕
- ◆ 対比や例示など、筆者が考えを示すために用いた文章の構成の仕方について叙述を基に捉えることに課題がある。〔2〕4〕

⇒ 課題1:文章の構成や論理の展開などについて叙述を基に捉えること。

<〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」(文学的文章)>

- ◇ 文章から登場人物の心情を捉えることは、概ねできている。〔3〕1～3〕
- ◆ 登場人物の心情の変化を描写の仕方と関連付けて捉えることに課題がある。〔3〕4〕

⇒ 課題2:登場人物の行動や心情の描かれ方を捉えること。

<〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」(古文・漢文)>

- ◇ 漢文の内容把握に必要となる訓読の決まりの知識は、概ね定着している。〔5〕A1〕
- ◆ 古文の内容把握に必要となる文法の知識について、定着に課題がある。〔4〕1〕
- ◆ 古文・漢文ともに、登場人物の関係や場面の推移を把握することに課題がある。〔4〕3.4、〔5〕B2.3〕

⇒ 課題3:内容や構成、展開などについて叙述を基に把握すること。

<〔知識及び技能〕(言葉の特徴や使い方に関する事項)>

- ◇ 文の組立て方や敬語の知識は、概ね定着している。〔1〕3.4〕
- ◆ 慣用表現を理解し、文の中で適切に使うことについて、課題がある。〔1〕2〕

⇒ 課題4:社会生活で活用できる語句の量を増し、用法を理解して、文の中で使うこと。

#### ① 共通問題の正答率(調査対象全体)

共通問題正答率 59.6%(令和4年度62.0%)

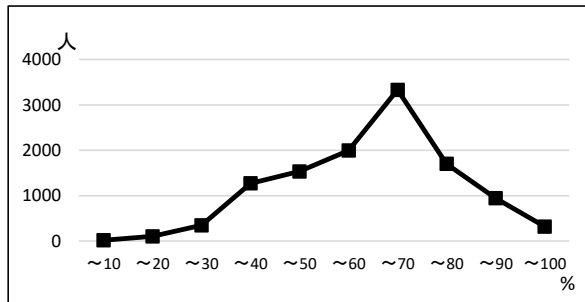


図1 【共通問題・国語】正答率の度数分布

<概況>

共通問題における度数分布は昨年度と同様であった。第1問では、問2の慣用表現に関する問題で、昨年度と比較して49.9ポイント低下するなど、特に正答率の低下が目立った。第2問では、問4の、本文の論理展開の把握に関する問題で、正答率が昨年度と比較して15.8ポイント低下した。第4問では、問3以降の、内容把握に関する問題で、正答率が昨年度より低下している。特に、問5の、本文全体の内容を確認する問題では、昨年度と比較して9.0ポイント低下した。

#### ② 共通問題の小問ごと正答率(調査対象全体)

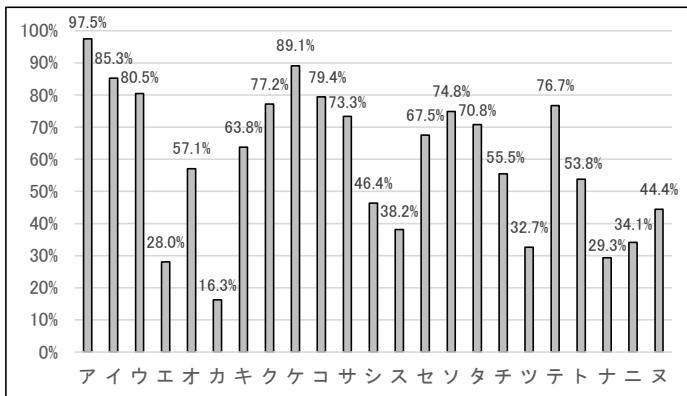


図2 【共通問題・国語】調査対象全体の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容	
ア～オ	漢字・語句・文法	漢字の読み書き	
カ	漢字・語句・文法	慣用表現	
1	キ	漢字・語句・文法	文の組立て
	ク	漢字・語句・文法	敬語
	ケ	漢字・語句・文法	助動詞の用法
2	コ～シ	現代文(評論)	内容の把握
	ス	現代文(評論)	論理展開の把握
3	セ～タ	現代文(小説)	心情の把握
	チ	現代文(小説)	表現の特色・内容の把握
4	ツ	古文	文法の知識
	テ・ト	古文	古語の知識
	ナ・ニ	古文	文脈の解釈
	ヌ	古文	内容の把握

③ 学校選択型A(A問題選択者)の小問ごと正答率

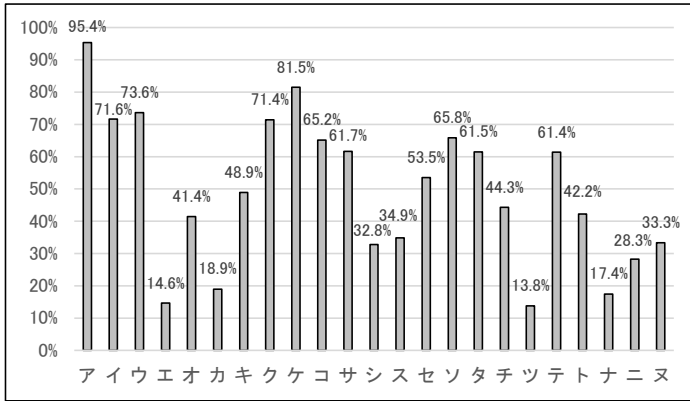


図3 【共通問題・国語】A選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容	
1	ア～オ	漢字・語句・文法	漢字の読み書き
	カ	漢字・語句・文法	慣用表現
	キ	漢字・語句・文法	文の組立て
	ク	漢字・語句・文法	敬語
2	ケ	漢字・語句・文法	助動詞の用法
	コ～シ	現代文(評論)	内容の把握
3	ス	現代文(評論)	論理展開の把握
	セ～タ	現代文(小説)	心情の把握
4	チ	現代文(小説)	表現の特色・内容の把握
	ツ	古文	文法の知識
	テ・ト	古文	古語の知識
	ナ・ニ	古文	文脈の解釈
	又	古文	内容の把握

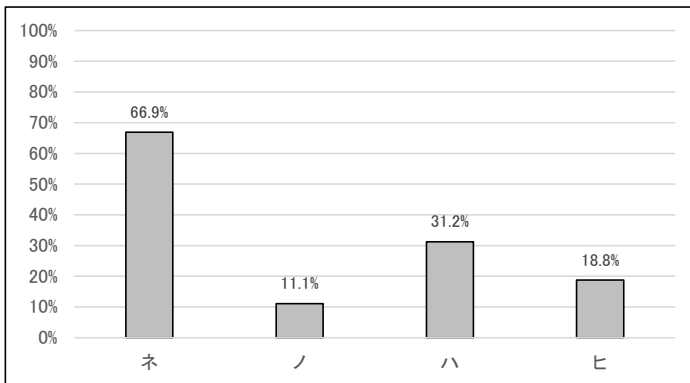


図4 【選択型A問題・国語】小問ごと正答率

学校選択型A問題

解答記号	分類	内容	
5 A	ネ	漢文	返り点の理解
	ノ	漢文	句法の理解
	ハ	漢文	語句の理解
	ヒ	漢文	句法・語句の理解

④ 学校選択型B問題(B問題選択者)の小問ごと正答率

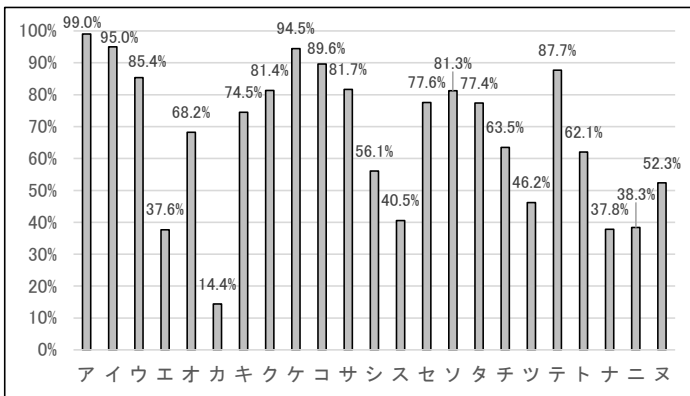


図5 【共通問題・国語】B選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容	
1	ア～オ	漢字・語句・文法	漢字の読み書き
	カ	漢字・語句・文法	慣用表現
	キ	漢字・語句・文法	文の組立て
	ク	漢字・語句・文法	敬語
2	ケ	漢字・語句・文法	助動詞の用法
	コ～シ	現代文(評論)	内容の把握
3	ス	現代文(評論)	論理展開の把握
	セ～タ	現代文(小説)	心情の把握
4	チ	現代文(小説)	表現の特色・内容の把握
	ツ	古文	文法の知識
	テ・ト	古文	古語の知識
	ナ・ニ	古文	文脈の解釈
	又	古文	内容の把握

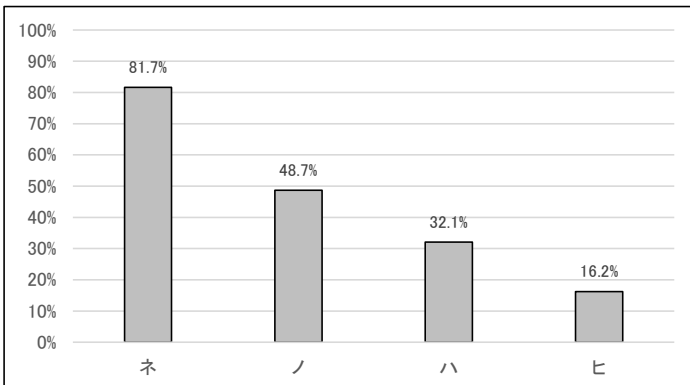


図6 【選択型B問題・国語】小問ごと正答率

学校選択型B問題

解答記号	分類	内容	
5 B	ネ	漢文	基本語句の読み
	ノ	漢文	句法の理解・解釈
	ハ	漢文	文脈の把握
	ヒ	漢文	内容の把握

## (2)分析結果から見える「現代の国語」「言語文化」の授業づくりのポイント

### POINT1 - [思考力、判断力、表現力等]「読むこと」(論理的な文章)

**文**章の構成や論理の展開について叙述を基に捉えることを大切にする。文章の構成や論理の展開などを評価して、自分の考えを深められるようにする。

- 筆者が、どのような話題を、どのような順序で、どのように組み立てているかなど、文章の構成や論理の展開の仕方について叙述を基に捉えることを大切にする。
- 文章の構成や論理の展開から、筆者の意図について考えたり話し合ったりする活動を設定して、自分の考えを深めることにつなげる。

### POINT2 - [思考力、判断力、表現力等]「読むこと」(文学的な文章)

**登**場人物の行動や心情の描写の仕方に着目し、その効果を評価することを大切にする。作品の解釈を通じて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深められるようにする。

- 細部の描写にも着目しながら、登場人物の心情や、登場人物相互の関係の変化を丁寧に捉えるとともに、その描写の仕方を把握することを大切にする。また、作品中の特徴的な心情描写や情景描写を取り上げ、その効果について考えたり話し合ったりする活動を充実させる。
- 作品を読んで解釈したことについて考えたり話し合ったりする活動を設定して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることにつなげる。

### POINT3 - [知識及び技能]、[思考力、判断力、表現力等]「読むこと」(古文・漢文)

**作**品の内容や構成、展開について叙述を基に捉えられるようにする。作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を把握し、我が国の言語文化への親しみをもつことを大切にする。

- 作品を繰り返し音読したり、現代語訳と対照したりし、作品の内容や構成、展開について叙述を基に把握できるようにする。
- 作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を把握し、解釈した内容を他者と共有するなどして考えを深めるとともに、我が国の言語文化に対する考えを表現する活動を設定し、我が国の言語文化に対して親しみを持たせることを大切にする。

### POINT4 - [知識及び技能] (言葉の特徴や使い方に関する事項)

**話**したり、聞いたり、書いたり、読んだりする具体的な言語活動を充実させ、生涯にわたる社会生活の中で活用できる語句の量を増し、語句の理解を深めるようにする。

- 教材中にあることわざや慣用表現、敬語等を取り上げ、それらを用いて表現する場面を設け、適切さや効果について評価し合う活動を効果的に設定する。
- 学校図書館を活用した読書の活動を設定するなどして、多様な語句に触れる機会を設けるとともに、それらを用いて学んだことや考えたこと、感じたことを伝え合う活動を大切にする。



### (3)設問ごとの分析結果

#### ① 出題のねらいと内容

「現代の国語」及び「言語文化」で扱う〔知識及び技能〕、並びに、〔思考力、判断力、表現力等〕のうち、「読むこと」の内容を中心に、中学校までの学習内容を基礎として、高等学校第1学年修了までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を、選択問題形式で出題した。

#### ② 設問ごとのねらい、結果の分析と考察

##### 第1問〔知識及び技能〕(言葉の特徴や使い方に関する事項)

問1は漢字の読み書き、問2は慣用表現、問3は文の組立て、問4は敬語、問5は助動詞の用法についての理解をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率(%)				
						①	②	③	④	
問1	(1)	ア	③	<b>97.5</b>	2.4	0.1	1.0	0.6	○	0.8
	(2)	イ	②	<b>85.3</b>	14.5	0.2	3.2	○	6.4	4.9
	(3)	ウ	④	<b>80.5</b>	19.3	0.2	16.4	0.8	2.1	○
	(4)	エ	③	<b>28.0</b>	71.8	0.2	22.5	42.6	○	6.6
	(5)	オ	④	<b>57.1</b>	42.8	0.1	7.2	32.1	3.5	○
問2	カ	①	<b>16.3</b>	83.5	0.2	○	38.2	9.5	35.8	
問3	キ	④	<b>63.8</b>	35.9	0.3	12.9	10.9	12.2	○	
問4	ク	④	<b>77.2</b>	22.6	0.2	12.5	6.1	4.0	○	
問5	ケ	②	<b>89.1</b>	10.7	0.2	1.9	○	5.7	3.1	

##### 【考察】

問1では、漢字の書きの問題の正答率は3問とも高く、それぞれ80%を超えている。ただし、(3)では、誤答の選択肢①「変える」を選択した者が多い。「取り替える。交換する。」の意味の「替える」が問題文と関係付けられなかったものと考えられる。一方で、漢字の読みの問題の正答率は低い。その中でも(4)の正答率が低く、誤答の選択肢①「いちい」、②「しい」の選択率が高い。「市井」という熟語を知らなかったものと考えられる。漢字の正しい読みを知ることで辞書で意味を確認できるようになる。授業での音読を大切に漢字の正しい読みを定着させるとともに、辞書を引く機会を設定して活用できる語彙を増やしていきたい。

問2の「琴線に触れる」は第1問の中で最も正答率が低い。この慣用表現は令和3年度でも同一形式で出題しているが、その際は正しい用法の選択肢として出題し、選択率が13.2%であった。ことわざや慣用表現については、それらを用いて表現する活動や、その適切さや効果について評価し合う活動を設定したい。

問3は、正答以外の誤答の選択肢の選択率がいずれも同程度であり、「あたかも～ようだ」の使い方を正しく理解していないことがうかがえる。文の成分の順序や照応などの文の組立て方を正しく確認し、知識の定着を図りたい。

問4は、誤答の選択肢①の選択率が高い。①の選択肢は、「お～になる」の尊敬語が用いられ、文脈から「注文の品」を高める表現になっている。「注文の品」を揃えるのは店側であることから、敬語の用法としては不適切である。敬語は、社会での言語生活に必要な知識・技能であり、確実に定着を図る必要がある。

問5は、助動詞「られる」の用法を識別する問題であり、平成26、28年度と同一形式の出題である。正答率は平成26年度が55.3%、平成28年度が58.9%であり、今年度は30ポイント

以上上昇して89.1%に達した。国語を正しく表現するために、文法については折に触れて確認し、確実な定着を図りたい。

## 第2問 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」(論理的な文章)

### 問1・問2・問3は本文の内容、問4は本文の論理展開についての把握をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率(%)			
						①	②	③	④
問 1	コ	④	<b>79.4</b>	20.3	0.3	8.8	6.0	5.4	○
問 2	サ	①	<b>73.3</b>	26.3	0.4	○	7.8	12.4	6.1
問 3	シ	④	<b>46.4</b>	53.1	0.5	12.3	18.4	22.4	○
問 4	ス	③	<b>38.2</b>	61.2	0.6	16.0	28.1	○	17.1

#### 【考察】

問1は、文脈を踏まえて内容を的確に捉えられるかをみる問題である。正答率は79.4%である。本文のキーワードについて、傍線部Aを含む形式段落に示される2つの前提条件を捉え、整理できていた。

問2は、文脈や語句の意味を踏まえて、内容を的確に捉えられるかをみる問題である。正答率は73.3%である。「相反する」の意味を理解できていることに加え、「家族」と「共同体」の論理の相違点も整理できていた。

問3は、文脈を踏まえて要旨を把握できるかをみる問題である。人類が「独自の進化」を遂げた要因が教育の必要性の認識と“共感力”の獲得にあるという要旨を正確に捉えることが求められる。正答率は46.4%にとどまり、誤答の選択肢の選択が同様に分散している。その原因として、選択する際の根拠となる内容を的確に把握できていなかったことが考えられる。段落と段落の関わりを整理するなどして本文の展開の仕方を捉え、的確な内容把握につなげたい。

問4は、文章全体の論理展開を的確に捉えられるかをみる問題である。正答率が第2問の中で最も低く、38.2%にとどまった。正答の選択肢③にある「サルや霊長類などの事例を具体的に対比させながら」「『教える』という行為が生物の中で人間だけに見られる行動であることを述べている」という本文の構成や要旨を捉えきれなかったことに原因があると考えられる。

全体として、傍線部前後の把握はできていたが、文章全体を見渡し、文章の構成や内容を把握することに課題があるといえる。筆者が、どのような話題を、どのような順序で、どのように組み立てているかなど、対比の構造や例示の仕方などに注意しながら、段落と段落の関わりを整理するなどして文章の構造を捉え、要旨を把握することにつなげることが大切である。

## 第3問 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」(文学的な文章)

### 問1～問3は人物の心情把握、問4は本文における表現の特色・内容の把握をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率(%)			
						①	②	③	④
問 1	セ	③	<b>67.5</b>	32.0	0.5	15.4	10.1	○	6.5
問 2	ソ	②	<b>74.8</b>	24.6	0.6	11.8	○	7.1	5.7
問 3	タ	④	<b>70.8</b>	28.5	0.7	4.5	13.5	10.5	○
問 4	チ	②	<b>55.5</b>	43.8	0.7	16.5	○	22.6	4.7

#### 【考察】

問1は、文脈に即して主人公の心情を的確に捉えられるかをみる問題である。正答率は67.5%であるが、髪を切ることに「馬淵」が積極的であるとする内容の誤答の選択肢①、②の選択率が合わせて25%を超えた。「なにもお洒落して迎えることはない」という表現に、長女の男友達との面会に対して後ろ向きな「馬淵」の心情が描写されていることを捉えることができなかったと考

えられる。

問2は、文脈に即して主人公の「妻」の心情を適切に解釈できるかをみる問題である。正答率は74.8%である。「目を大きくして」という表現が、「妻」の驚きの感情を表す描写であると捉えることができているといえる。

問3は、文脈に即して、主人公の心情を的確に捉えられるかをみる問題である。正答率は70.8%である。「肝腎なことはなにも話さなかった」が、「枝村」に良い印象を持てたことや家族が「枝村」を受け入れていることから、長女の結婚の話が進んでいくことに対して「馬淵」が前向きになっているということを捉えることができているといえる。

問4は、文章全体の表現の特色や内容について叙述を基に捉えられるかをみる問題である。細部の描写にも着目しながら「馬淵」の心情の変化を丁寧に捉えていくこと、さらに、登場人物の行動や心情がどのように描写されているかを捉え、その効果について評価することが求められる。本文は、登場人物の言動が「馬淵」「彼」「妻」など三人称で表現され、第三者の視点から人物や出来事、場面が描かれている。また、一文一文の構造が明瞭で、修飾表現も過剰でなく、比較的短い文が連なっている。こうした表現の特色によって、長女の結婚を前にした「馬淵」の心情が、緩やかに移り変わっていたことが印象付けられている。正答率は55.5%にとどまり、誤答の選択肢③を22.6%の生徒が選んでいる。誤答の選択肢③を選んだ生徒は、娘が「彼（枝村）」を家に連れてくるということを「馬淵」が知る場面で始まり、娘たちや「妻」が「彼（枝村）」と談笑する場面で終わるという展開から、「父親としての葛藤」が描かれていると判断し、本文全体の表現の仕方を吟味しなかったと考える。「内心ほっとした」「おそれていた」など、「馬淵」の心情が明示されていることから、「心情描写を排除」していないということに気付くこともできたはずである。

全体として、物語の展開と登場人物の心情については、概ね捉えられているといえる。その一方で、登場人物の心情の推移を把握すること、心情や情景などの描写の仕方と関連付けて捉えることが課題である。作品にある特徴的な表現に着目し、その表現の効果について考え、言葉を用いて表現する活動を設定するなどして、表現の仕方について捉え、評価できるようにすることが大切である。

#### 第4問 [知識及び技能]、[思考力、判断力、表現力等]「読むこと」(古文)

問1は文法の知識、問2は古語の知識、問3・問4は文脈の解釈と把握、問5は本文全体についての内容の把握をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)			
						①	②	③	④
問 1	ツ	④	<b>32.7</b>	66.2	1.1	17.6	13.9	34.7	○
問 2	a	①	<b>76.7</b>	22.3	1.0	○	10.8	7.7	3.7
	b	②	<b>53.8</b>	45.2	1.0	12.0	○	23.7	9.5
問 3	ナ	③	<b>29.3</b>	69.5	1.2	14.7	34.2	○	20.6
問 4	ニ	②	<b>34.1</b>	64.5	1.4	9.5	○	23.7	31.2
問 5	ヌ	③	<b>44.4</b>	54.1	1.5	21.9	15.0	○	17.1

#### 【考察】

問1は、動詞の活用形の正しい組み合わせを選ぶ問題である。正答率は昨年度と比較して約17ポイント低下し、32.7%にとどまった。誤答の選択肢①、③の選択率が合わせて50%を超えていることから、二重傍線部（ア）を判断する際に必要となる、動詞が接続助詞「て」に接続する場合は連用形になるという基本的知識が定着していないと考えられる。これは口語文法にも当てはまる知識であることから、現代語と古語の類似点や相違点を意識しながら学習を進めたい。

問2は、古語の文中での意味を文脈から判断して適切なものを選ぶ問題である。傍線部 a は、昨

年度と同一形式の出題であり、正答率が約10ポイント上昇した。傍線部bについては、過去2年度、形容詞を取り上げていたが、今年度は古今同義の副詞を出題し、正答率は昨年度と同様であった。

問3は、文脈に沿って語を解釈できるかをみる問題である。正答率が29.3%にとどまったことから、反語表現が定着していないことが考えられる。「AなじかはB」は、「AはどのようにしてBか、いやBではない」と解釈する。今回の文ではAに「月」が入り、Bに「楼にのぼる(べき)」が入る。したがって、「いや、Bではない」のところは「楼に登らない(だろう)」が入る。これを満たす選択肢は③となる。

問4は、宴の場にいた人々が恥じ入って立ち去ったという文脈を的確に捉えられるかをみる問題である。正答率は34.1%にとどまった。誤答の選択肢④の選択率が31.2%であることから、老尼の述べる「故三位殿」と本文冒頭の「菅三位(三位)」とが同一人物であること、本文が「菅三位」の漢詩の表現をめぐる内容であること、といった文脈を把握できていなかったと考えられる。古文では同一人物を異なる呼称で記すことが多いということを踏まえ、文脈や全体の内容を的確に把握することが求められる。

問5は、本文全体を捉え、ことわざの意味や、作者が教訓として言い表したかったことを的確に把握できるかをみる問題である。正答率は44.4%にとどまった。宴に参加していた人々が老尼を軽んじた振る舞いから、筆者による教訓が導き出されているという文脈を捉えられていなかったと考えられる。老尼がどのような人物であるか、老尼と宴に参加していた人々とのやり取りなど、登場人物に関する描写を整理し、文章の展開や大意の的確な把握につなげることが必要である。

全体として、問1、問3、問4の正答率が昨年度と比較して20ポイント前後低下している。本文の内容を的確に把握するためには、出来事を時系列に並べて整理するなど、文章全体の構成や展開を捉えることが大切となる一方、必要に応じて文章の細部を検討することも必要となる。作品に表れた我が国の言語文化のものの見方、感じ方、考え方を把握し、解釈した内容を他者と共有するなどして考えを深めることを大切にしたい。

## 第5問 【知識及び技能】、【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」(漢文)(学校選択型A用問題)

問1は返り点の理解、問2は句法の理解、問3・問4は語句・句法の理解をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率(%)			
						①	②	③	④
問 1	ネ	③	<b>66.9</b>	31.7	1.4	16.7	10.1	○	4.9
問 2	ノ	①	<b>11.1</b>	87.4	1.5	○	28.4	16.7	42.3
問 3	ハ	②	<b>31.2</b>	66.6	2.2	30.7	○	19.4	16.5
問 4	ヒ	④	<b>18.8</b>	78.9	2.3	23.4	42.6	12.8	○

### 【考察】

問1は、漢文訓読の決まりに従って読むときの順番として正しいものを選ぶ問題である。正答率は昨年度と比較して13.5ポイント上昇しているが、正答率が66.9%にとどまった。漢文訓読の基本がまだ定着していないといえる。

問2は、使役の句法について、正しい書き下し文を選ぶ問題である。昨年度は「使」、今年度は「令」で出題した。正答率は昨年度と比較して約50ポイント低下し、11.1%にとどまった。「令」が使役の句法として用いられると判断できていないことが原因だと考えられる。

問3は、再読文字「当」(「まきニ～ベン」)について、正しい書き下し文を選ぶ問題である。正答率は31.2%にとどまっている。誤答の選択肢①の選択率が30.7%となっていることから、似た読み方をする他の再読文字「将」(まきニ～ントス)と混同していることが考えられる。

問4は、反語の句法「豈～乎」(「あニ～ンヤ」)を踏まえ、適切な解釈を選ぶ問題である。誤答の選択肢①と②の選択率が合わせて66%となっているが、詠嘆の場合は「豈不～乎」の形となるこ

とが多いこと、「能」が助動詞として用いられた場合に「～できる」という意味になることなどが定着していないと考えられる。

全体として、基本的知識の定着に課題が残る。音読を大切にして、漢文訓読の決まりを定着させるとともに、基本的な句法を身に付けたい。

### 第5問 [知識及び技能]、[思考力、判断力、表現力等]「読むこと」(漢文)(学校選択型B用問題)

問1は基本語句の読み、問2は句法の理解・解釈、問3は文脈把握、問4は内容の把握をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率(%)			
						①	②	③	④
問 1	ネ	②	<b>81.7</b>	17.3	1.0	11.5	○	3.9	2.0
問 2	ノ	③	<b>48.7</b>	50.2	1.1	11.8	16.7	○	21.7
問 3	ハ	①	<b>32.1</b>	66.5	1.4	○	28.8	17.6	20.1
問 4	ヒ	①	<b>16.2</b>	82.2	1.6	○	16.4	40.9	25.0

#### 【考察】

問1は、基本的な語句「之」の読み方を選ぶ問題である。正答率は81.7%である。「之」は読み方が複数ある語で、文章中の用いられ方から読み方を判断する必要がある。授業では、返り点に従って漢文を音読する機会を可能な限り多く設けたい。

問2は、再読文字「未」と返読文字「可」について、文脈に即して解釈できるかをみる問題である。正答率は48.7%にとどまっている。「未」を再読していること、助動詞的に用いられる「可」を動詞から返読することなどから判断する必要がある。また、傍線部について文脈から適切に解釈することが必要になる。授業では、同じ読み方をする再読文字や助字を取り上げ、意味の異同を生徒自らが気付くような学習活動を設けたい。

問3は、文脈に沿って傍線部の前後の内容を捉え、列子の考えを把握できるかをみる問題である。正答率は32.1%にとどまっている。傍線部B「賢者任人。」の「賢者は人に任せるものだ。」という内容を的確に捉える必要がある。「賢者」のあり方を捉える際には、対比として示される「色盛者驕、力盛者奮。」が参考になる。対比構造に気付き、内容や構成を把握できるようにしたい。

問4は、本文全体の内容を把握できるかをみる問題である。正答率は16.2%にとどまっている。列子の発言全体の中で若者と年長者それぞれの行動が対比になっていることを踏まえ、若者と年長者との比較を通じて、列子がどちらを主張の根拠としているかについて捉える必要がある。

全体として、文脈把握、全文の内容把握の問題で、正答率が昨年度と比較して低下している。本文にある対比の構造を捉えて大意を整理すること、出来事を時系列にまとめることなど、文章全体の構成や展開の整理を通じて内容の把握につなげることを大切にするとともに、必要に応じて細部を検討するなど、文脈を的確に把握するための手立てを工夫する必要がある。作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を把握し、解釈した内容を他者と共有するなどして考えを深めることを大切にしたい。

## 2 数学

### (1)調査結果の概要

#### 考察と課題

◇…相当数の生徒ができています ◆…課題がある

##### <数と式>

- ◇ 整式の計算や分母の有理化の技能については、概ね身に付いている。〔 A-9/B-1、A-10/B-2 〕
- ◆ 実数の大小関係を正確に判断することに課題がある。〔 A-11/B-3 〕
- ◆ 絶対値の意味の理解に引き続き課題がある。〔 A-11/B-3 〕

⇒ 課題1:実数を数直線上の点と対応させてその大きさを捉えること。

##### <図形と計量>

- ◇ 鋭角の三角比の意味を理解している。〔 A-15/B-7 〕
- ◆ 正弦定理や余弦定理について理解し、三角形の辺の長さを求めたり、日常の事象に活用したりすることに課題がある。〔 A-16/B-8、A-17、B-9 〕

⇒ 課題2:日常の事象を数学的に捉え、三角比を活用して問題を解決すること。

##### <二次関数>

- ◇ 二次方程式の解を求める技能は、概ね身に付いている。〔 A-13/B-5 〕
- ◆ 二次関数の式を  $y = a(x - p)^2 + q$  の形に変形してグラフの頂点の座標を正しく求めることに引き続き課題がある。〔 A-12/B-4 〕
- ◆ 二次不等式の解の意味を理解し、二次関数のグラフと  $x$  軸の位置関係から二次不等式の解を求めることに課題がある。〔 A-14/B-6 〕

⇒ 課題3:二次関数の式とグラフを相互に関係付けて多面的に考察すること。

##### <データの分析>

- ◆ 標準偏差の意味を理解し、データの散らばりの度合いを分析することに課題がある。〔 A-18/B-10 〕

⇒ 課題4:データの散らばりの度合いを数値化し、それを活用して分析をすること。

#### ① 共通問題の正答率(調査対象全体)

共通問題正答率 **45.4%**(令和4年度48.9%)

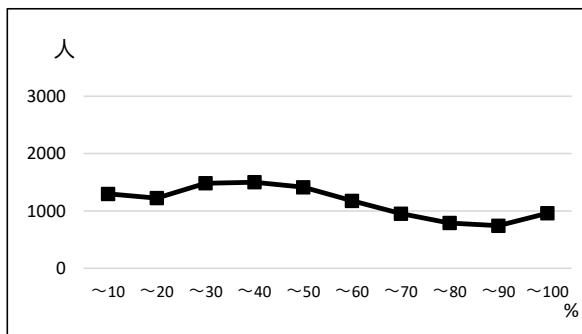


図1 【共通問題・数学】正答率の度数分布

##### <概況>

今年度の正答率は昨年度よりも3.5ポイント低下した。小問ごとにみると、昨年度と比較して、数と式(整式の計算)、図形と計量(余弦定理)、データの分析(標準偏差)において、10ポイント前後の低下がみられ、他の小問については-3.6ポイントから+1.3ポイントの変化であった。また、どの階級においても、正答率の度数分布は昨年度と同様にほぼ均一であり、正答率30%以上40%未満の階級の度数が最大であった。

#### ② 共通問題の小問ごと正答率(調査対象全体)

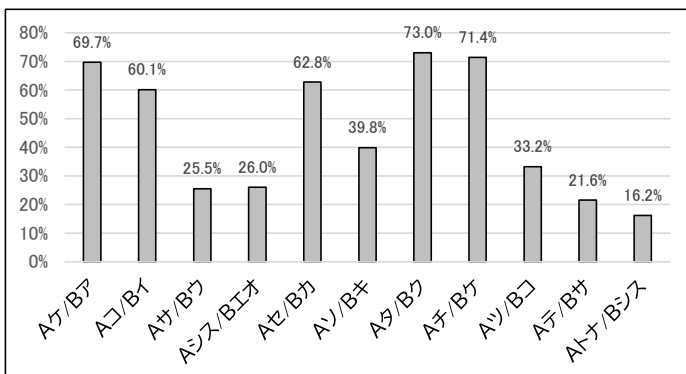


図2 【共通問題・数学】調査対象全体の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
Aケ/Bア	数と式	整式の計算
Aコ/Bイ	数と式	分母の有理化
Aサ/Bウ	数と式	絶対値
Aシス/Bエオ	二次関数	二次関数のグラフ
Aセ/Bカ	二次関数	二次方程式の解法
Aソ/Bキ	二次関数	二次不等式の解法
Aタ/Bク	図形と計量	三角比の値(正弦)
Aチ/Bケ	図形と計量	三角比の値(余弦)
Aツ/Bコ	図形と計量	正弦定理
Aテ/Bサ	図形と計量	余弦定理
Aトナ/Bシス	データの分析	標準偏差

③ 学校選択型A問題(A問題選択者)の小問ごと正答率

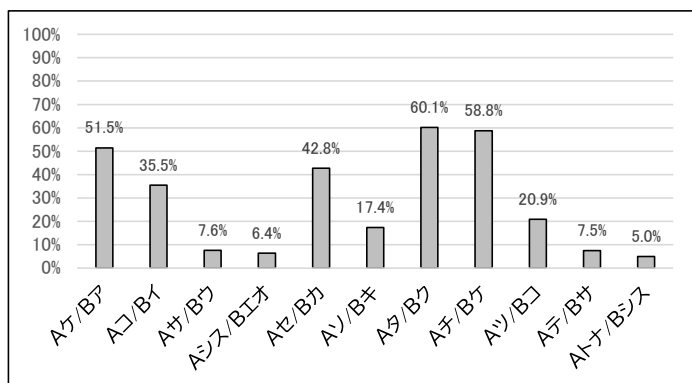


図3 【共通問題・数学】A選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
Aケ/Bア	数と式	整式の計算
Aコ/Bイ	数と式	分母の有理化
Aサ/Bウ	数と式	絶対値
Aシス/Bエオ	二次関数	二次関数のグラフ
Aセ/Bカ	二次関数	二次方程式の解法
Aソ/Bキ	二次関数	二次不等式の解法
Aタ/Bク	図形と計量	三角比の値(正弦)
Aチ/Bケ	図形と計量	三角比の値(余弦)
Aツ/Bコ	図形と計量	正弦定理
Aテ/Bサ	図形と計量	余弦定理
Aトナ/Bシス	データの分析	標準偏差

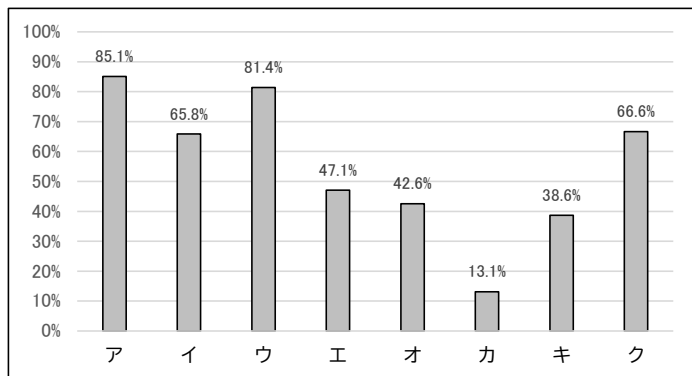


図4 【選択型A問題・数学】小問ごと正答率

学校選択型A問題

解答記号	分類	内容
ア	数と計算(小)	分数の計算
イ	数と式(中)	整数の計算
ウ	数と式(中)	整式の展開
エ	数と式(中)	根号を含む式の計算
オ	数と式(中)	一次方程式の解法
カ	関数(中)	関数の値域
キ	図形(中)	三平方の定理
ク	資料の活用(中)	箱ひげ図

④ 学校選択型B問題(B問題選択者)の小問ごと正答率

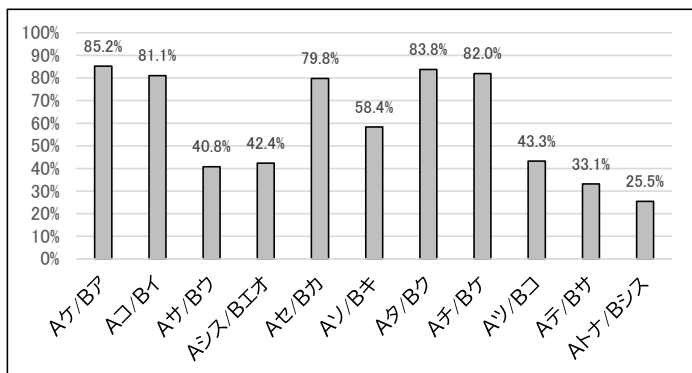


図5 【共通問題・数学】B選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
Aケ/Bア	数と式	整式の計算
Aコ/Bイ	数と式	分母の有理化
Aサ/Bウ	数と式	絶対値
Aシス/Bエオ	二次関数	二次関数のグラフ
Aセ/Bカ	二次関数	二次方程式の解法
Aソ/Bキ	二次関数	二次不等式の解法
Aタ/Bク	図形と計量	三角比の値(正弦)
Aチ/Bケ	図形と計量	三角比の値(余弦)
Aツ/Bコ	図形と計量	正弦定理
Aテ/Bサ	図形と計量	余弦定理
Aトナ/Bシス	データの分析	標準偏差

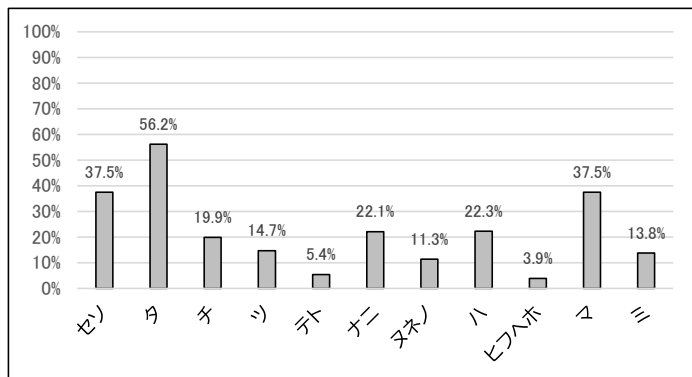


図6 【選択型B問題・数学】小問ごと正答率

学校選択型B問題

解答記号	分類	内容
セノ	数と式	一次不等式の応用
タ	数と式	命題の真偽、必要条件・十分条件
チ	二次関数	二次関数の決定
ツ	二次関数	二次関数の最大最小
テト	二次関数	二次不等式
ナニ	図形と計量	三角比の相互関係
ヌネノ	図形と計量	三角比の相互関係
ハ	図形と計量	空間図形と三角比
ヒフヘホ	図形と計量	空間図形と三角比
マ	データの分析	データの相関
ミ	データの分析	データの相関

## (2)分析結果から見える「数学Ⅰ」の授業づくりのポイント

### POINT1 - 数と式

**数**を実数まで拡張し、実数が数直線上の点と対応していることについての理解を深めるとともに、日常の事象を数学的に捉え、問題解決に活用することができるようにする。

- 様々な実数を分類し、ある実数を数直線上の点と対応させる場面を設定する。さらに、原点とその点との距離を、数直線を用いて視覚的に捉える活動を通して絶対値の意味を確実に理解できるようにする。
- 一次不等式を問題解決に活用する場面では、例えば、個数や代金、割合を活用する題材など、日常生活に関する具体的な問題を用いて、解を求める活動だけではなく、立式の根拠を説明したりする活動や、得られた解を吟味する活動など、問題解決の過程を他者と共有したり、互いに説明したりする活動を設定する。

### POINT2 - 図形と計量

**図**形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式を正しく活用して、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができるようにする。

- 定理や公式の理解のみにとどめず、三平方の定理や三角比の定義などの、既習の知識と関連付けながら、定理や公式がどのように導かれるかを考える活動を大切にする。
- 問題解決のために用いた定義や定理、公式について互いに説明する場面や、誤答の例を示しどの部分で誤ったかを考察したり、解答の過程を振り返ったりする場面などを設定する。

### POINT3 - 二次関数

—— 次関数の式を適切に変形したり、グラフをかいて考察する活動を大切にし、二次関数の特徴を捉え、二次関数を活用して問題を解決できるようにする。

- 表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察できるような活動を大切にする。式を適切に変形してグラフをかいたり、グラフから読み取ったことをまとめたりする活動や、定義域や値域などの用語を適切に用いて説明する活動を積み重ね、問題解決につなげる。
- 式の係数を変化させたときのグラフの動きを捉える場面や、定義域に制限がある場合の最大値や最小値をグラフを使って求める場面、グラフと  $x$  軸との位置関係を捉えながら二次不等式の解を求める場面などにおいて、式とグラフの関係をタブレット端末などの情報機器を用いて多面的に考察できるようにする。

### POINT4 - データの分析

**デ**ータを分析するための手法を身に付けるとともに、適切な統計量や手法を選択して分析を行い、事象の特徴を表現できるようにする。

- ヒストグラムや箱ひげ図と、分散や標準偏差を相互に関連付けてデータの散らばりの度合いを数値化し、データの特徴や傾向を捉え、数学的な表現を用いて説明する活動を大切にする。
- 実際に身の回りのデータを収集して、表やグラフに整理し、データの特徴や傾向を標準偏差や相関係数を用いて分析し、見いだした特徴や傾向を表現する活動を設定し、問題解決につなげる。
- 情報科と連携し、教科横断的な視点で相互の内容の関連を図り、データを問題の発見・解決に活用する場面を設定する。



### (3)設問ごとの分析結果

#### ① 出題のねらいと内容

必修科目「数学Ⅰ」の四つの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能をみることをねらいとした。

共通問題として、「数学Ⅰ」の内容のうち、基礎的・基本的事項に係る問題を出題した。また、学校選択型A問題として、義務教育段階の学習内容の定着をみることをねらいとし、4領域それぞれから、基礎的・基本的事項に係る問題を、学校選択型B問題として、「数学Ⅰ」の四つの内容のそれぞれにおいて複数の項目を組み合わせた問題や、数学を活用して事象を考察することができるかをみる問題を出題した。

各問題で扱っている内容は下表のとおりである。

	数と式	関数	図形	データの活用
学校選択型A問題	A-1～A-5	A-6	A-7	A-8

	数と式	二次関数	図形と計量	データの分析
共通問題	A-9～A-11	A-12～A-14	A-15～A-17	A-18
	B-1～B-3	B-4～B-6	B-7～B-9	B-10
学校選択型B問題	B-11、B-12	B-13～B-15	B-16、B-17	B-18

#### ② 設問ごとのねらい、結果の分析と考察

##### 【共通問題】

##### A-9/B-1 整式を整理して計算することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-9 B-1	ケ ア	⑦	<b>69.7</b>	29.6	0.7	⑤(15.9%)、⑥(3.3%)、④(2.8%) など

##### 【考察】

分配法則を活用し、同類項の整理ができるかを問う問題であり、正答率は昨年度より9.7ポイント低下している。誤答の⑤、⑥、④はいずれも、 $2A - B$ という式自体は正しく捉えているが、一部の項に分配法則を適用せずに処理したと考えられる誤りである。特に、先頭の項だけに2や-1を乗じ、残りの項には乗じていない誤答の割合が高い。授業においては、このような誤りを「よくある誤り」として示す場面を設定し、計算後の特に確認すべきポイントとして意識付けたい。

##### A-10/B-2 無理数を含む式において分母の有理化ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-10 B-2	コ イ	⑥	<b>60.1</b>	39.1	0.8	⑦(14.0%)、②(8.3%)、③(6.8%) など

##### 【考察】

昨年度の、分母が $3 + \sqrt{2}$ 、分子が $3 - \sqrt{2}$ である問題に対し、今年度は、分母を $\sqrt{5} + 2$ 、分子を1とし、分母を有理化する際、分子部分の計算が生じないように処理の過程を簡略にした。正答率は昨年度の57.8%とほぼ同程度である。誤答は、分母の $\sqrt{5}$ と分子の1のみに $\sqrt{5}$ を乗じて計算したと考えられる⑦が最も多く、次いで $(\sqrt{5} + 2)(\sqrt{5} - 2) = 5 - 2 = 3$ と誤って計算をしたと考えられる②、 $(\sqrt{5} + 2)^2 = 5 + 4 = 9$ と誤って計算したと考えられる③が多い。計算を誤った生徒に対して、計算の過程を

振り返り、どの部分で誤ったかを見いだすことにより、基本的な計算の手順や方法を確認していくことが大切である。

### A-11/B-3 絶対値の意味及び無理数と整数の大小関係を理解しているかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-11 B-3	サ ウ	⑤	<b>25.5</b>	72.7	1.8	①(17.6%)、⑧(12.4%)、⑥(11.4%) など

#### 【考察】

昨年度と同様、整数と無理数の大小関係を比較して、(整数) $\pm$ (無理数)の形をした実数の絶対値を求める問題であり、正答率は昨年度の25.7%とほぼ同程度である。誤答は、マイナスの符号を単にプラスの符号に変えただけの①や、符号を逆にしただけの⑧など、無理数と整数の大小関係を比較せずに解答したと考えられるものが多い。授業においては、例えば、 $|\sqrt{10}-3|$ であれば、 $\sqrt{10}$ を数直線の点に対応させて、 $\sqrt{10}$ を3だけ小さくしたときに、この点がどの点に移るかを考察する場面を設定し、 $\sqrt{10}-3 > 0$ であることや、 $\sqrt{10}-3$ が具体的にどのくらいの大きさの数かを見だし、原点と $\sqrt{10}-3$ を表す点との間の距離を測らせる活動などが考えられる。また、 $\sqrt{10}+3$ や $3-\sqrt{10}$ を数直線上の点に対応させ、 $\sqrt{10}-3$ を表す点と比較することで、これらの違いを明確に認識する活動も考えられる。このような活動を通して、絶対値の意味の理解を深めるとともに、実数の大小関係を視覚的に把握できるようにすることが大切である。

### A-12/B-4 二次関数の式を平方完成して、グラフの頂点の座標を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-12 B-4	シ エ ス オ	①  ⑥	<b>26.0</b>	71.3	2.7	(②2, ⑦-6) (16.4%)、(②2, ③5) (4.3%)、 (⑥-2, ⑦-6) (4.0%)、(①1, ⑧-7) (3.8%) など

#### 【考察】

昨年度と同様、 $x^2$ の係数が-1である二次関数のグラフの頂点の座標を求める問題であり、正答率は昨年度の26.7%とほぼ同程度である。誤答は、与えられた二次関数の式の $x$ の項の係数と定数項をそのまま頂点の座標とした(2, -6)が最も多い。多くの生徒が、式を $y = a(x-p)^2 + q$ の形に変形することが理解できていないと考えられ、引き続き課題である。二次関数の式をこの形に変形して放物線の軸や頂点を見いだして事象を考察することは重要である。苦手な生徒に対しては、変形の過程を丁寧に示しながら、計算とグラフをかく活動に取り組むことを通して、式とグラフの関係を捉えられるようにすることが大切である。

### A-13/B-5 二次方程式を解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-13 B-5	セ カ	③	<b>62.8</b>	35.7	1.5	②(8.9%)、⑦(5.8%)、④(5.3%)、⑤(5.2%) など

#### 【考察】

昨年度と同様、 $x^2$ の係数が1ではない二次方程式の問題であり、正答率は昨年度の61.9%とほぼ同程度である。誤答は、 $(x+1)(3x-8) = 0$ から一次方程式 $3x-8 = 0$ を誤って $x = \frac{3}{8}$ と解いたと考えられるものや、符号を誤り $x = 1, -\frac{8}{3}$ としたと考えられるものが多い。授業においては、方程式を解くことは、「方程式に代入したときに等号が成立する未知数をすべて求めること」であるという、最も基本的な

考え方を再確認し、方程式を解くための変形の過程において、どのような誤りが生じるかを具体的に示すような場面を設定したり、得られた解を元の方程式に代入したときに成立するかを検証する場面を設定したりし、方程式を正しく解く技能を習得するような授業の組み立てを工夫したい。

#### A-14/B-6 二次不等式を解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-14 B-6	ソ キ	④	<b>39.8</b>	58.5	1.7	⑦(19.4%)、⑤(12.5%)、⑥(11.7%) など

##### 【考察】

$x^2 - a^2 \geq 0$  の形の不等式を解く問題であり、正答率は昨年度の  $x^2 - ax \leq 0$  の形の不等式を解く問題より 3.6 ポイント低下している。誤答は  $x \geq \pm a$  とした ⑦ や、 $-a \leq x \leq a$  とした ⑤ が多く、二次方程式  $x^2 - a^2 = 0$  の解  $x = \pm a$  は得られているが、この解と二次不等式  $x^2 - a^2 \geq 0$  の解がどのような関係にあるかが理解できていないと考えられる。誤った生徒に対しては、二次関数  $y = x^2 - a^2$  のグラフをかき、 $y \geq 0$  となるような  $x$  の値の範囲を視覚的に捉える場面を設定し、グラフと、方程式や不等式を相互に関連付けて考察するような数学的活動を充実させ、技能の習得を図りたい。

#### A-15/B-7 三角比の値を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-15 B-7	タ ク	③	<b>73.0</b>	26.1	0.9	①(8.3%)、④(7.7%)、②(5.5%) など
	チ ケ	①	<b>71.4</b>	27.5	1.1	②(9.4%)、③(6.7%)、⑤(5.7%) など

##### 【考察】

昨年度と同様、三辺の長さが与えられた直角三角形において、三角比の値を問う問題であり、正答率は昨年度と同様に高く、一定の定着がみられる。ただし、 $\sin A$  と  $\cos A$  の値を反対に捉えているものや、分母と分子を逆にしたものなど、三角比の定義を正しく理解していないと考えられる誤答もみられる。三角比の定義に基づいて三角比の値を求めたり、三角比の性質を活用する問題に取り組んだりすることのみにとどめず、例えば、急勾配を表す標識や、傾斜路（スロープ）、ジップライン等の身近な素材を用いて、問題解決の具体的な場面で三角比の定義を活用する場面を設定し、定義についての理解を確実に深めていきたい。

#### A-16/B-8 正弦定理を用いて三角形の辺の長さを求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-16 B-8	ツ コ	⑦	<b>33.2</b>	63.1	3.7	④(21.2%)、⑧(11.1%)、②(10.6%) など

##### 【考察】

正弦定理を用いて三角形の辺の長さを求める問題である。正弦定理を正しく用いて立式したが、 $\sin 30^\circ$  や  $\sin 135^\circ$  の値を誤ったものや、立式後の計算を誤ったものと考えられる誤答 ②、③、⑤、⑧ と正答を合わせた割合は 65.6% であり、正弦定理を用いた立式については、60% 以上が身に付いていると考えられる。これらの誤りに対しては、鋭角の三角比の意味や、鈍角の三角比の値を求める方法を再確認したり、分母に分数  $\frac{b}{a}$  を含む式において、例えば、 $(分子) \div \frac{b}{a} = (分子) \times \frac{a}{b}$  などの計算過程を示したりすることなど、立式後から辺の長さを求めるまでの過程を丁寧に指導したい。また、誤答 ④ については正弦定理と  $\sin 30^\circ$  の値の両方を誤ったと考えられ、正弦定理を活用する場面を設定し、繰り返し

指導することで、技能の習得を図りたい。

### A-17/B-9 余弦定理を用いて2点間の距離を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-17 B-9	テ サ	⑧	21.6	75.7	2.7	⑦(14.4%)、④(12.2%)、①(11.5%) など

#### 【考察】

昨年度と同様、余弦定理を用いて2地点間の距離を求める問題であり、正答率は13.4ポイント低下し、その差は共通問題の中で最大である。誤答は、三平方の定理を用いたと考えられる⑦が最も多く、余弦定理を正しく用いて立式したが $\cos 120^\circ = \frac{1}{2}$ として計算したと考えられる④や、余弦定理を $AB^2 = PA^2 + PB^2 - PA \cdot PB \cdot \cos 120^\circ$ として計算したと考えられる①が多い。余弦定理が理解できていない生徒に対しては、三角比の定義及び三平方の定理から辺の長さを求める場面を設定した後に余弦定理へとつなげ、技能の習得を図りたい。また、定理を覚えることにとどめず、直接測定できない2地点間の距離などを、三角比を用いて求める問題に取り組む場面や、問題解決に用いた定理について互いに説明する場面を設定するなど、定理を活用して問題解決を図れるように、授業の組み立てを工夫したい。

### A-18/B-10 与えられたデータから標準偏差を求め、散らばりの度合いを考察できるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-18 B-10	ト シ ナ ス	⑥ ②	16.2	80.8	3.0	(③2, ③) (15.6%)、(⑤6, ②) (11.6%)、 (④ $\sqrt{6}$ , ②) (8.3%)、(⑦7, ②) (8.2%) など

#### 【考察】

収集されたデータから標準偏差を計算し、それを基に2種類のデータの散らばりの度合いを比較し、散らばりの度合いを表現する問題であり、共通問題の中では最も低い正答率である。□トや□シの、標準偏差の計算のみの正答率は19.1%であり、問題全体の正答率と約3ポイント程度の差であることから、標準偏差の意味を理解していないと考えられる。このため、誤答の上位2つは、問題文中に示されている平均値や、もう一方のデータの標準偏差を根拠に散らばりの度合いを比較したと推察できる。標準偏差の意味を理解していない生徒に対しては、データをヒストグラムにかき表して、データの散らばりや広がりを見視的に捉えた後、標準偏差を再確認する場面を設定したり、計算で得られた数値を検証したりする活動、解決の過程を互いに共有する活動などを設定したい。さらに、情報科と連携し、タブレット端末などの情報機器を用いるなどして分散や標準偏差などの基本的な統計量を求める活動や、分析の目的に応じた方法を選択する活動、データに含まれる傾向を見いだす活動を、教科横断的な視点で設定し、理解を目指したい。また、得られた数値を根拠に、データの傾向を把握して事象の特徴を言葉を用いて表現する活動を通して、数学のよさを認識し、数学的活動に積極的に取り組もうとする態度を養いたい。

#### 【学校選択型A問題】

### A-1 分数の加法ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-1	ア	⑦	85.1	13.8	1.1	⑤(8.3%)、⑥(1.4%)、①(1.2%) など

#### 【考察】

昨年度と同様、分母が異なる分数の加法ができるかを問う問題であり、正答率は高く、技能の定着が

みられる。ただし、分母どうし、分子どうしをそのまま加えた誤答が最も多く、義務教育段階の基礎的な計算の技能が身に付いていないことが継続的な課題である。基礎的な計算の技能が身に付いていない生徒は、必履修科目である「数学Ⅰ」の内容の理解に困難を伴うことが考えられる。「数学Ⅰ」の内容を扱いながら、その中で活用する知識及び技能を習得できるよう、例えば、基礎的な計算であったとしても、計算の過程を丁寧に見せたり、既習の知識を振り返ったりする場面を設定するなど、学習内容の確実な定着を図るための配慮が必要である。

#### A-2 累乗の計算及び乗法と除法が混じった式の計算ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-2	イ	④	<b>65.8</b>	33.0	1.2	③(26.1%)、①(1.8%)、②(1.6%) など

##### 【考察】

昨年度と同様、累乗の計算を行い、計算の順序を正しく理解しているかを問う問題であり、正答率は昨年度より31.4ポイント上昇している。先頭の項が $-3^2$ であった昨年度に対して、今年度は $(-6)^2$ であることから、符号の誤りが発生しにくかったと考えられる。誤答の多くは、 $a \div b \times c$ の計算を、 $a \div (b \times c)$ と誤って計算したと考えられ、昨年度と同様の傾向である。義務教育段階で学ぶ、計算の順序についてのきまりを再確認する場面を設定し、繰り返し指導することで、基本的な計算の技能を確実に習得するような指導の工夫を行いたい。

#### A-3 整式の展開ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-3	ウ	②	<b>81.4</b>	17.7	0.9	④(4.5%)、①(3.5%)、③(2.6%) など

##### 【考察】

昨年度と同様、一次多項式と一次多項式の乗法が正しくできるかを問う問題であり、正答率は7.9ポイント上昇し、技能の定着がみられる。誤答の上位3つは、展開の方法は理解しているが、単項式の乗法や同類項を整理する過程で符号を誤ったと考えられ、④、①、③を合わせて10.6%である。誤った生徒に対しては、例えば、 $(a+b)(c+d)$ の展開を、 $a+b=M$ と置き換えることで分配法則を再確認したり、平易な計算から段階的に発展させたり、計算の過程を振り返る場面を設定したりするなどし、基本的な計算の技能を確実に習得する指導を行いたい。

#### A-4 平方根を含む式の計算ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-4	エ	⑥	<b>47.1</b>	51.9	1.0	①(28.8%)、④(10.0%)、③(3.3%) など

##### 【考察】

昨年度と同様、 $\sqrt{a} + \sqrt{b}$ を平方する問題である。正答率は昨年度よりも6.1ポイント上昇したものの、50%未満であり、誤答率が正答率を上回っている。誤答は、展開を $(\sqrt{6} + \sqrt{2})^2 = (\sqrt{6})^2 + (\sqrt{2})^2 = 8$ としたり、無理数どうしの和を誤り、 $(\sqrt{6} + \sqrt{2})^2 = (\sqrt{8})^2 = 8$ としたりしたものと考えられる①が最も多い。このような誤答は、同様の形式で出題した過去2年間の調査でも最多であり、20%~30%程度の誤答がみられることから、引き続き課題である。平方根の計算の技能が定着していない生徒に対しては、平方根を含む式の加減法や、展開の方法について再確認する場面を設定したい。さらに、誤りの原因がどこにあるのかを見いだす場面を設定し、生徒自身が粘り強く取り組めるような指導の工夫を講じたい。

### A-5 一次方程式を解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-5	オ	①	<b>42.6</b>	55.8	1.6	⑤(9.5%)、③(9.0%)、②(8.6%)、⑥(8.0%) など

#### 【考察】

昨年度と同様、分数を含む一次方程式を解く問題である。正答率は昨年度よりも 8.7 ポイント低下し、50 %未満であり、正答率が誤答率を下回っている。誤答は、分母の最小公倍数を両辺に乗じた際に、分配法則を誤り、分子の先頭の項にのみに乗じたと考えられる ⑤ や ③、移項の際に符号を誤ったと考えられる ② や ⑥ の割合が高い。式を変形する際に生じやすい誤りを具体的に示すような場面や、得られた解を元の方程式に代入したときに成立するかを検証する場面を設定し、方程式を正しく解く技能を習得するような授業の組み立てを工夫したい。

### A-6 関数 $y = x^2$ で、 $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-6	カ	⑥	<b>13.1</b>	85.5	1.4	⑧(49.6%)、②(14.4%)、③(5.4%) など

#### 【考察】

昨年度と同様、関数  $y = x^2$  のグラフの軸が定義域内にある場合の  $y$  の変域を求める問題であり、正答率はA問題の中で最も低い。定義域の両端の値を代入したときの  $y$  の値をそのまま用いた ⑧ が最も高い誤答率であり、正答率を上回っている。これは過去 2 年間と同様の傾向であり、引き続き課題である。例えば、気温の変化のグラフなどを用いて、必ずしも両端の値で最大値や最小値をとるとは限らないことを示して、最大値や最小値を考察する場面を設定したり、関数の式をグラフに表現して変化の特徴を視覚的に捉える活動を設定したりするなどしたい。また、タブレット端末などの情報機器を用いて、グラフと、定義域と値域を関連付けて考察する場面を十分に設定し、グラフを使うことで視覚的に考察することのよさが実感できるような指導を行いたい。

### A-7 三平方の定理を用いて直角三角形の斜辺の長さを求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-7	キ	⑤	<b>38.6</b>	59.9	1.5	①(15.6%)、⑦(15.0%)、⑥(9.3%) など

#### 【考察】

一昨年度と同様、直角三角形の斜辺の長さを求める問題である。正答率は一昨年度から 9.8 ポイント上昇しているが、誤答として、三平方の定理を適切に用いていないと考えられる ①、⑦ に加えて、 $x$  が正の数に限定されることを考えずに、単に方程式  $x^2 = 2^2 + 3^2$  の実数解を求め、負の数まで解答したと考えられる ⑥ が多くみられる。三平方の定理は重要な定理であり、活用される範囲が極めて広い定理である。「数学 I」においては、三平方の定理を一般の三角形に拡張させて余弦定理を導くことから、知識の定着が不十分である場合には、例えば、直角三角形のそれぞれの辺を 1 辺とする 3 つの正方形を示し、面積の間に成り立つ一定の関係を視覚的に捉える場面などを設定し、図形と数式を統一的に把握することで、理解できるようにしたい。

### A-8 与えられたデータから情報を読み取り、正しい箱ひげ図を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-8	ク	③	<b>66.6</b>	32.1	1.3	①(14.7%)、②(8.8%)、④(8.6%)

#### 【考察】

収集されたデータを基に、第1四分位数、中央値、第3四分位数、及び最大値に着目して、正しい箱ひげ図を選択する問題である。誤答は、下位4名の記録の中央値を第1四分位数としたものと考えられる①を選択したものが最も多い。また、中央値が正しくない②や最大値が正しくない④は、いずれも与えられたデータや箱ひげ図を正確に読み取れていないと考えられる。例えば、身近に存在するデータを基に、変数の個数が、 $4n$ 、 $4n+1$ 、 $4n+2$ 、 $4n+3$ の各場合における四分位数を見いだす場面などを設定し、根拠を示しながら互いに説明したり、得られた結果を検討したりする活動を通して、正確に情報を読み取ろうとする態度を養いたい。

### 【学校選択型B問題】

### B-11 問題文の内容を読み取って、数量関係を不等式で立式し解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-11	セ	6	<b>37.5</b>	55.7	6.8	67(19.0%)、65(4.4%) など
	ソ	6				

#### 【考察】

昨年度と同様、日常の場面から不等式を立式し、課題を解決する問題であり、正答率は9.8ポイント上昇している。誤答として、前半の条件から得られる解 $x < 67$ に現れた数値67をそのまま解答したと考えられるものが最も多い。問題文から読み取った情報をまとめたものを式として表現し、その根拠や、得られた解が条件を満たしているかを確認するなど、考察の過程を他者と共有したり、互いに説明したりする活動を設定し、積極的に数学を活用しようとする態度や、解決の過程を振り返って考察を深める態度を養いたい。

### B-12 命題の真偽を正しく判断することができるか、必要条件・十分条件の意味を理解しているかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-12	タ	⑤	<b>56.2</b>	43.0	0.8	⑥(16.3%)、④(9.6%)、③(8.1%) など

#### 【考察】

6の倍数の集合が3の倍数の集合に含まれることを判断して、命題の真偽及び6の倍数であることが3の倍数であることの十分条件であることを見いだす問題である。真偽のみを正しく判断できたと考えられるものは79.1%であるが、必要条件や十分条件の意味を誤ったと考えられる⑥を選択したものが16.3%である。単に、命題の真偽に対して必要条件や十分条件という言葉だけを捉えるのではなく、2つの条件が表す集合を図に表現し、命題を集合の包含関係と関連付けて考察する活動を設定し、より深く理解できるようにしたい。

### B-13 グラフや文章から必要な情報を読み取り、二次関数の式を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-13	チ	②	<b>19.9</b>	78.4	1.7	⑧(25.7%)、⑥(12.7%)、⑤(10.5%) など

#### 【考察】

放物線を原点に関して対称移動した「後」の放物線を基に、対称移動する「前」の放物線の式を求める問題である。誤答のうち最も多いものは、対称移動「前」の放物線ではなく、対称移動「後」の放物線の式を求めた ⑧ であり、単独で正答率を超えている。同様に、対称移動「後」の放物線の式を求めようとしたと考えられる ⑥ と合わせると、ほぼ 40% が「もとの放物線の式は」という問題文を正しく読み取っていないことが考えられる。授業においては、生徒がこのような誤りを単に不注意として捉えることがないように、解決までの過程を言葉で説明する場面を設定したり、得られた結果を考察する場面を設定したりし、解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養いたい。

### B-14 二次関数の最小値から未知数を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-14	ツ	④	<b>14.7</b>	80.2	5.1	①(18.6%)、⑤(16.8%)、⑥(15.8%) など

#### 【考察】

放物線の軸の位置による場合分けを行い、与えられた最小値をとるときの定数の値を求める問題であり、正答率は昨年度より 10.6 ポイント低下している。誤答は、場合分けをせずに頂点の  $y$  座標の値を最小値と捉えて定数の値を求めたと考えられる ① が最も多い。次いで、場合分けを行ったが、得られた定数の値が場合分けの条件を満たしているかを確認しなかったと考えられる ⑤ や ⑥ が多く、誤答の上位 3 つはすべて正答率よりも高い。授業においては、タブレット端末などの情報機器を用いて、定数の変化に伴うグラフの変化、値域の変化の様子を捉える場面を設定しながら、場合分けの必要性を丁寧に指導したい。また、得られた結論を根拠をもって説明する活動を設定したり、結論を振り返る活動を設定したりし、思考力、判断力、表現力を育むような指導の工夫を講じたい。

### B-15 二次不等式の解の条件から未知数の値の範囲を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-15	テ	④	<b>5.4</b>	92.0	2.6	③ $>$ ⑥7 (32.7%)、① $<$ ⑥7 (7.8%)、 ① $<$ ①0 (5.0%) など
	ト	⑥				

#### 【考察】

「二次不等式が解をもたない」条件を、二次関数のグラフと  $x$  軸の位置関係を基に、二次方程式の判別式などを用いて求める問題である。昨年度は、「二次不等式の解がすべての実数」となる条件を求める問題であったが、正答率は 13.7 ポイント低下している。判別式を用いた計算で得られる数値の 7 を求めることができたと考えられる「ト」のみ正解したものは 49.0% であるが、二次方程式が重解をもつ場合も題意を満たすことを見いだすことができていない。二次不等式の解の存在と二次方程式の解の存在を相互に関連付けて考察せず、機械的に判別式を計算して処理していることが考えられる。ここでもタブレット端末などの情報機器を用いて、グラフと  $x$  軸の位置関係、二次方程式の解、二次不等式の解を捉え、これらを相互に関連付けて考察する場面を設定し、理解が深まるような授業の組み立てを工夫したい。



**B-16 与えられた条件と三角比の相互関係を用いて、正弦の値と、三角比を含む複雑な式の値を求めることができるかをみる問題**

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-16	ナ	7	22.1	62.6	15.3	$\sin \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$ (11.2%)、 $\sin \theta = \frac{\sqrt{2}}{3}$ (9.8%)、 $\sin \theta = \frac{\sqrt{3}}{3}$ (4.8%) など
	ニ	3				
	ヌ	4	11.3	66.0	22.7	$2\sin \theta - \frac{\sin \theta}{\tan^2 \theta} = \frac{3\sqrt{3}}{3}$ (3.1%)、 $2\sin \theta - \frac{\sin \theta}{\tan^2 \theta} = \frac{2\sqrt{3}}{3}$ (2.8%)、 $2\sin \theta - \frac{\sin \theta}{\tan^2 \theta} = \frac{2\sqrt{5}}{3}$ (2.8%) など
	ネ	7				
	ノ	7				

**【考察】**

昨年度と同様、与えられた条件式から三角比の基本的な相互関係を用いて、三角比の値や三角比を含む式の値を求める問題である。三角比の値を求める問題 $\square$ ナ $\square$ ニについての正答率は昨年度より10ポイントほど低下している。誤答は、有名角の三角比の値やそれに類似した値を答えたと考えられる $\sin \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$ や $\sin \theta = \frac{\sqrt{2}}{3}$ が多く、さらに、無答率の高さも特徴的である。やや複雑な条件式に対して、三角比の基本的な相互関係を適切に変形することを見いだすことができなかつたと考えられる。

三角比を含む複雑な式の値を求める問題 $\square$ ヌ $\square$ ネ $\square$ ノの正答率は低く、昨年度の9.8%とほぼ同程度である。条件式を適切に変形できないことや、問題 $\square$ ナ $\square$ ニの誤った結果を用いることが要因の一つであると考えられる。

三角比の基本的な相互関係を用いて、「三角比を一種類に統一する」などのように、問題解決の過程において三角比の相互関係をどのような目的で活用すればよいかを、見通しをもって考察する活動を設定したり、考察の過程を互いに共有したりする機会を設定し、三角比の基本的な相互関係を条件に対して適切に活用して問題解決を図れるように、授業の組み立てを工夫したい。

**B-17 立体を考察し、余弦の値と三角形の面積を求めることができるかをみる問題**

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-17	ハ	⑤	22.3	72.5	5.2	③(17.2%)、④(16.9%)、①(16.3%) など
	ヒ	5	3.9	68.9	27.2	$\frac{3\sqrt{17}}{2}$ (3.6%)、 $\frac{3\sqrt{13}}{2}$ (2.9%)、 $\frac{3\sqrt{33}}{3}$ (2.1%) など
	フ	1				
	ヘ	9				
	ホ	4				

**【考察】**

正四角錐の中に現れる三角形を考察する問題である。 $\square$ ハの誤答として、三角形が成立しない① $\cos \angle BAD = 1$ が選択されていることから、余弦定理を用いて余弦の値を正しく求めることができないだけでなく、余弦の値と角の関係について理解できていない生徒が相当の割合でいると考えられる。 $\square$ ヒ $\square$ フ $\square$ ヘ $\square$ ホの無答率は、選択問題Bの中で最も高いが、これは $\square$ ハを誤ったこと以外にも、三平方の定理や余弦定理を正しく用いることや、正弦の値を用いた三角形の面積の公式を正しく用いることなど、与

えられた情報を精査し、見直しをもって結論を得ることができないと考えられる。

空間図形の中で余弦定理や三平方の定理などを活用する際には、必要な部分に焦点を当て、平面図形を見だして思考や判断をすることが大切である。空間図形を考察する授業においては、タブレット端末などの情報機器を用いて、立体の切断面や、展開図、見取り図では直接見えない部分を考察することも有効な手段の一つであり、一定の効果があると考えられる。その上で、最終的には生徒自身で空間図形をかいたり、問題解決のために必要な線をかき加えたりして考察ができるよう指導してきたい。さらに、求めるべきものや結論から遡って、筋道を立てて問題解決を図る活動を設定することも手立ての一つである。

空間図形においても、正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを確実に求めること、2辺とその間の角の大きさが分かっている三角形の面積を確実に求めることができるように指導していききたい。

### B-18 与えられた条件から、相関係数の値を推測できるか、データの追加に伴う、相関係数の値の変化を考察することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-18	マ	①	<b>37.5</b>	55.2	7.3	④(19.0%)、②(18.2%)、⑤(14.0%)、③(4.0%)
	ミ	⑦	<b>13.8</b>	78.9	7.3	⑧(19.8%)、②(19.4%)、④(13.2%) など

#### 【考察】

前半[マ]は、相関係数を計算せずに、散布図の特徴や傾向から最も適当な相関係数を見いだす問題である。与えられた散布図からは、一方が増えたときに他方は減る傾向を見いだすことができるが、負の値を選択していない誤答 ③、④、⑤ を合わせると 37.0 % であり、散布図と相関係数の関係についての理解が十分ではないと考えられる。散布図の特徴や傾向を捉え、最適な相関係数を見いだすことができるようにするためには、例えば、実際に身の回りのデータを収集して、タブレット端末などの情報機器を効果的に活用して、生徒が様々なデータで実験しながら散布図の特徴や傾向を把握し、相関係数との対応関係を見だし、その特徴や傾向を、言葉を用いて表現する活動などが考えられる。

後半[ミ]は、データの追加に伴う元の相関係数に与える影響について考察する問題である。(1)で「変わらない」と正しく判断できていると考えられるものは 35.8 %、(2)で「大きくなる」と正しく判断できていると考えられるものは 30.9 % である。特に(2)では、「小さくなる」と誤って判断したものが 44.2 % であり、正しく判断した割合を上回っている。平均値よりも小さいデータを追加したことによって相関係数も小さくなると判断したと考えられる。

データの追加や修正を行ったときに、相関係数に与える影響を正しく判断するためには、共分散や相関係数の意味についての理解を深めることが大切である。そのために、授業においては、共分散や相関係数を定義の式に当てはめて求めることだけにとどめず、これらの式がどのような理由で定義されているかを散布図と関連付けて考察したり、散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確に捉えて表現したりする活動を設定し、日常の事象や社会の事象などの考察に数学を活用しようとする態度を育成していきたい。

### 3 英語

#### (1) 調査結果の概要

◇…相当数の生徒ができています   ◆…課題がある

**考察と課題**

<聞くこと(日常的・社会的な話題のリスニング)>

- ◇ 場面の情報やイラストが与えられれば、短い発話や対話の概要や要点を把握することはできている。〔 1、 3 〕
- ◆ 短い発話を聞いて、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することに課題がある。〔 2 〕
- ◆ 長めの説明を聞いて、数量表現を含む複数の情報を比較して判断することに課題がある。〔 4 〕

⇒ **課題1: 発話を聞いて話し手の意図を把握したり、説明を聞いて複数の情報を比較して判断したりすること。**

<読むこと(日常的な話題)>

- ◇ テキストから、日にちや場所など、具体的な情報を探し出すことはできている。〔 8B(2) 〕
- ◆ テキストから、条件に合わせて複数の情報を探し出し、適切に処理することに課題がある。〔 8A(4)/B(3) 〕
- ◆ テキストの内容を、事実と意見に整理して区別することに課題がある。〔 8B(4)、(5) 〕

⇒ **課題2: テキストから複数の情報を読み取って適切に処理したり、内容を事実と意見に整理したりすること。**

<読むこと(社会的な話題)>

- ◇ テキスト導入部の段落の内容を把握することはできている。〔 9B(1) 〕
- ◆ テキスト全体を読み、条件に合わせて情報を整理することに課題がある。〔 9A(4)/B(3) 〕
- ◆ テキスト全体から必要な情報を読み取り、概要や要点を把握することに課題がある。〔 9A(3)/B(4) 〕

⇒ **課題3: テキスト全体から読み取った情報を整理して、概要や要点を把握すること。**

<コミュニケーションを支える文法・語法>

- ◇ 中学校で学習する文法事項のうち、基本的な動詞の語法に関する知識については定着がみられる。〔 6A(9)/B(4) 〕
- ◆ 中学校で学習する文構造のうち、<what+名詞 ...?>の疑問文を作る技能の習得に課題がある。〔 7A(1) 〕
- ◆ 高校で学習する文法事項のうち、使役動詞と代名詞に関する知識の定着に課題がある。〔 6A(7)、(10)/B(2)、(5) 〕

⇒ **課題4: 英語でコミュニケーションを図るのに必要な文法・語法に関する知識及びそれを適切に運用する技能を身に付けること。**

#### ① 共通問題の正答率(調査対象全体)

共通問題正答率 **49.2%**(令和4年度53.7%)

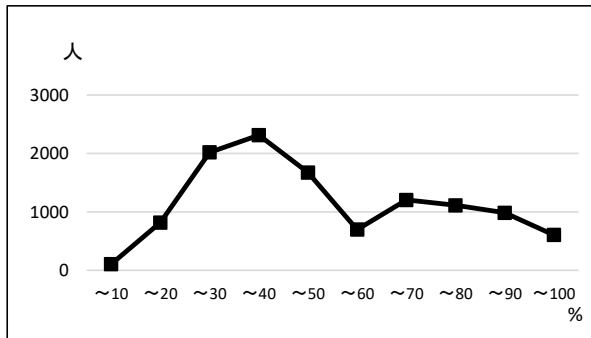


図1 【共通問題・英語】正答率の度数分布

#### <概況>

昨年度同様、正答率50%台の中間層が薄く、グラフはM字型となった。昨年度は正答率41%以上50%以下の階級の度数が最大であったが、今年度はそれが31%以上40%以下の階級に移り、平均正答率も4.5ポイント低下した。「聞くこと」においては、短い発話から概要や要点、話し手の意図を把握する問題の正答率が約40ポイント低下した。文法・語法においては、使役動詞に関する問題の正答率が20%台と、昨年度同様低く、知識の定着に課題がみられる。

#### ② 共通問題の小問ごと正答率(調査対象全体)

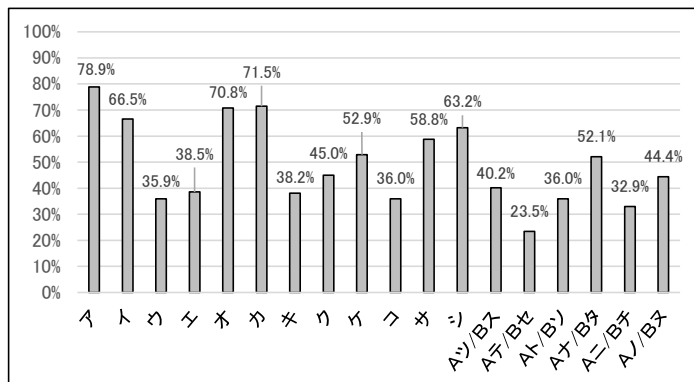


図2 【共通問題・英語】調査対象全体の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
1	ア・イ	聞くこと
2	ウ・エ	聞くこと
3	オ・カ	聞くこと
4	キ〜コ	聞くこと
5	サ・シ	聞くこと
6	Aツ/Bス	文法・語法
	Aテ/Bセ	文法・語法
	Aト/Bソ	文法・語法
	Aナ/Bタ	文法・語法
	Aニ/Bチ	文法・語法
7	Aノ/Bヌ	文法・語法(整序)

③ 学校選択型A問題(A問題選択者)の小問ごと正答率

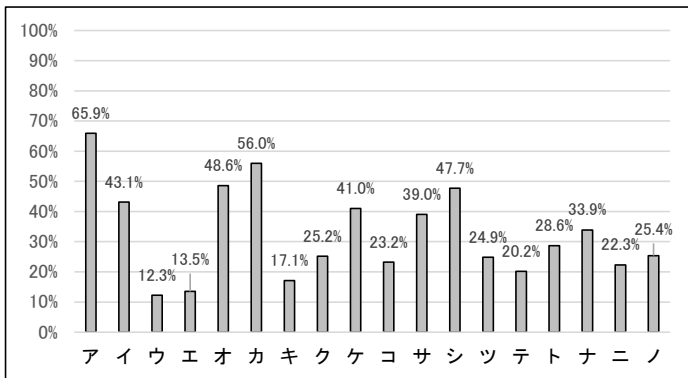


図3 【共通問題・英語】A選択者の小問ごと正答率

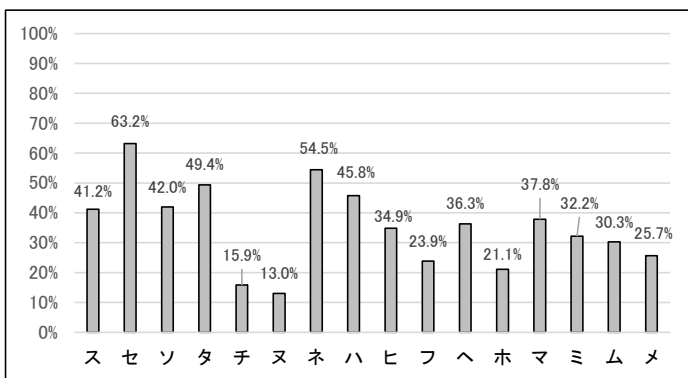


図4 【選択型A問題・英語】小問ごと正答率

④ 学校選択型B問題(B問題選択者)の小問ごと正答率

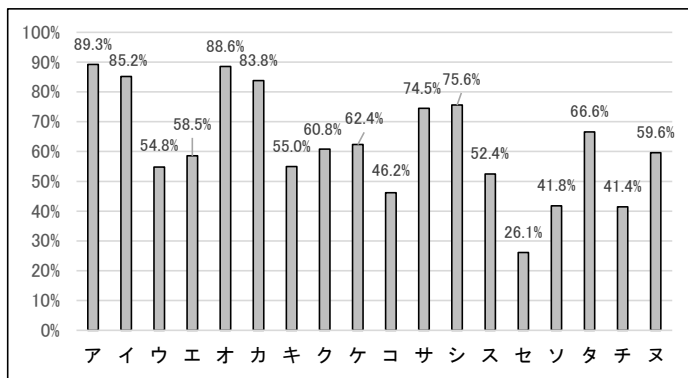


図5 【共通問題・英語】B選択者の小問ごと正答率

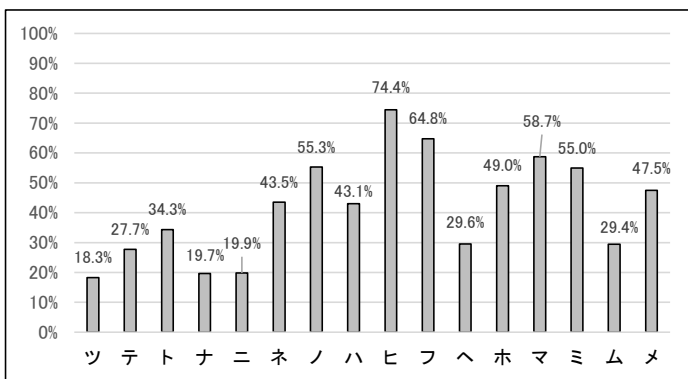


図6 【選択型B問題・英語】小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
1	ア・イ	聞くこと
2	ウ・エ	聞くこと
3	オ・カ	聞くこと
4	キ～コ	聞くこと
5	サ・シ	聞くこと
6	Aツ/Bス	文法・語法
	Aテ/Bセ	文法・語法
	Aト/Bソ	文法・語法
	Aナ/Bタ	文法・語法
	Aニ/Bチ	文法・語法
7	Aノ/B又	文法・語法(整序)

学校選択型A問題

解答記号	分類	内容
6	ス	文法・語法
	セ	文法・語法
	ソ	文法・語法
	タ	文法・語法
	チ	文法・語法
7	又	文法・語法(整序)
	ネ	文法・語法(整序)
8	ハ～ホ	読むこと
9	マ～メ	読むこと

解答記号	分類	内容
1	ア・イ	聞くこと
2	ウ・エ	聞くこと
3	オ・カ	聞くこと
4	キ～コ	聞くこと
5	サ・シ	聞くこと
6	Aツ/Bス	文法・語法
	Aテ/Bセ	文法・語法
	Aト/Bソ	文法・語法
	Aナ/Bタ	文法・語法
	Aニ/Bチ	文法・語法
7	Aノ/B又	文法・語法(整序)

学校選択型B問題

解答記号	分類	内容
6	ツ	文法・語法
	テ	文法・語法
	ト	文法・語法
	ナ	文法・語法
	ニ	文法・語法
7	ネ	文法・語法(整序)
	ノ	文法・語法(整序)
8	ハ～ホ	読むこと
9	マ～メ	読むこと

## (2)分析結果から見える「英語コミュニケーションⅠ」の授業づくりのポイント

### POINT1 - 聞くこと(日常的・社会的な話題のリスニング)

**何** を聞き取るのか確認しながら話し手の意図を把握できるようにするとともに、目的や場面、状況を明確にした上で、複数の情報を聞き取れるようにする。

- 「誰が」「何をしたのか」など、聞き取るポイントを確認しながら発話を聞くようにするとともに、“What does the speaker want to say?”などの発問に対してペアやグループで考えを伝え合うなど、発話全体から話し手の意図を把握する活動を大切にする。
- 「アナウンスを聞いて日程を確認する」など、聞く目的や場面、状況を適切に設定し、関連する様々な表現を取り上げた上で、そうした表現を含む発話や会話を聞き、複数の情報を図表にまとめるような授業を構成する。

### POINT2 - 読むこと(日常的な話題)

**日** 常生活で使われるテキストから複数の情報を読み取り、目的に応じて処理できるようにするとともに、情報を事実と意見に整理できるようにする。

- 英語のウェブサイトなどを活用し、「必要な費用を求める」など、目的や場面、状況を設定した上で、条件に合わせて必要な情報を読み取って処理する活動を行う。
- 事実が書かれた文と意見が書かれた文の特徴をそれぞれ理解した上でテキストを読み、どの部分が事実・意見なのかを区別することを大切にする。さらに、事実の部分に依拠して、自らの意見をペアやグループで伝え合うような言語活動を充実させる。

### POINT3 - 読むこと(社会的な話題)

**テ** クスト全体から読み取った情報を整理したりまとめたりしながら、概要や要点を的確に把握できるようにする。

- 代名詞や接続表現、時間を表す表現などを手がかりにしながら、テキストから読み取った情報を時系列で整理したり、図表にまとめたりする活動を大切にする。
- 読み取った内容について、キーワードをメモし、それを基に英語で口頭要約する言語活動や、書き手の意見に対する各自の意見を伝え合うグループディスカッションをした後に、自分の意見を書いてまとめる言語活動が効果的である。

### POINT4 - コミュニケーションを支える文法・語法

**既** 習事項を含め、文法・語法を、言語活動の中で活用することを通して、実際のコミュニケーションの場面で運用できるようにする。

- 文法事項や文構造についての明示的な指導だけでなく、文法事項や文構造を活用して、自分の気持ちや考えを伝え合う言語活動を繰り返し設定することを大切にする。
- 定着に時間がかかる文法事項や文構造もあることから、必要に応じて、小・中学校で学習した内容と高校で学習する内容を関連付けながら、定着を図る。

### (3)設問ごとの分析結果

#### ① 出題のねらいと内容

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]」、「話すこと [発表]」、「書くこと」の五つの領域のうち、「聞くこと」及び「読むこと」について、中学校までの学習内容を基礎として、高等学校第1学年修了時までまでに学習した内容を選択問題形式で出題した。

#### ② 設問ごとのねらい、結果の分析と考察

##### 1 「聞くこと」に関する問題(リスニング):短い発話を聞き、対応するイラストを選ぶことを通じて、概要や要点を把握することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
1	(1)	ア	1	<b>78.9</b>	20.6	0.5	○	1.9	11.9	6.8
	(2)	イ	4	<b>66.5</b>	33.0	0.5	0.7	30.8	1.5	○

#### 【考察】

(1) は、男の子の様子に関する短い発話を聞き、それに対応するイラストを選ぶ問題である。多くの生徒が必要な情報を聞き取ることができていた。誤答の選択肢 3 を選んだ生徒は、“both”の意味を捉えられなかったと考えられる。

(2) は、カフェの営業時間に関する短い発話を聞き、それに対応するイラストを選ぶ問題である。誤答の選択肢 2 を選んだ 30.8%の生徒は、“two hours”を“2:00”と誤って捉えたと考えられる。

(1)、(2)とも正答率が65%を超えている状況から、イラストが与えられれば、短い発話を聞いて、概要や要点を把握することができると考えられる。

##### 2 「聞くこと」に関する問題(リスニング):短い発話を聞き、話し手の意図を把握することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
2	(1)	ウ	2	<b>35.9</b>	63.4	0.7	32.8	○	18.5	12.1
	(2)	エ	1	<b>38.5</b>	60.6	0.9	○	31.4	10.4	18.8

#### 【考察】

(1) は、子供が母親に満腹だと伝える短い発話を聞き、その意図を選ぶ問題である。誤答の選択肢 1 を選んだ 32.8%の生徒は、発話中の“cooked too much food”を断片的に聞き取ったものの、それが誰の動作なのかを把握できなかったと考えられる。

(2) は、箱を運ぶのに手を貸してくれないかと伝える短い発話を聞き、その意図を選ぶ問題である。誤答の選択肢 2 を選んだ 31.4%の生徒は、(1)と同様、“carry”や“box”といった発話内の単語を断片的にしか聞き取れず、話し手が全体として何を伝えようとしているのかを的確に捉えることができなかったと考えられる。

「聞くこと」の指導においては、しばしば、単語や文を聞いて、それを書き取る活動が行われるが、実際のコミュニケーションの場面では、話し手の意図を把握したり、概要や要点を捉えたりすることが重要になってくる。“What does the speaker want to say?”や“What is the speaker’s

opinion about ...?”といったような、話し手の意図や考えを問う発問を授業者が投げかけたり、その答えについてペアで話し合う活動を行ったりするなど、聞き取った単語や文をまとめたり、自分の言葉で言い換えたりして、的確に表現できるようにすることが大切である。

**3 「聞くこと」に関する問題(リスニング):場面の情報を参考にしながら短い対話を聞き、概要や要点を把握することができるかをみる問題**

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
3	(1)	オ	1	<b>70.8</b>	28.3	0.9	○	12.6	10.6	5.0
	(2)	カ	4	<b>71.5</b>	27.7	0.8	5.6	11.4	10.7	○

**【考察】**

(1) は、店内での店員と客との対話を聞き、客が購入するものを選ぶ問題である。多くの生徒が、接続詞“but”のはたらきを理解し、対話の概要を把握するのに必要な情報を聞き取ることができたと考えられる。

(2) は、週末の予定に関する対話を聞き、何をするつもりなのかを選ぶ問題である。中学校で学習する“be going to”の表現が定着していると考えられる。

(1)、(2)とも正答率は70%を超えていることから、場面の情報が与えられれば、短い対話を聞いて、概要や要点を把握することができるといえる。

**4 「聞くこと」に関する問題(リスニング):長めの説明を聞き、表を完成させることを通じて、話し手の意図を把握することができるかをみる問題**

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)			
						1	2	3	4
4	キ	1	<b>38.2</b>	60.6	1.2	○	23.0	14.1	23.6
	ク	4	<b>45.0</b>	54.0	1.0	18.2	20.5	15.3	○
	ケ	3	<b>52.9</b>	46.0	1.1	14.3	20.1	○	11.6
	コ	2	<b>36.0</b>	62.9	1.1	28.0	○	16.7	18.2

**【考察】**

2つの国の学生が将来就きたいと考えている職業について、職業の種類ごとの希望者の割合を聞き取る問題である。ケの正答率は50%を超え、高校で学習する“twice as high as”という比較表現がある程度定着していると考えられる。一方で、ケ以外の正答率が50%未満であることから、“about”などの概数表現や、“gap”のような差を表す表現に関する知識が未定着であるため、話し手の意図を的確に把握できなかったと考えられる。また、“Public worker”という表現に慣れていないためか、キでは正答率が38.2%である。

数量表現を含む複数の情報を処理できるようにするために、まずは、「商品の値段と数を聞いて注文表を作成する」といったような、英語を聞いて情報をまとめる必然性がある場面や状況、目的を設定し、授業を組み立てたい。その際、様々な数量表現について、意味や音声を取り上げる時間を作った上で、数量表現を含む発話や対話を聞き、複数の情報を図表にまとめるといった構成にすると効果的である。また、聞き取った情報を基に、自分の意見を英語でやり取りするような技能統合型の活動を取り入れることも効果的である。

5 「聞くこと」に関する問題(リスニング):長めの対話を聞き、必要な情報を統合して要点を整理、判断することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
5	(1)	サ	2	58.8	40.3	0.9	14.3	○	18.4	7.7
	(2)	シ	3	63.2	35.9	0.9	17.4	9.4	○	9.1

【考察】

建築用3Dプリンターを使って建てられた家についての対話を聞き、それぞれの話者が話した内容の要点を整理、判断する問題である。3よりも長めの対話文であるが、正答率は60%前後であり、一定数の生徒が、長めの対話を聞いて要点を的確に捉えることができたと考えられる。

(1)は、ケンの発話の要点を問う問題である。誤答の選択肢1と3の選択率がそれぞれ15%前後であるが、選択肢1はケンが述べていない内容であり、断片的に聞き取った“the cost of building”から判断したものと考えられる。選択肢3はケンが3Dプリンターに肯定的な意見を述べていたことから導き出したものと考えられる。

(2)は、メイの発話の要点を問う問題である。メイではなく、ケンの発話内容を含む誤答の選択肢1の選択率が17.4%であるが、これは、“I wonder if”や“make sure of”の表現を理解できず、メイの発言の主旨を捉えられなかったものと考えられる。

「聞くこと」に関する活動においては、その目的や場面、状況を明確にするとともに、「誰が、どこで、いつ、何をするか」等、聞き取る必要のあるポイントを確認し、対話や会話を聞きながらそれを表にまとめる活動を大切にしたい。あわせて、聞き取った内容について、キーワードをメモし、それを基に英語で口頭要約したり、自らの意見を伝え合ったりする活動を充実させたい。

6 (共通問題)文法・語法に関する問題:英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文法事項に関する知識が定着しているかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
6	A(6) B(1)	ツ ス	3	40.2	58.9	0.9	19.8	20.6	○	18.6
	A(7) B(2)	テ セ	2	23.5	75.6	0.9	15.2	○	21.4	39.0
	A(8) B(3)	ト ソ	2	36.0	63.0	1.0	9.4	○	11.5	42.2
	A(9) B(4)	ナ タ	1	52.1	46.9	1.0	○	16.4	8.4	22.1
	A(10) B(5)	ニ チ	3	32.9	66.0	1.1	23.9	30.1	○	12.0

【考察】

選択肢の中から最も適切な語句を選び、正しい文を完成させる問題である。

ナ/タ<動詞の語法>の正答率は50%を超え、“tell”や“speak”といった、小・中学校で学習した基本的な動詞の使い方に関する知識は定着してきているといえる。

一方、テ/セ<使役動詞>の正答率は23.5%にとどまった。過去の調査においても、<使役動詞



>に関する問題の正答率は30%前後と低く、使役動詞に関する知識の定着に課題があるといえる。<使役動詞>の目的語の直後に置く語形については、①“have”や“make”などの使役動詞のうち、どれが使われるか、②目的語との関係が能動か受動か、という2つの要素が大きく関係するが、こうした知識が定着していないと考えられる。特に、②については、そもそも能動と受動の区別ができていない可能性が考えられる。生徒が写真やイラストを使って身近な事象を英語で表現する活動を通して、能動と受動の違いを視覚的なイメージで捉えられるようにするなど、指導を工夫することが大切である。

文法・語法については、体系的・明示的な説明だけでなく、目的や場面、状況を適切に設定した言語活動の中で、繰り返し活用することを通して定着を図ることが極めて大切である。また、授業の中で、生徒の発話の中に語彙や文法・語法の誤りがある場合、それを教師が適切な表現に言い直すりキャストや、ある表現を、別の表現で教師が言い換える、あるいは、生徒に言い換えさせるパラフレーズを行うことも効果的である。

ただし、文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法的な正確さのみを過度に強調することがないよう、配慮が必要である。

**7 (共通問題)文法・語法に関する問題(整序):英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文構造に関する知識と、それを適切に運用する技能が身に付いているかをみる問題**

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
7	A(3) B(1)	ノ ヌ	4	<b>44.4</b>	54.6	1.0	9.5	8.2	36.9	○

**【考察】**

与えられた語句を適切に並び替えて、正しい文を完成させる問題である。

ノ/ヌ<It takes + 人 + 時間 + to do>は、過去の調査において30%台だった正答率が、今回の調査では40%台半ばとなっている。誤答の選択肢3を選択した生徒も、“take”の目的語に関する知識が未定着である一方、“It”を文頭に据え、“to do”を時間の表現の後ろに置くという大きな文の骨格は理解できていると考えられる。言語活動を中心とした授業が展開される中で、この構文を用いる場面が設定されていると考えられる。

英語特有の語順については、生徒が自分の気持ちや考えを伝え合う言語活動を通して、今後も定着を図っていく必要がある。

**6 (学校選択型A)文法・語法に関する問題:英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文法事項に関する知識が定着しているかをみる問題**

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
6	(1)	ス	4	<b>41.2</b>	57.6	1.2	30.1	22.8	4.7	○
	(2)	セ	3	<b>63.2</b>	35.7	1.1	15.0	8.5	○	12.2
	(3)	ソ	3	<b>42.0</b>	56.7	1.3	18.8	29.1	○	8.8
	(4)	タ	2	<b>49.4</b>	49.0	1.6	12.2	○	11.0	25.8
	(5)	チ	4	<b>15.9</b>	82.4	1.7	45.5	10.1	26.7	○

### 【考察】

選択肢の中から最も適切な語句を選び、正しい文を完成させる問題である。

(2) <現在分詞>の正答率は60%を超えているが、それ以外の問題の正答率は全て50%未満であり、<受動態>の正答率は約16%と、この大問の中で最も低い。

(1) <不定詞>では、誤答の選択肢1と2の選択率の合計が50%を超えている。不定詞に関する知識が十分に定着していないことに加え、“something”と“some”を混同し、“drink”を名詞と考え、“something drink(s)”という名詞句と捉えた可能性がある。

(5) <受動態>では、誤答の選択肢1“see”の選択率が約45%となり、正答率を大きく上回っている。これは、「ビルが見える」つまり「見ることができる」という意味だと誤って判断し、受動態を使うべき場面だと考えられなかったものと考えられる。

定着に時間がかかる文法事項や文構造については、必要に応じて、小・中学校で学習した内容を繰り返し扱ったり、高校で学習する内容と関連付けたりしながら、意味ある文脈の中でコミュニケーションを通して活用する機会を作り、実際に運用できるように指導することを大切にしたい。

### 7 (学校選択型A)文法・語法に関する問題(整序):英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文構造に関する知識と、それを適切に運用する技能が身に付いているかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
7	(1)	ヌ	2	13.0	85.5	1.5	4.8	○	68.2	12.5
	(2)	ネ	4	54.5	43.7	1.8	14.4	17.2	12.1	○

### 【考察】

与えられた語句を適切に並び替えて、正しい文を完成させる問題である。

(1) <what + 名詞 ...?>では、正答率が13%となり、文法・語法に関する問題の中で最も低い。誤答の選択肢3の選択率が約68%と高く、多くの生徒が“What did you visit countries ...?”という文を作ったものと考えられる。<what + 名詞 ...?>については、過去に高校入試において出題があった際にも、定着していないことが指摘されており、継続的な課題といえる。尋ねたい内容を適切に英語で表現できるようにするために、ペアでお互いに質問し合うやり取りの場数を数多く設定し、様々な疑問文に関する知識の定着と、それを適切に運用する技能の向上を図ることが必要である。

(2) <so ... that ~ S + V>は、50%を超える正答率である。<so ... that ~ S + V>は中学校で学習する文構造であるが、身近な出来事や自分の気持ちや考えを伝える際によく使われるため、この文構造に関する知識が定着し、適切に運用する技能が身に付いてきたものと考えられる。

⑧ (学校選択型A)「読むこと」に関する問題:日常的な話題について書かれたテキストを読み、目的に応じて必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
⑧	(1)	ハ	4	<b>45.8</b>	52.1	2.1	21.6	20.1	10.4	○
	(2)	ヒ	3	<b>34.9</b>	62.7	2.4	19.4	28.8	○	14.5
	(3)	フ	3	<b>23.9</b>	73.6	2.5	13.1	46.4	○	14.1
	(4)	ヘ	2	<b>36.3</b>	61.2	2.5	15.6	○	25.4	20.2
	(5)	ホ	3	<b>21.1</b>	76.3	2.6	35.5	20.3	○	20.5

【考察】

サファリツアーの旅行案内を読み、旅行代金に関する情報を探し出したり、参加者の人数や年齢といった条件に合わせて代金を計算したりする問題である。

正答率が40%を超えたのは(1)のみで、その他の設問に対しては20%~30%台の正答率である。非連続型のテキストを含むパンフレット等から必要な情報を読み取ることに課題があるといえる。

(1)では、半数近くの生徒が、旅行案内のDay1とDay2の内容を正確に理解し、正答を導き出すことができた。

(2)は、旅行案内中段の“Our price includes”と“Our price does NOT include”を比較する問題である。誤答の選択肢を選んだ生徒は、①“include”という単語の意味が分からなかったこと、②“airplane”と“flights”を結びつけて考えられなかったこと、③“ticket”という単語が旅行案内の中になかったこと、これら3点から正答を導けなかったと考えられる。

(3)では、旅行案内下段の“When to visit”の欄の、“For people who don’t want to stay in hot weather, we recommend visiting the park from June to August”という記述から、6月から8月の期間に含まれる7月を意味する正解の選択肢3 “July”を選ぶ必要がある。40%以上の生徒が誤答の選択肢2を選択したが、これは、設問文が問うている内容を正確に把握することができず、選択肢の月の中で唯一、旅行案内の中に記載があった“May”を選んだためと考えられる。

(4)は、設問文の条件を踏まえ、旅行案内上段の“Price per person”と“Price per child under 15”の欄から必要な情報を読み取り、参加者の費用の合計を算出する問題である。多くの生徒が誤答の選択肢3を選んだのは、英語における月の名称に関する知識が定着し、“August”が“High season”だと旅行案内から読み取ることができたものの、“Price per child under 15”の記述を見落とし、16歳の息子の料金区分を誤ったためと考えられる。

(5)は、資料全体の情報を整理し、その正誤を判断する問題である。誤答の選択肢1の選択率が約35%と最も高い。旅行案内下段の“Reservations are accepted from 6 months before departure.”という箇所を見て、設問文全体の意味を把握できないまま、同じような表現がある誤答の選択肢1を選択したと考えられる。

日常的な話題について書かれたテキストの読み取りについては、パンフレットやポスターといった、実生活で使用される様々な種類の非連続型のテキストを活用し、日にちや場所、そのテキストが書かれた目的など、必要な情報に焦点を当てて読み取るとともに、条件に合わせて、テキストから複数の情報を読み取り、それらを適切に処理する活動を大切にしたい。また、電子メールを読んで、どのような目的で書かれたのかについて、ペアで話し合ったり、読んだ電子メールに対して返信を書いたりするなど、読んだことを基に話したり書いたりする活動へとつなげることも大切であ

る。

9 (学校選択型A)「読むこと」に関する問題:社会的な話題について書かれたテキストを読み、その概要や要点を的確に把握することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
9	(1)	マ	3	<b>37.8</b>	60.1	2.1	19.0	23.3	○	17.8
	(2)	ミ	2	<b>32.2</b>	65.2	2.6	19.1	○	32.1	14.0
	(3)	ム	3	<b>30.3</b>	66.9	2.8	21.4	25.9	○	19.7
	(4)	メ	4	<b>25.7</b>	71.2	3.1	23.3	27.2	20.8	○

【考察】

ワニの動きを調査しようとしていたある研究者グループが、偶然ウミワシの行動について知ることになった出来事について書かれたテキストを読み、研究者グループの当初の目的や、出来事の推移に関する情報を読み取る問題である。

(1)は、この大問の中で最も正答率が高いが、それでも約38%にとどまった。本文中の“movements”という語が、正答の選択肢3中の“move”の派生語であることに気付くことができず、他の誤答の選択肢に含まれる語句を断片的に拾ったことが原因だと考えられる。

(2)は、研究者たちの考えを問う設問である。この問題の正答率が、事実を述べている誤答の選択肢3の選択率と同程度であることから、考えを述べている部分と事実を述べている部分の区別ができていないと考えられる。

(3)はテキストの要点を把握できているかをみる問題であり、(4)はテキスト全体の情報を整理できているかをみる問題であるが、無答率が他の問題よりも高い。限られた時間の中で、一定数の生徒が、本文全体の情報を整理しきれなかったものと考えられる。

読み取った情報を時系列で整理したり、類似点と相違点を図表にまとめたりするなど、テキストの種類に応じて、「なぜ読むのか」「何を読み取るのか」といった、読む目的や場面、状況を明確にした授業を展開する必要がある。また、読み取った内容について、キーワードをメモし、それを基に英語で口頭要約したり、自らの意見をペアやグループで伝え合ったりするような活動を充実させたい。

6 (学校選択型B)文法・語法に関する問題:英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文法事項に関する知識が定着しているかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
6	(6)	ツ	4	<b>18.3</b>	81.5	0.2	5.5	66.4	9.6	○
	(7)	テ	2	<b>27.7</b>	72.1	0.2	13.9	○	5.2	53.0
	(8)	ト	1	<b>34.3</b>	65.4	0.3	○	15.0	17.2	33.2
	(9)	ナ	3	<b>19.7</b>	80.1	0.2	26.7	37.3	○	16.1
	(10)	ニ	2	<b>19.9</b>	79.8	0.3	30.0	○	40.2	9.6

**【考察】**

選択肢の中から最も適切な語句を選び、正しい文を完成させる問題である。

正答率が30%を超えたのは(8)＜動詞の語法＞のみで、特に(6)＜be used to 動名詞＞、(9)＜分詞構文＞、(10)＜仮定法＞の正答率はいずれも20%に届いていない。

(6)＜be used to 動名詞＞では、約66%の生徒が誤答の選択肢2を選んでいて、＜be used to 動名詞＞と「used to 原形」を混同したものと考えられる。それぞれの表現について、be 動詞の有無に関する知識と、“to”の後ろにくる形に関する知識の定着に課題があるといえる。

(9)＜分詞構文＞では、誤答の選択肢1と2の選択率の合計が64%である。これらの選択肢を選んだ生徒は、分詞構文の意味上の主語である“the stone”と動詞“see”との関係を適切に捉えられず、受動態を使うべき場面だと判断できなかったものと考えられる。

(10)＜仮定法＞では、約40%の生徒が誤答の選択肢3を選んだ。「It's about time S + V」という仮定法を用いた慣用表現に関する知識の定着が不十分であるため、直説法の文だと誤って判断し、主節の動詞 is の時制に合わせて、現在時制が使われている選択肢を選んだものと考えられる。

＜分詞構文＞の設問において、能動態を使うべきか受動態を使うべきかを適切に判断できなかったことが高い誤答率につながっているように、中学校で学習した文法事項や文構造に関する知識が十分に定着していないことが考えられる。必要に応じて、小・中学校で学習した内容と、高校で学習する文法事項や文構造とを関連付けながら、意味ある文脈の中でコミュニケーションを通して活用する機会を作り、実際に運用できるように指導することを大切にしたい。

**7 (学校選択型 B)文法・語法に関する問題(整序):英語によるコミュニケーションを支える基礎的・基本的な文構造に関する知識と、それを適切に運用する技能が身に付いているかをみる問題**

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
7	(2)	ネ	3	43.5	56.3	0.2	6.2	3.3	○	46.8
	(3)	ノ	2	55.3	44.5	0.2	11.4	○	7.6	25.5

**【考察】**

与えられた語句を適切に並び替えて、正しい文を完成させる問題である。

(2)＜had better の否定形＞の正答率は約43%であり、誤って“had not better”と並べた誤答の選択肢4の選択率が正答を上回る約46%である。“had better”の“had”を、完了形で用いる“have”と混同している可能性もあり、“had better”の否定語を付ける位置に関する知識の未定着であると考えられる。助動詞やそれに準ずる表現は、日常生活の中でよく使われるものであり、目的や場面、状況を適切に設定した言語活動の中で、繰り返し活用することを通して定着を図るように指導したい。

(3)＜動名詞の完了形＞は、難度が高い問題であるが、正答率は約55%である。“be proud of”というイディオムの知識と、＜動名詞の完了形＞に関する知識がある程度定着し、ある程度の数の生徒がそれらを組み合わせて文を作る技能を身に付けていると考えられる。

- ⑧ (学校選択型 B)「読むこと」に関する問題: 日常的な話題について書かれたテキストを読み、目的に応じて必要な情報を読み取るとともに、情報を事実と意見に整理しながら、書き手の意図を把握することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
⑧	(1)	ハ	3	<b>43.1</b>	56.5	0.4	49.7	2.7	○	4.2
	(2)	ヒ	2	<b>74.4</b>	25.1	0.5	8.7	○	11.5	4.9
	(3)	フ	3	<b>64.8</b>	34.8	0.4	22.2	6.6	○	6.1
	(4)	ヘ	1	<b>29.6</b>	69.8	0.6	○	19.8	23.9	26.1
	(5)	ホ	4	<b>49.0</b>	50.3	0.7	10.5	18.6	21.1	○

【考察】

スポーツクラブのウェブサイトを読み、クラブ内のプールが使える日時に関する情報を探し出したり、ウェブサイトに記載されている内容を事実と意見を区別したりする問題である。

(1) 誤答の選択肢 1 の選択率が、正答率を上回った。これは、“Except Mondays”を見落とし、もしくは“except”という単語の意味が分からなかったためと考えられる。

(2) では、正答率が70%を超えている。多くの生徒が、必要な情報を読み取り、それを整理することができたと考えられる。

(3) は正答率が約65%であり、(2) に次いで高い。一定数の生徒が、必要な情報を読み取り、条件に従ってそれを処理することができたといえる。誤答の選択肢 1 の選択率が20%ほどであるが、これは、“Note”で示されている情報を読み飛ばし、“Lesson Fee”と“pre-lesson assessment”にかかる費用を考慮しなかったためと考えられる。

(4) と (5) は、それぞれ事実と意見を区別する問題であるが、正答率が50%に届いていない。(4) では、選択肢 2、3、4 は意見であり、事実は選択肢 1 のみである。(5) では、選択肢 1、2、3 は事実であり、意見は選択肢 4 のみである。両設問は形式が似ているにもかかわらず、正答率は(4) が約30%、(5) は約49%と差がみられる。(4) では、“available”という単語の意味がわからなかったため、正答の選択肢 1 を事実として捉えることができず、正答率が低かったと考えられる。一方、(5) では、意見が述べられている正答の選択肢 4 の根拠が、スポーツクラブ利用者の意見を掲載する“REVIEWS”の部分にあり、比較的容易に探し出すことができたため、正答率が比較的高くなったと考えられる。

事実と意見を的確に区別するためには、事実が書かれた文と意見が書かれた文の特徴をそれぞれ理解した上でテキストを読み、どの部分が事実・意見なのかを区別し、事実の部分に依拠して、自らの意見をペアやグループで伝え合う活動が効果的である。また、パンフレットや案内といった日常的な話題について書かれたテキストについては、日にちや場所、そのテキストが書かれた目的など、必要な情報に焦点を当てて読み取ることが大切になるとともに、読み取った情報を基に生徒自身が英語パンフレットを作成するなど、書く活動へとつなげることも効果的である。

9 (学校選択型B)「読むこと」に関する問題:社会的な話題について書かれたテキストを読み、その概要や要点を的確に把握することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
9	(1)	マ	3	<b>58.7</b>	40.5	0.8	15.3	18.5	○	6.6
	(2)	ミ	2	<b>55.0</b>	43.9	1.1	10.6	○	19.5	13.8
	(3)	ム	4	<b>29.4</b>	69.2	1.4	13.6	24.1	31.4	○
	(4)	メ	4	<b>47.5</b>	51.0	1.5	13.1	22.3	15.6	○

【考察】

アメリカにあるブルックリン橋の建設について書かれたテキストを読み、この橋の建設に対する当時の専門家たちの考えや、橋が建設されるまでの経緯に関する情報を読み取る問題である。

(1) は、この大問の中で最も正答率が高い。第1段落にある“The engineering was too difficult, and the river was much too wide.”という記述から、“technical”という単語がある正答の選択肢3を比較的容易に選ぶことができたと考えられる。

(2) も過半数の生徒が正答を選択することができた。第2段落において初めて“Washington”の名前が出てくるが、その文の直前に、“he needed help”という記述があることから、正答の選択肢2の“Washington’s help”を連想することができたと考えられる。

(3) は、この大問の中で正答率が最も低い。これは、それぞれの登場人物がどのように橋の建設に関わったのかについて、テキスト全体から情報を整理できなかったためだと考えられる。特に、選択率が30%以上である誤答の選択肢3については、第7段落中にある“pride”という単語を追ってしまったと考えられる。

(4) は、テキストの要点が把握できているかを問う問題であった。ブルックリン橋建設に関するこの物語の教訓が最終段落にまとめられているが、半数を超える生徒がそのことに気付かず、見当違いな段落の情報を断片的に拾い、誤答の選択肢を選んだと考えられる。テキスト全体を見通して、論理構成を捉えることに課題があるといえる。

文単位、段落単位の理解でとどまることがないようにするために、まずは、テキストの種類に応じて、「なぜ読むのか」、「何を読み取るのか」といった、読む目的や場面、状況を明確にした活動を設定することが大切である。その上で、テキスト全体にまたがる情報を時系列で整理したり、類似点と相違点を図表にまとめたりする活動を積み重ね、概要や要点を的確に把握できるようにしていきたい。さらに、読み取った内容について、キーワードをメモし、それを基に英語で口頭要約したり、書き手の意見に対する各自の意見を伝え合うグループディスカッションをした後に、自分の意見を書いてまとめたりする場面を設定することも効果的である。

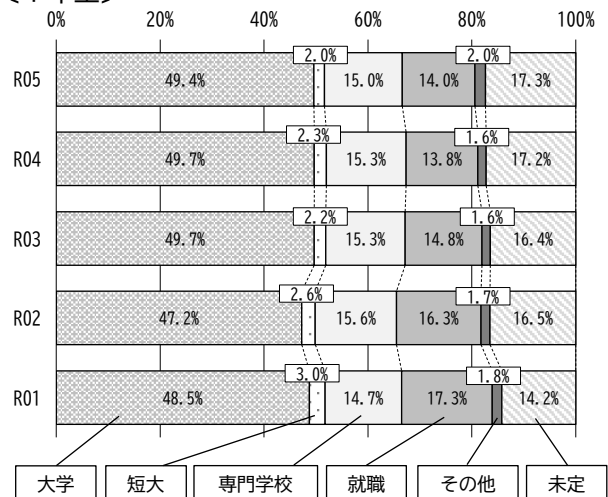
### Ⅲ 学習状況等に関する調査結果の概要と分析

#### 1 学習状況

##### (1) 高校卒業後の進路希望について

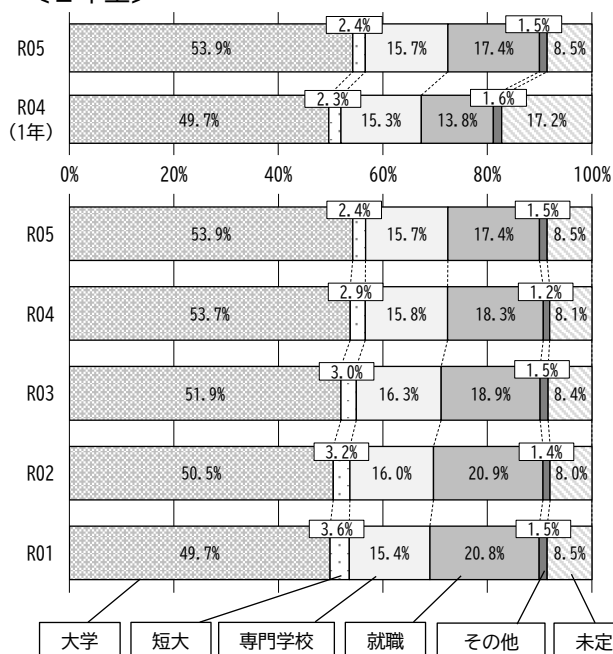
- ① 高校卒業後、進みたいと考えている進路のうち、現在、最も強く希望しているものを1つ選んでください。【Q1】

〔1年生〕



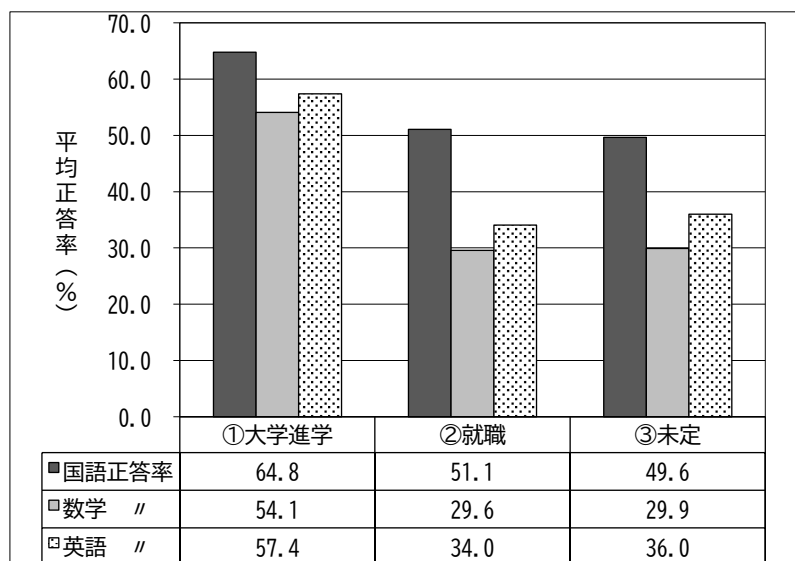
- 進学希望の割合は6割を超える。それぞれの回答の割合に、R1以降大きな変化はみられない。
- 進路希望未定の割合は過去5年間で増加傾向。

〔2年生〕



- 未定の割合が、1年時に比べ減少しているが、過去5か年で大きな変化はみられない。
- 進学希望の割合は年々増加し、R3以降7割を超えている。一方、就職希望の割合は減少傾向。

##### ② 進路希望別正答率



- ① 大学進学  
国公立の4年制大学への進学を希望している生徒
- ② 就職  
民間及び公務員への就職を希望している生徒
- ③ 未定

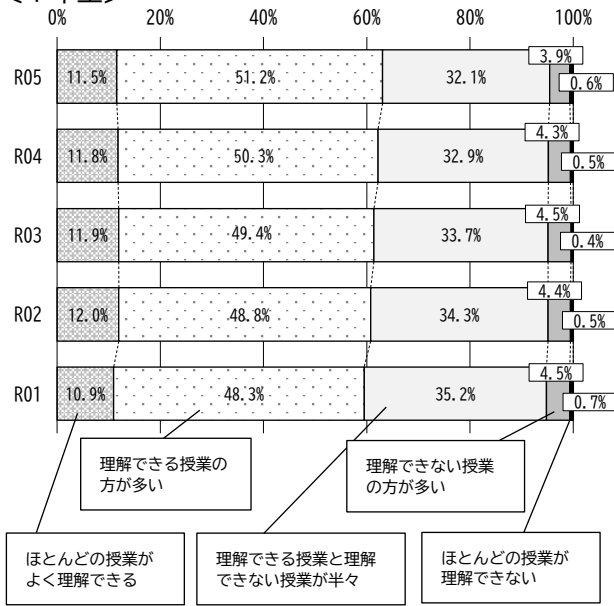
- いずれの教科も、大学進学希望者と就職希望者・進路希望未定者の正答率に大きな開きがある。
- 大学進学希望者と就職希望者・進路希望未定者の正答率の差は、数学と英語で特に大きい。



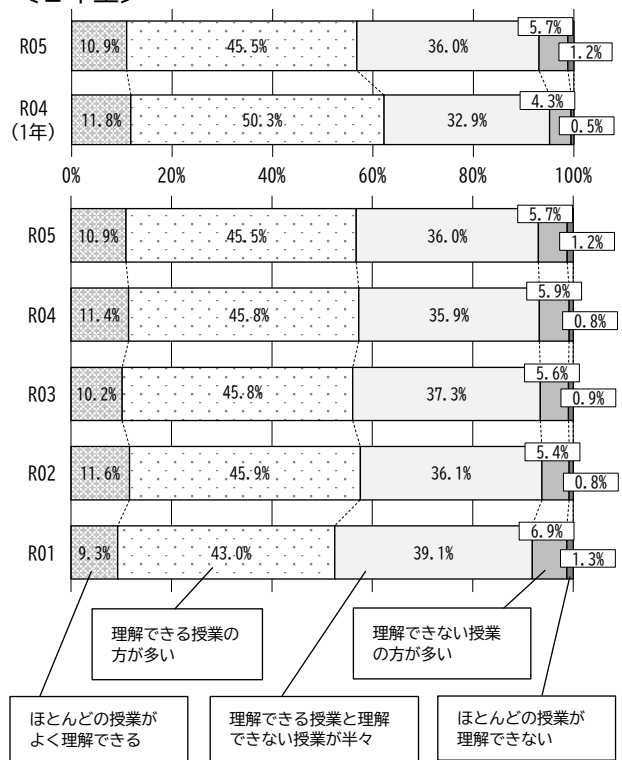
## (2) 授業理解度と家庭学習の仕方について

### ① 授業の内容がどの程度理解できますか【Q4】

〔1年生〕



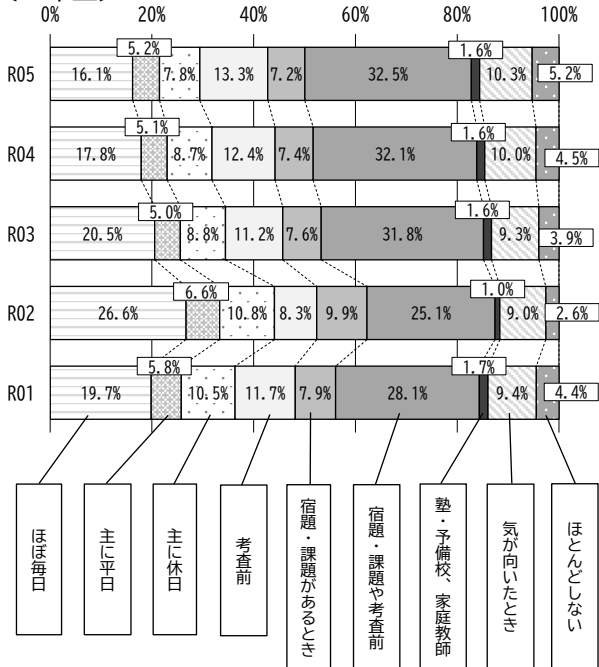
〔2年生〕



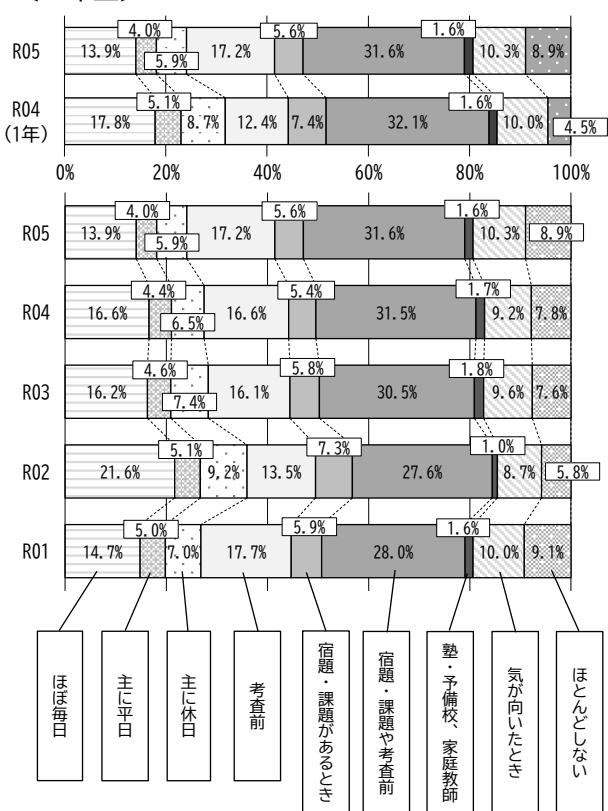
- 1年生は、授業理解に肯定的な回答をした生徒の割合が6割を超え、長期的に増加傾向。
- 一方で、2年生では、肯定的な回答が1年時と比較して減少し、6割を下回る。それぞれの回答の割合の割合は、R2以降大きな変化はみられない。

### ② 家庭学習の仕方に、最も近いものはどれですか【Q16】

〔1年生〕



〔2年生〕

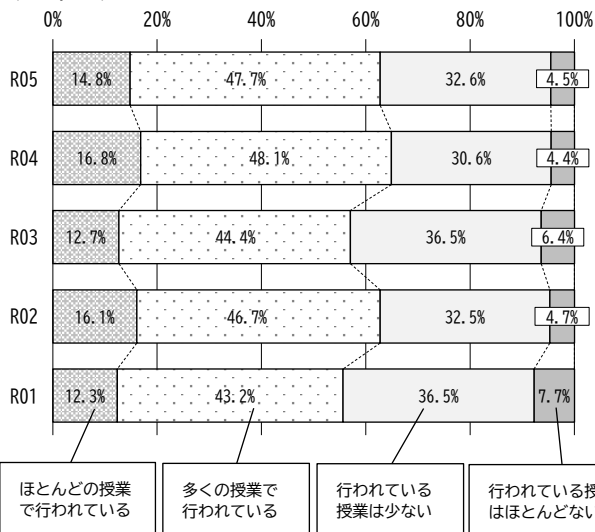


- 1年生は、「ほぼ毎日」の割合が減少傾向。一方で、「気が向いたとき」「ほとんどしない」は、R3以降緩やかに増加傾向にあり、引き続き注意が必要。
- 2年生は、「ほぼ毎日」の割合が減少。1年時との比較でも減少。「考查前」の割合がやや増加。

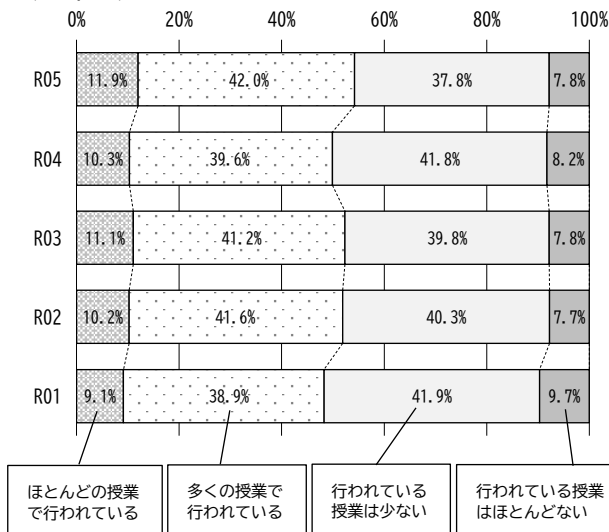
### (3) 授業における学習目標の提示や振り返りについて

① 授業のはじめに学習の目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが行われたりしていますか【Q6】

〔1年生〕

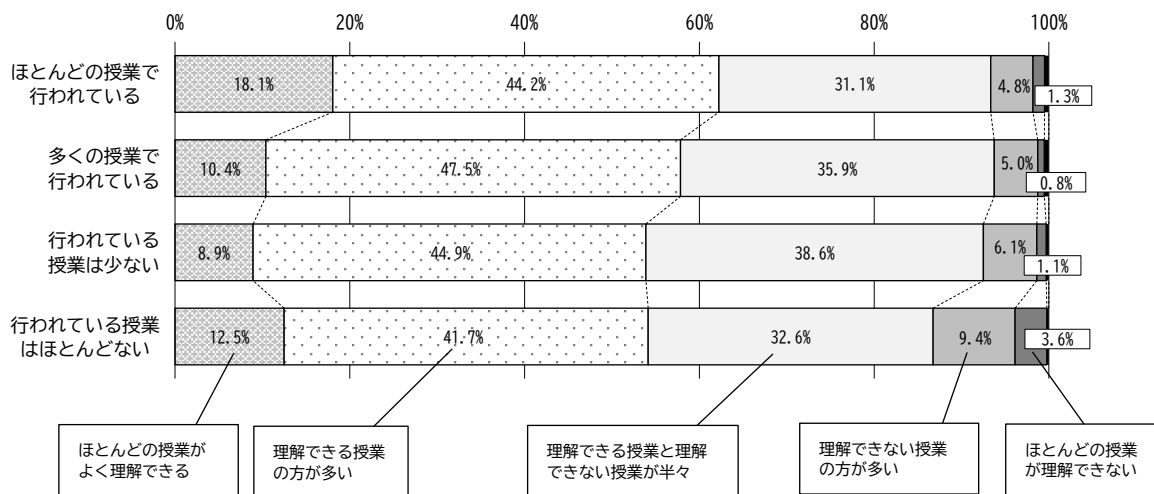


〔2年生〕



○ 「ほとんどの授業で行われている」「多くの授業で行われている」と回答した生徒の割合が、R4と比較して1年生では減少したが、2年生では増加した。

② 授業での学習目標の提示や振り返りと授業理解度（2年生）【Q4】【Q6】



○ 「ほとんどの授業で学習目標の提示や振り返りが行われている」と回答したグループほど、授業理解度が高い傾向がみられる。

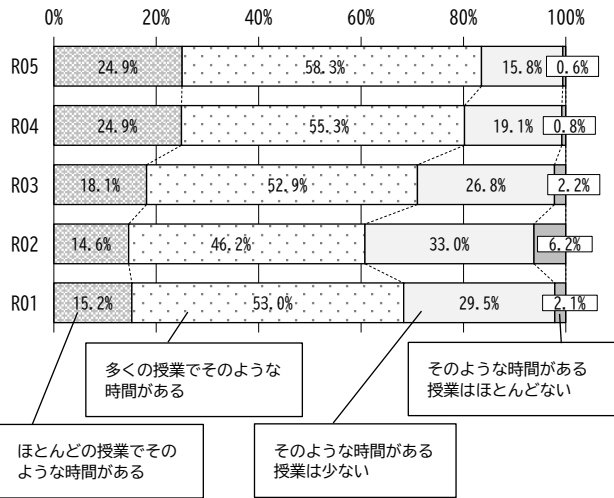
○ 「行われている授業がほとんどない」と回答したグループでは、「理解できない授業の方が多い」と「ほとんどの授業が理解できない」を合わせた割合は約13%である。これは、学習目標の提示や振り返りの有無に対して肯定的な回答をしたグループで、同様の回答をした割合の2倍強である。

○ 学習目標の提示や振り返りを行うことは、生徒の学習に対する主体性を高め、授業理解度を高めることにも有効であると考えられる。

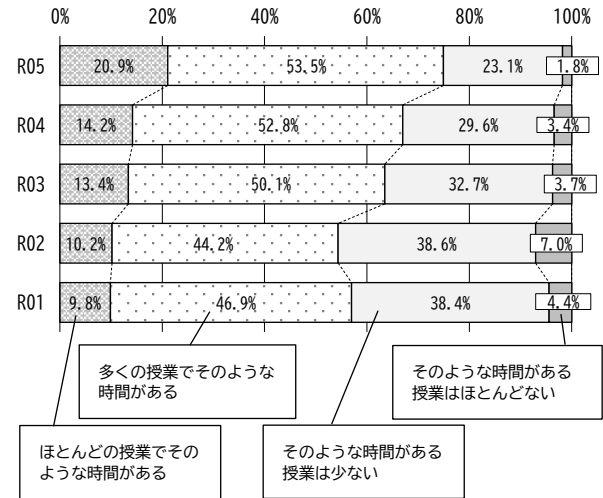
(4) 自分の考えを发表或し、ペアやグループで話し合ったりする学習活動について

① 授業の中で、自分の考えを发表或し、考えたことをペアや小グループで話し合ったりする時間がありますか【Q7】

〔1年生〕

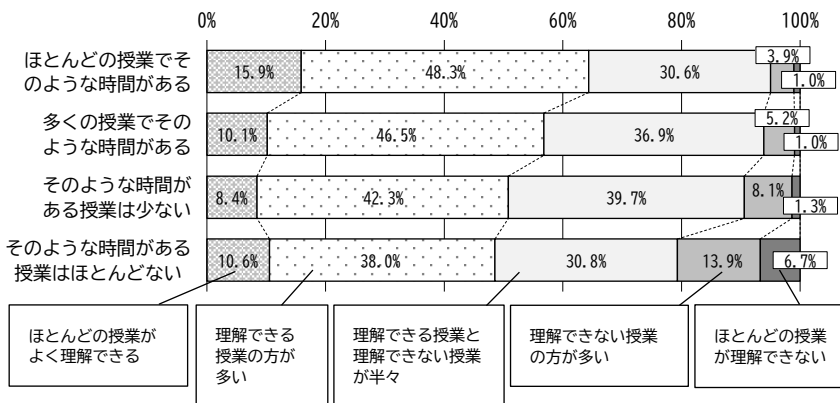


〔2年生〕



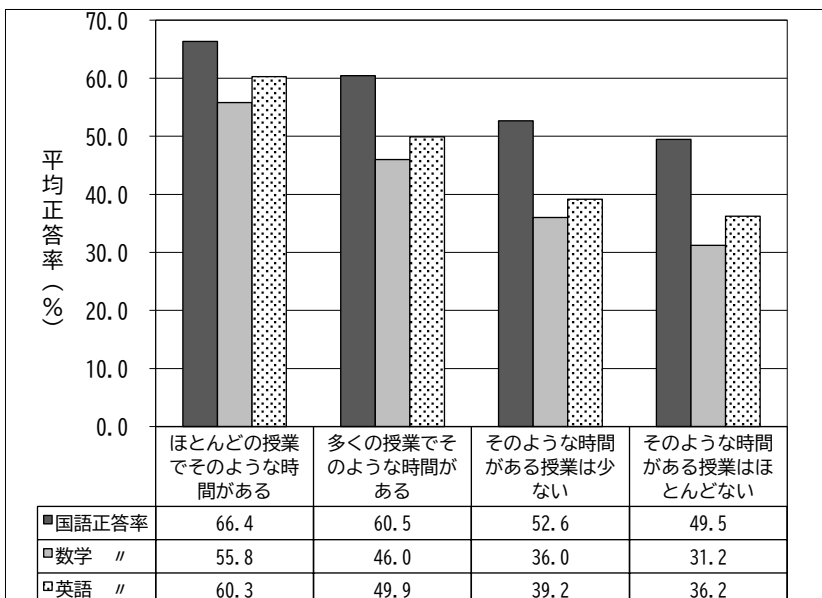
○ 肯定的回答の割合が1年生で8割、2年生で7割をそれぞれ超えた。特に、2年生で肯定的回答の割合が増加していることから、学習指導要領で求められている資質・能力の育成を図る授業改善に、各校が取り組んでいる様子がうかがえる。ただし、2年生は、1年時との比較では肯定的回答の割合が減少している。

② 自分の考えを发表或し、ペアやグループで話し合ったりする学習活動と授業理解度（2年生）【Q4】【Q7】



○ 「ほとんどの授業で発表や話し合いの時間がある」と回答したグループほど、授業理解度が高い傾向がある。「そのような時間がある授業はほとんどない」と回答したグループは、理解できない授業が多いと認識している割合が、他のグループよりも多い。

③ 自分の考えを发表或し、ペアやグループで話し合ったりする学習活動と正答率

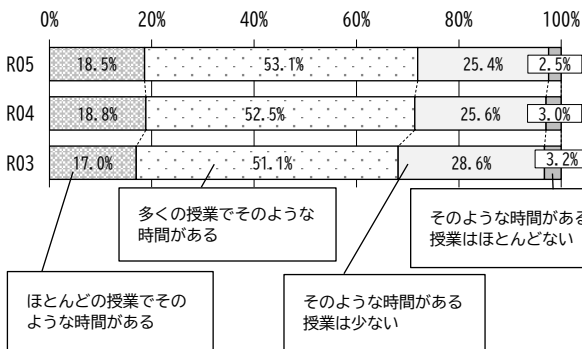


○ 発表や話し合いの活動が行われる授業が多いほど、正答率が高くなる傾向がある。  
 ○ 発表や話し合いの活動を効果的に設定することで、生徒が他者の意見に触れたり自らの考えを整理したりでき、授業理解度の向上につながることを期待される。  
 ○ 対話的な学びを充実させることで、生徒の思考力・判断力・表現力を育成するとともに、深い学びにつながっていくと考えられる。

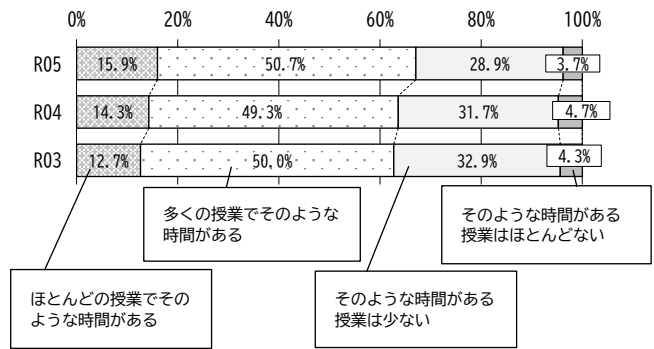
(5) 課題を見つけたり、解決したりする学習活動について

① 授業の中で、あなたが課題を見つけたり、解決したりする時間がありますか【Q8】

〔1年生〕

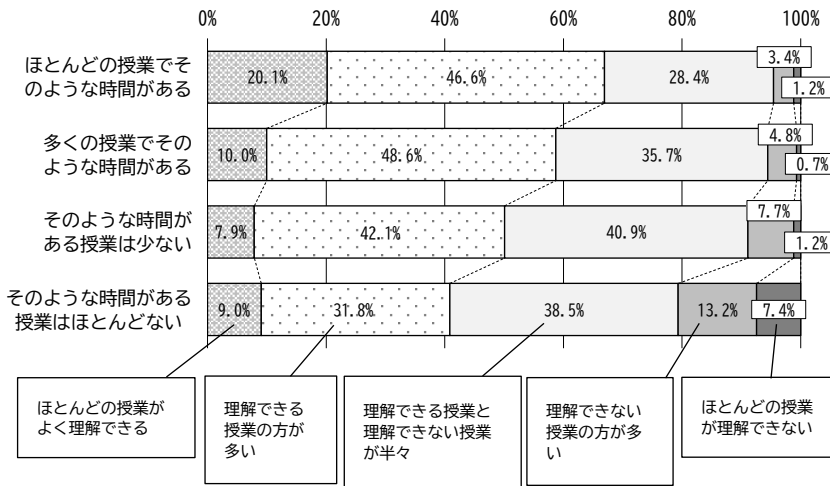


〔2年生〕



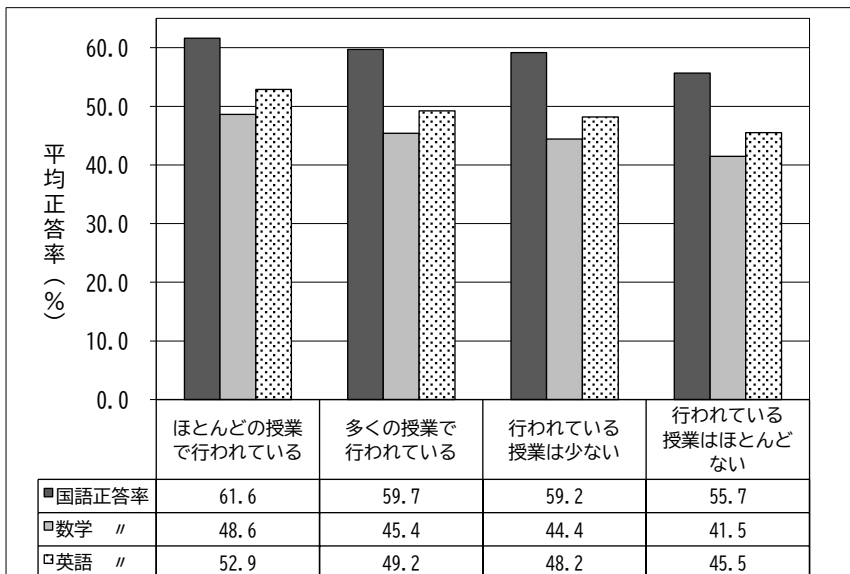
- 2年生で、授業中に課題を見つけたり、解決したりする時間があると回答した生徒の割合が増加した。
- 1年生と2年生を比較すると、2年生の方が肯定的回答の割合が低い。また、1年生から2年生に上がると、肯定的回答が減少している。

② 課題を見つけたり、解決したりする学習活動と授業理解度（2年生）【Q4】【Q8】



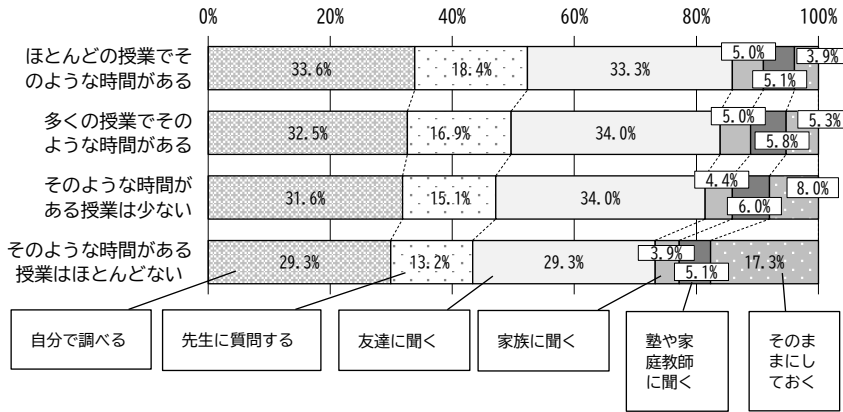
- 課題を見つけたり、解決したりする学習活動を行う時間を設定している授業が多いほど、授業理解度が高い傾向がある。
- 「そのような時間がある授業はほとんどない」と回答したグループは、理解できない授業が多いと認識している割合が、他のグループよりも多い。

③ 課題を見つけたり、解決したりする学習活動と正答率



- 課題を見つけたり、解決したりする学習活動を行う時間を設定している授業が多いほど、正答率が高い傾向がある。
- 課題を見つけたり、解決したりする学習活動において、身に付けた知識や技能を活用することでその有用性を実感したり、知識や技能を再整理したりすることで、深い理解につながっているものと考えられる。

④ 課題を見つけたり、解決したりする学習活動と分からないことがあるときの行動（2年生）  
【Q5】【Q8】

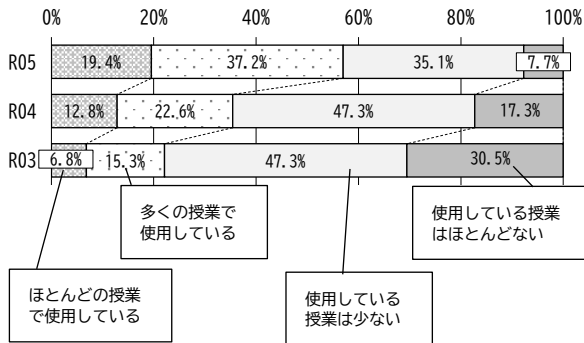


○ 課題を見つけたり、解決したりする学習活動を行う時間を設定している授業が多いほど、分からないことがあるときに、自分で調べたり、誰かに聞いたりして解決しようとする傾向がある。一方で、そのような時間を設定している授業が少なくなるにつれ、分からないことをそのまましておく割合が高くなる。

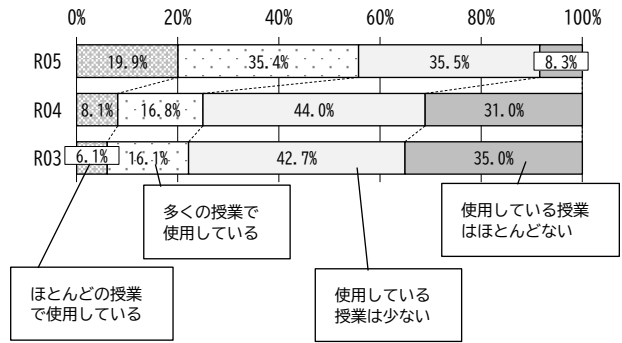
(6) 授業におけるICT機器の使用について

① 授業の中で、生徒がタブレットやパソコンなどのICT機器を使用していますか。【Q9】

【1年生】



【2年生】

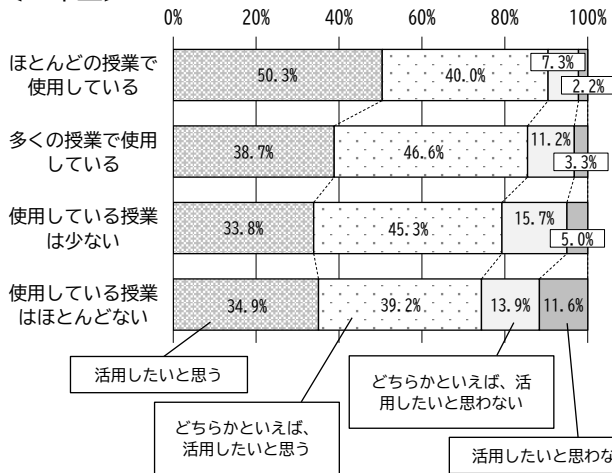


○ 1、2年生ともに、ほとんど、あるいは多くの授業でICT機器を使用していると回答した生徒の割合は増加した。  
○ 高等学校においても、1人1台端末が整備されたことによって、授業時に活用させる場面が多くなったものと考えられる。

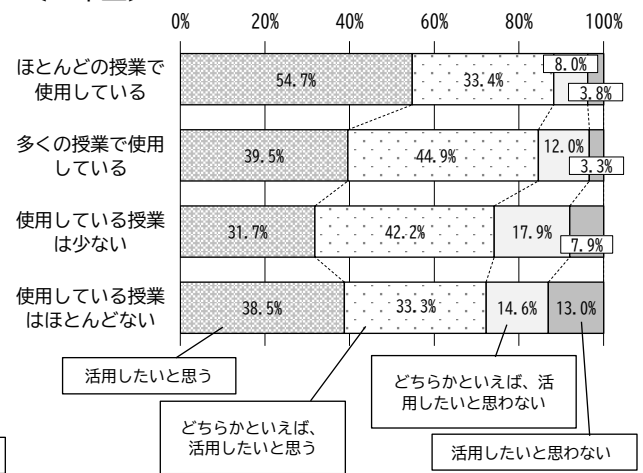
② ICT機器の使用と授業でよりICT機器を活用することへの意識

【Q9】【Q10】

【1年生】

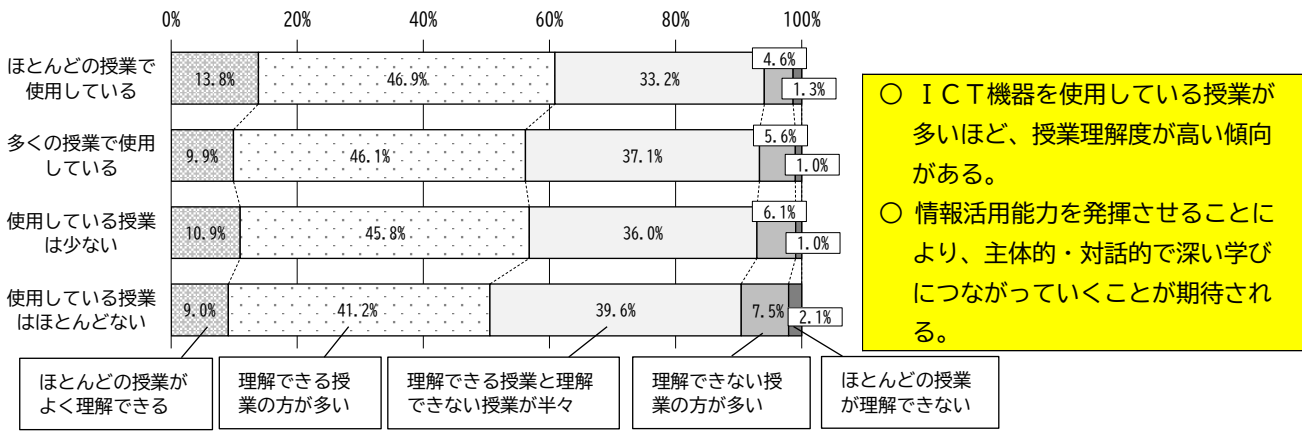


【2年生】



○ 授業でICT機器を多く使用していると回答したグループほど、授業でよりICT機器を活用することについて肯定的な回答が多い傾向がある。  
○ 情報活用能力は学習の基盤となる資質・能力であり、各教科等において、それぞれの特質に応じて適切な学習場面で育成を図ることが重要である。

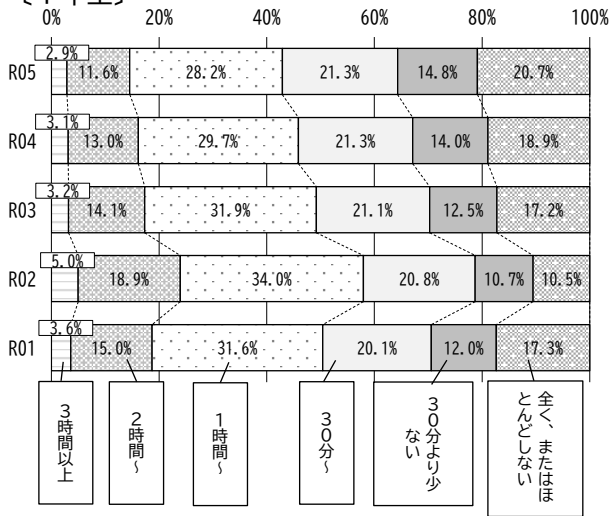
③ ICT機器の使用と授業理解度（2年生）【Q4】【Q9】



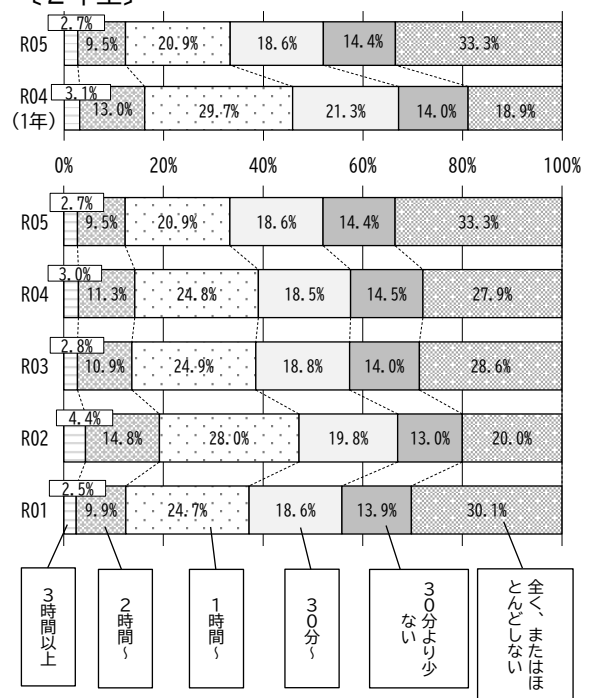
(7) 平日の家庭学習時間について

① 平日、学校の授業時間以外に1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか。【Q14】

〔1年生〕

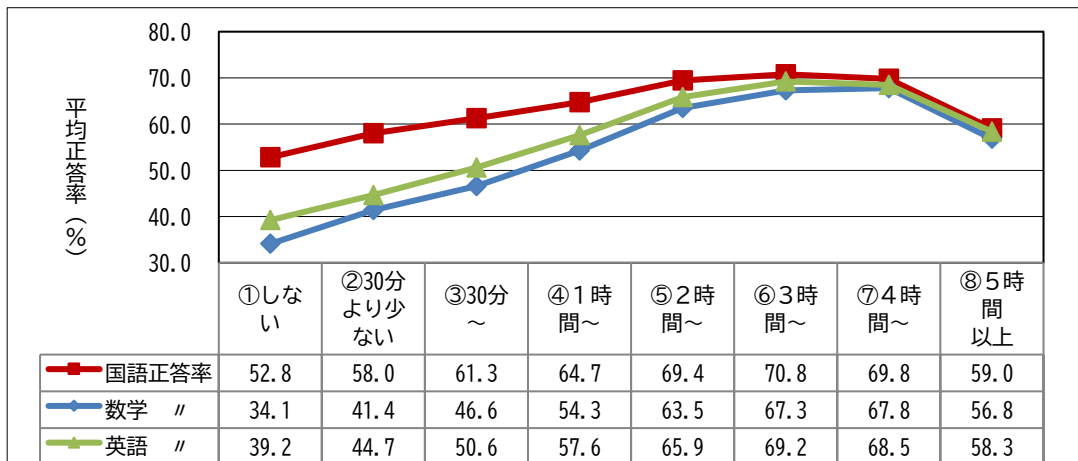


〔2年生〕



- 1、2年生ともに、R4と比較して、1時間以上学習している生徒の割合が減少し、「全く、またはほとんどしない」の割合がやや増加している。
- 昨年度に引き続き、1年生から2年生に上がると、1時間以上学習している生徒の割合は、10ポイント近く減少している。

② 家庭学習時間と正答率

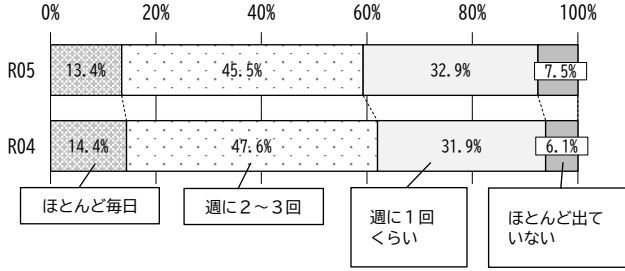


- 平日の家庭学習を2～4時間程度確保している生徒は、学習内容を着実に身に付けていることがうかがえる。平日の学習習慣の定着に向けて工夫が必要である。

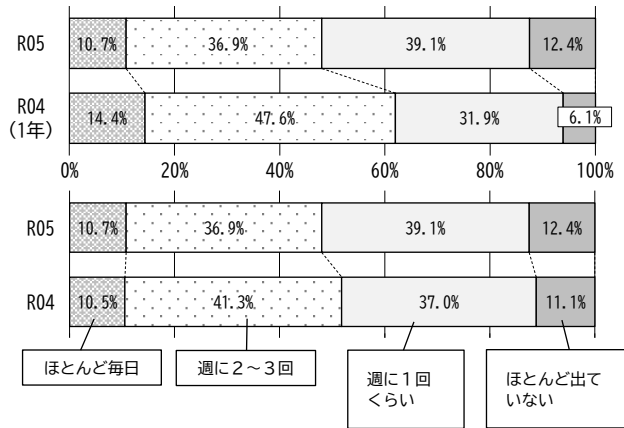
(8) 宿題・課題の頻度について

① 学校からどのくらいの割合で宿題・課題が出されていますか【Q11】

[1年生]



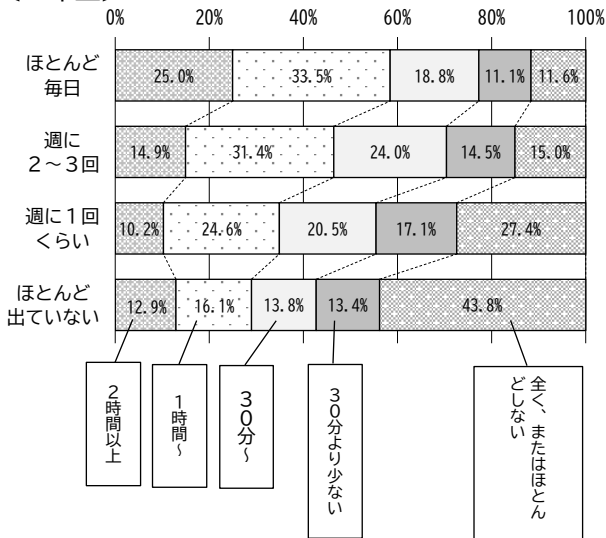
[2年生]



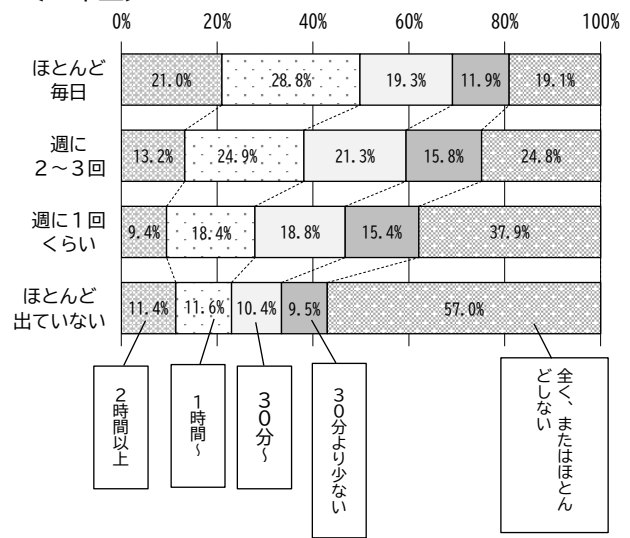
○ 1、2年生ともに、「ほとんど毎日」の割合は変化がみられないが、昨年度増加した「週に2~3回」の割合が今年度は減少した。

② 宿題・課題が課される頻度と平日の家庭学習時間【Q11】【Q14】

[1年生]

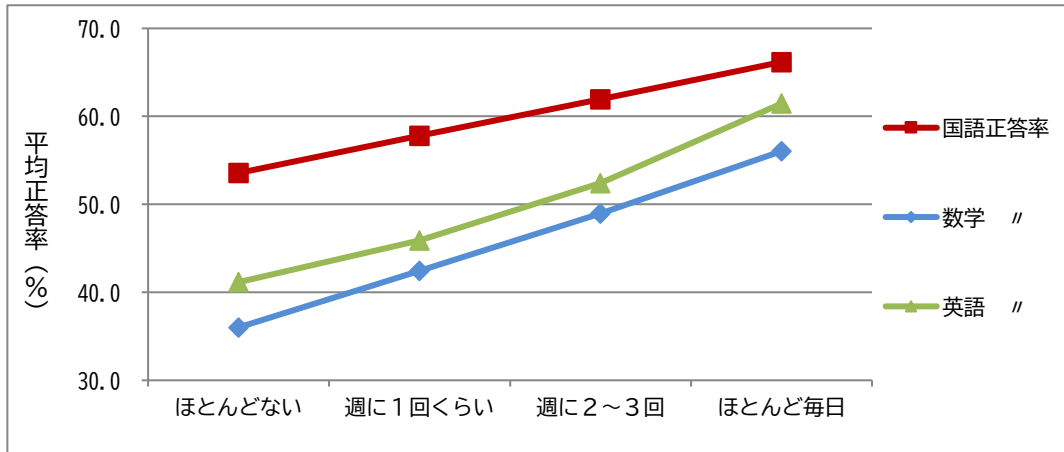


[2年生]



○ 1、2年生ともに、宿題・課題が課される頻度が高いほど家庭学習時間が長い。  
 ○ 宿題・課題が「ほとんど出ていない」場合、1年生で4割を超える生徒が、2年生で5割を超える生徒が家庭学習を全く、またはほとんど行っていない。学習習慣の形成や学習内容の定着に向けて、宿題・課題の効果的な課し方を工夫したい。

③ 宿題・課題の頻度と正答率

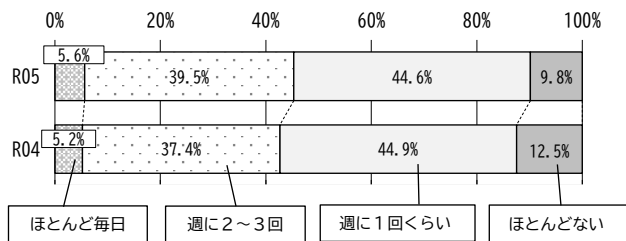


○ 宿題・課題をほとんど毎日課している場合とほとんど課していない場合の各教科の正答率を比較すると、どの教科とも大きな開きが見られる。宿題・課題を適切に課すことは、望ましい学習習慣の形成のみならず、学習した内容の定着にも一定の効果があると考えられる。

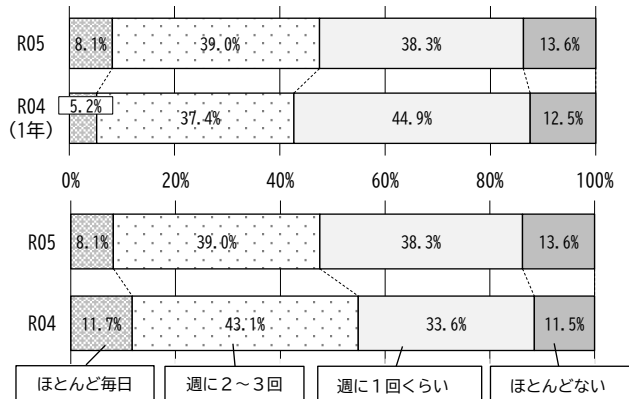
### (9) テストの頻度について

① 学校ではどのくらいの割合でテスト（小テストや確認テストを含む）がありますか【Q12】

〔1年生〕



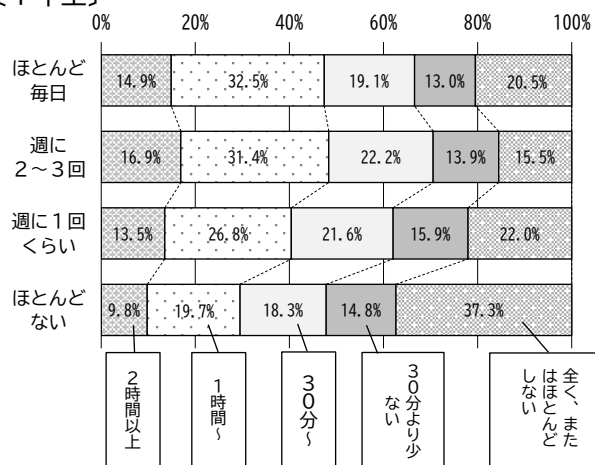
〔2年生〕



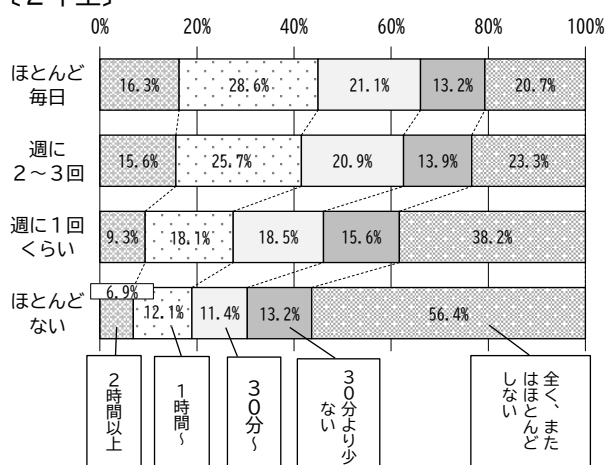
○ 「週に2~3回」以上と回答した生徒の割合が、1年生は増加、2年生は減少している。

② テストの頻度と平日の家庭学習時間【Q12】【Q14】

〔1年生〕



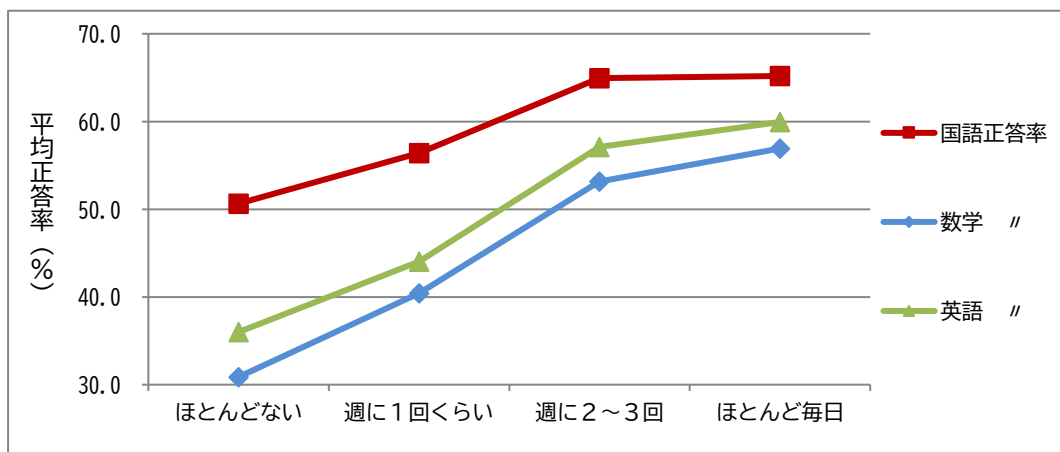
〔2年生〕



○ 1年生は、「週に2~3回」と回答したグループが最も家庭学習時間を確保している。2年生は、テストの頻度が高いほど家庭学習時間を確保している。テストが「ほとんどない」場合、1時間以上の家庭学習時間を確保している生徒の割合は、1年生では約3割、2年生では約2割にとどまる。

○ 過去10年の推移をみると、1年生から2年生にかけて平日学習時間は大きく減少する傾向が続いている。また、宿題、テストとも、1年生から2年生にかけて実施状況が低下する傾向があり、家庭学習時間が減少する要因になる可能性がある。また、1年時の宿題やテストの経験が、学習習慣の定着にまで至らない状況もうかがえる。宿題同様、家庭学習習慣定着への一歩として、テストの活用を工夫したいところである。

③ テストの頻度と正答率



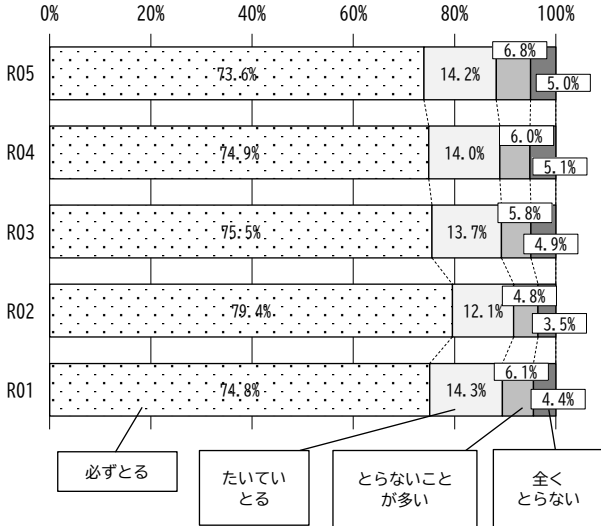
○ テストの頻度について「ほとんど毎日」「週に2~3回」と回答したグループと、「週に1回くらい」「ほとんどない」と回答したグループを比較すると、各教科の正答率に大きな開きがみられる。



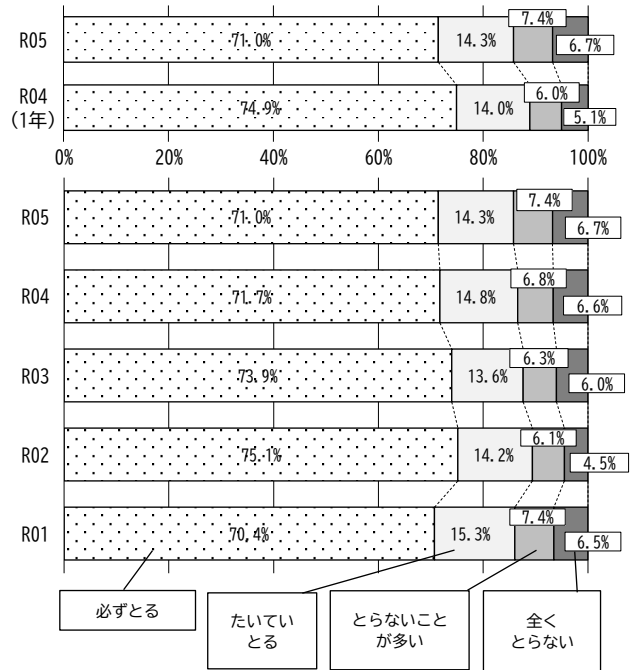
(10) 朝食摂取の習慣

① 学校に行く前に朝食をとりますか【Q20】

[1年生]

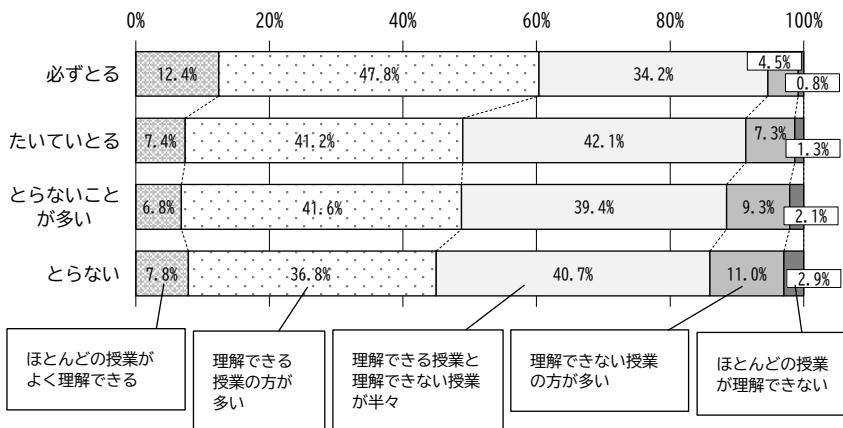


[2年生]



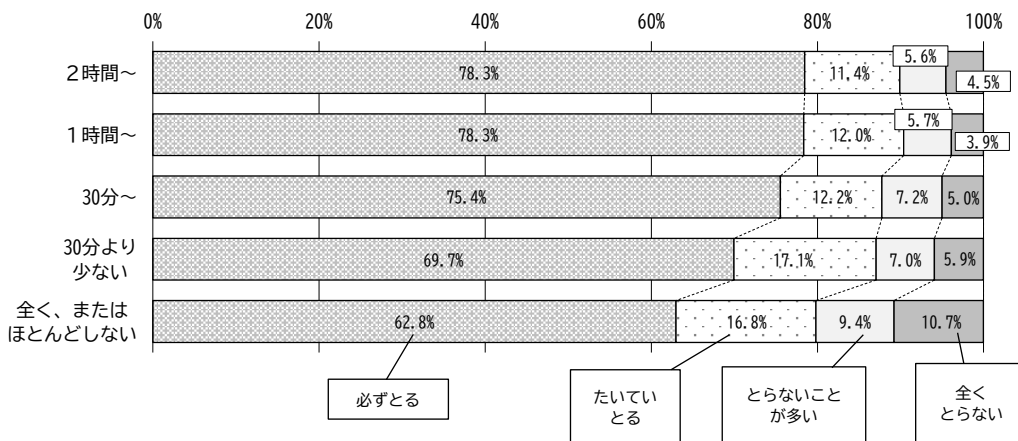
- 1、2年生ともに、8割以上の生徒に朝食摂取の習慣が身に付いている。
- 「必ずとる」の割合は、1年生から2年生にかけてやや減少する傾向がある。

② 朝食摂取習慣と授業理解度 (2年生)【Q4】【Q20】



- 「必ずとる」と回答したグループは、約6割が授業理解度について肯定的回答をしている。
- 朝食をとることで集中力が増し、授業理解度も高くなる可能性がある。

③ 平日の学習時間と朝食摂取習慣 (2年生)【Q14】【Q20】

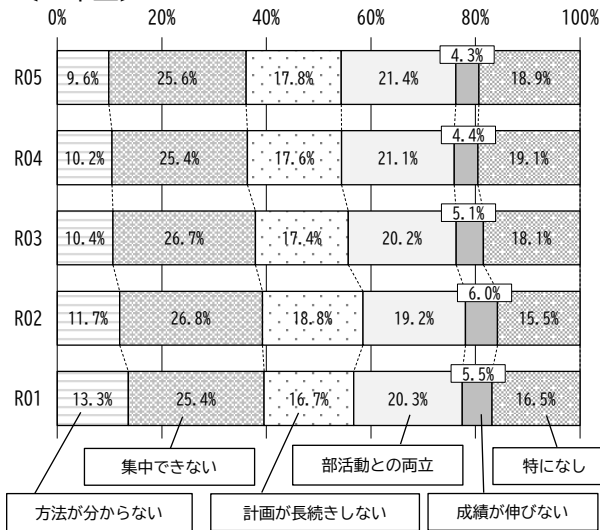


- 平日に1時間以上学習していると回答した生徒のうち、約8割が朝食を「必ずとる」と回答しており、学習時間確保を含め基本的な生活習慣が確立していることがうかがわれる。

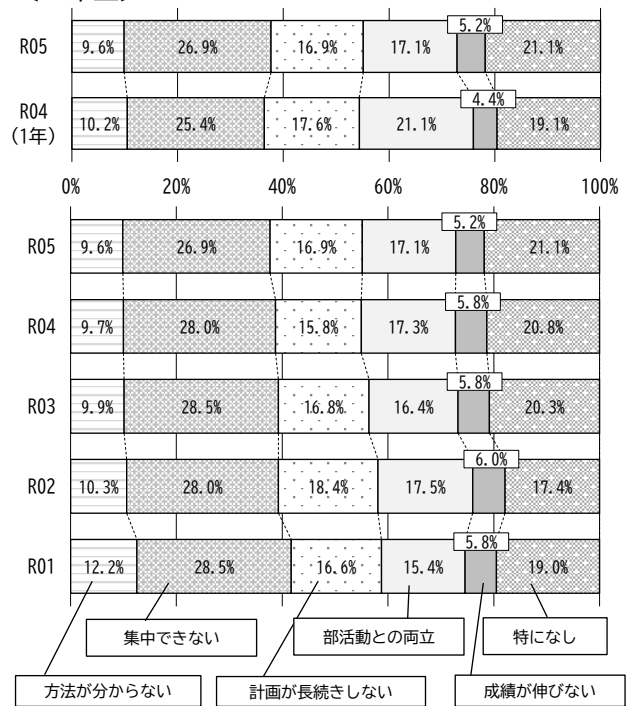
(11) 家庭学習をする上での悩みと平日の生活について

① 家庭学習をする上で悩んでいることはありますか【Q18】

〔1年生〕



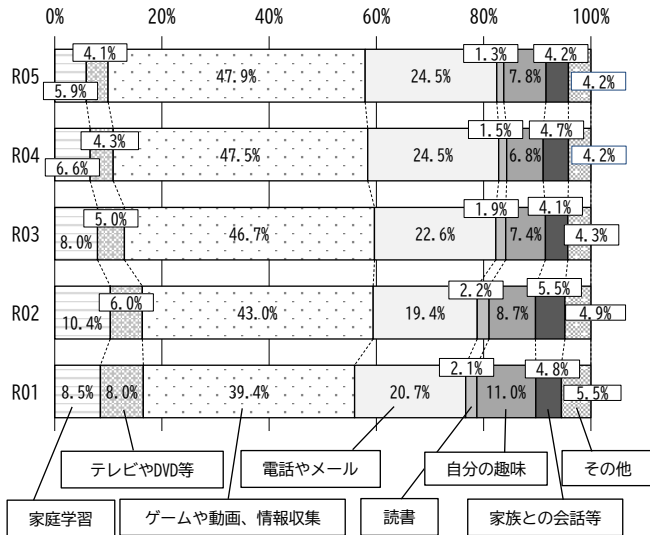
〔2年生〕



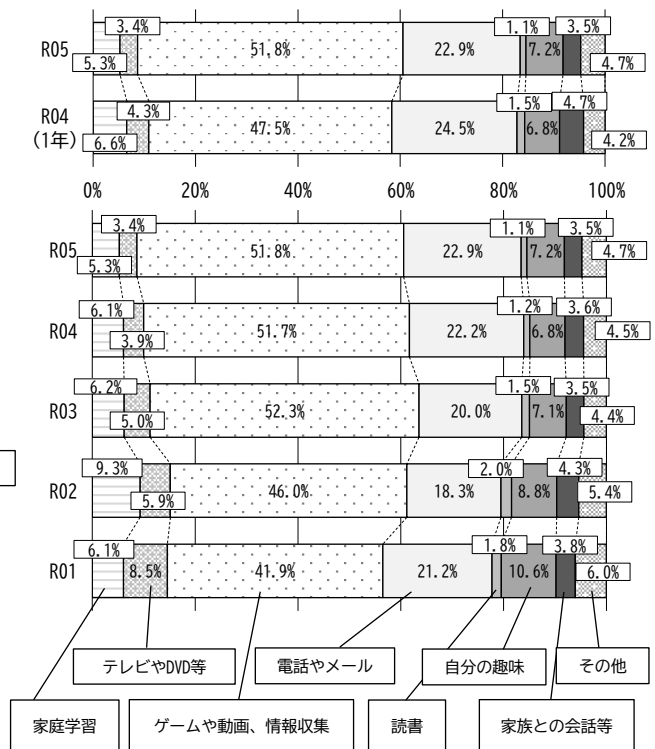
- 1、2年生ともに、「集中できない」と回答した生徒の割合が最も大きい。
- 1、2年生ともに、「方法が分からない」と回答した生徒の割合は長期的に減少傾向である。

② 平日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか【Q22】

〔1年生〕



〔2年生〕

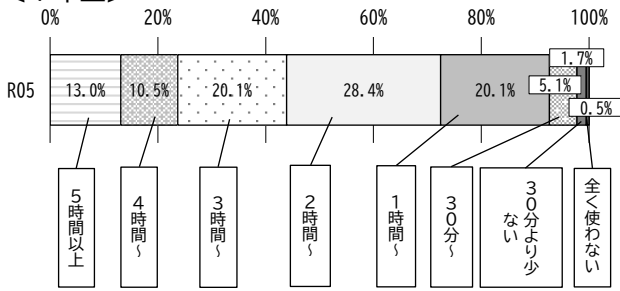


- 1、2年生ともに、スマートフォンを使用すると思われる「ゲームや動画、情報収集」、「電話やメール」に時間を費やす生徒の割合が、合わせて約7割に上る。「ゲームや動画、情報収集」の割合は増加傾向にある。

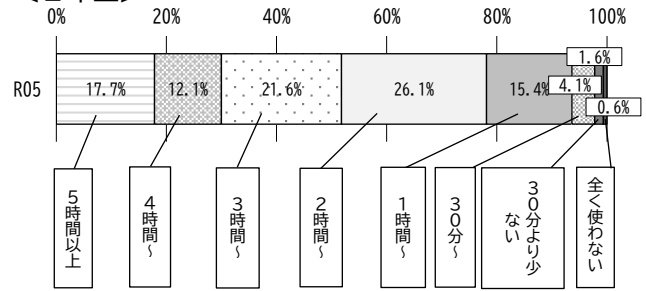
(12) スマートフォンや携帯電話の使用時間と使用する場面について

① 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間はどのくらいですか【Q23】

〔1年生〕



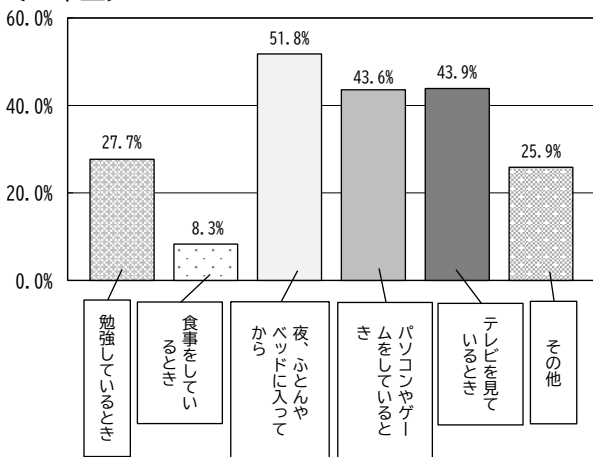
〔2年生〕



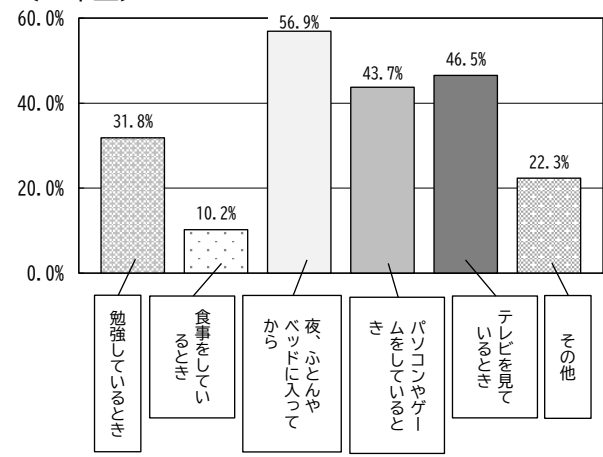
○ スマートフォンや携帯電話を平日に3時間以上使用している生徒は、1年生では半数に満たないが、2年生では半数を超える。

② 普段、次のような時に、スマートフォンや携帯電話でやりとりをすることがありますか【Q30】

〔1年生〕



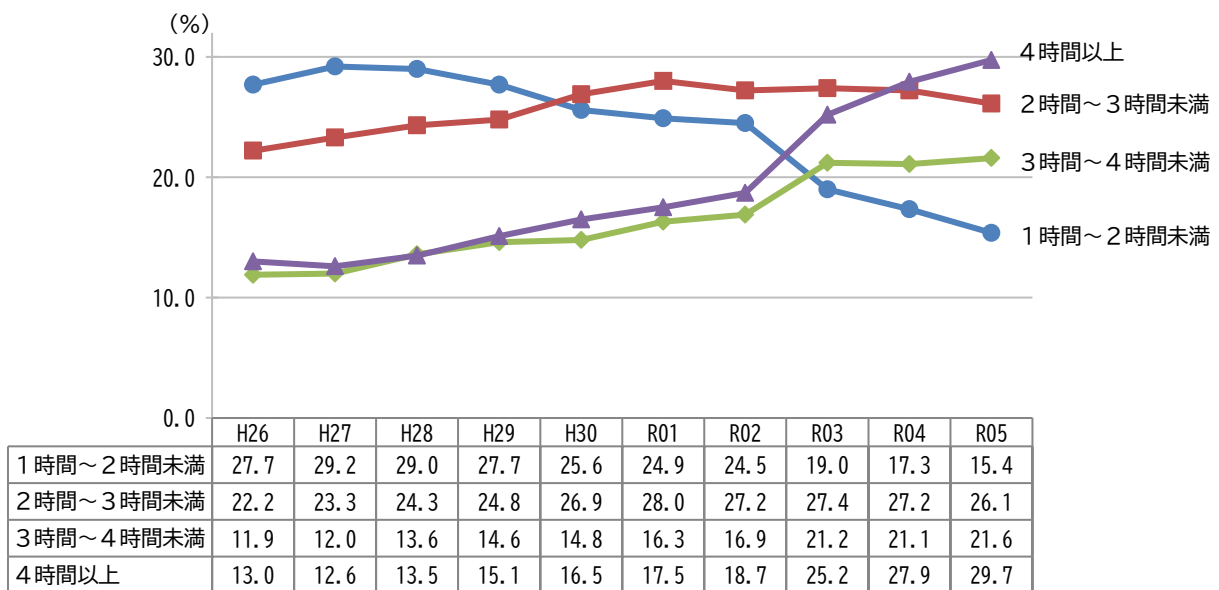
〔2年生〕



○ 1、2年生ともに、「夜、ふとんやベッドに入ってから」の割合が5割を超えている。また、約3割の生徒が「勉強をしているとき」もスマートフォン等でやりとりをすることがあると回答している。

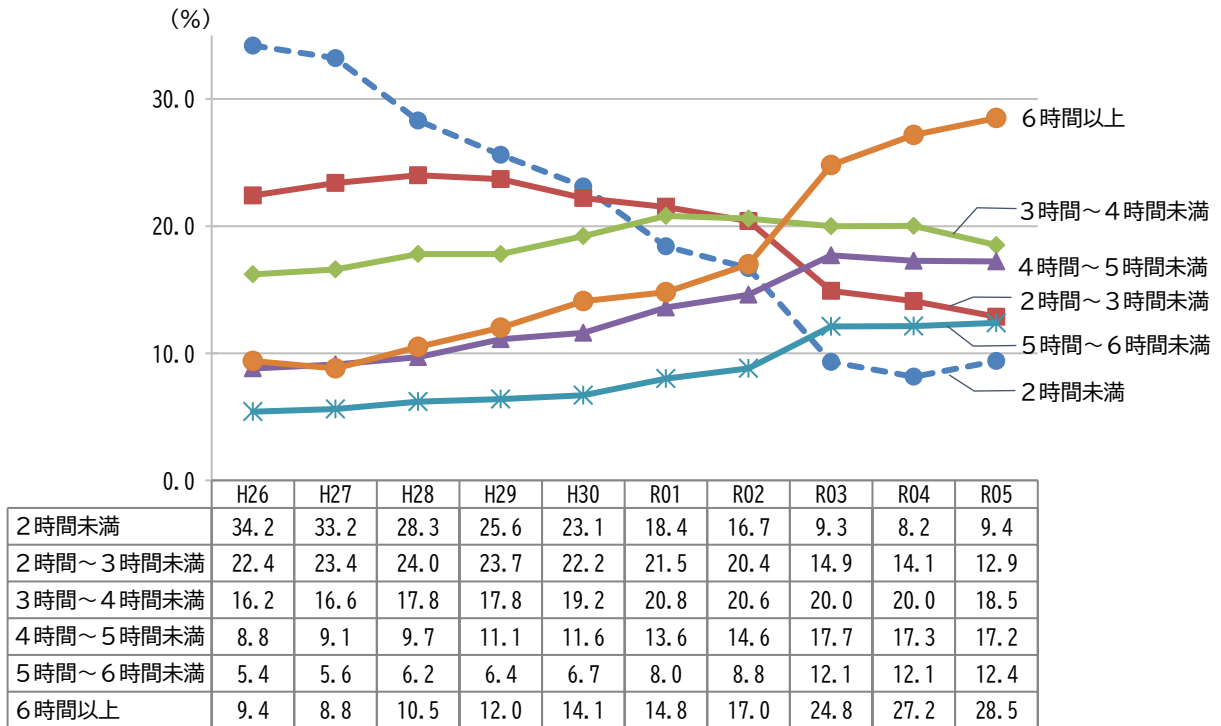
③ 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間はどのくらいですか（2年生）【Q23】

※本項目の統計開始年度からの推移



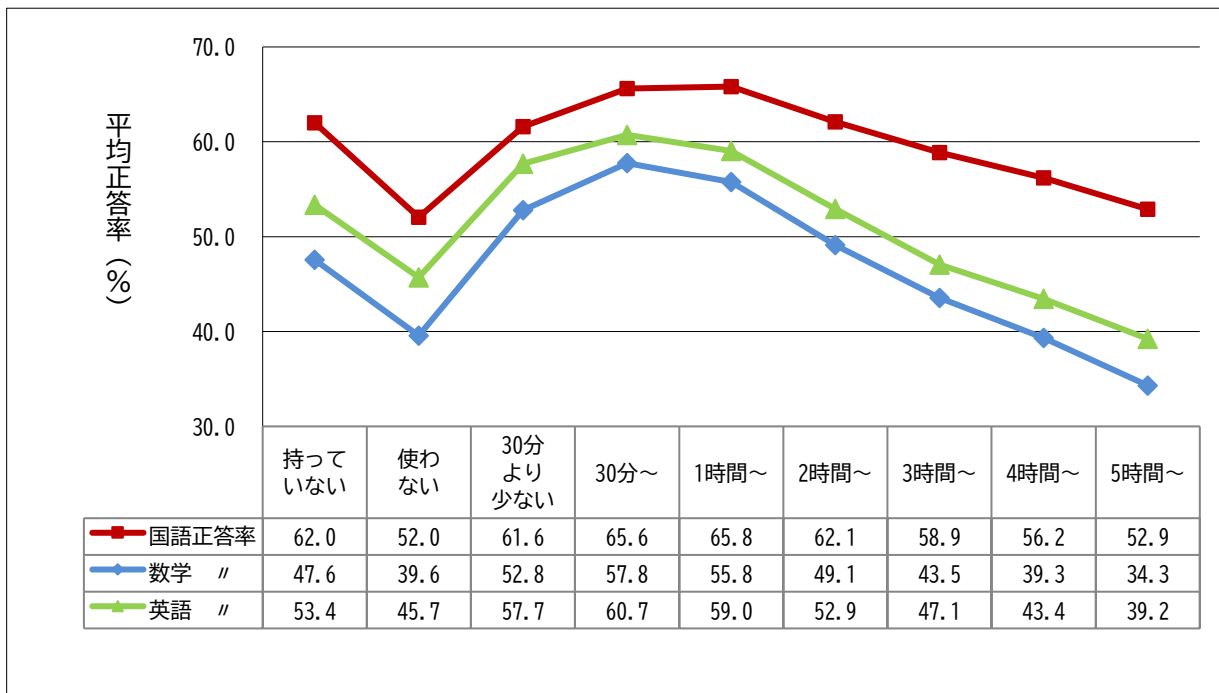
○ スマートフォンの使用時間は長期的にみて増加の一途にある。特に、感染予防措置としての休校があったR2を境に、「1時間～2時間未満」が大きく減少し、「4時間以上」が急増した。

④ 休日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間はどのくらいですか（2年生）【Q27】  
 ※本項目の統計開始年度からの推移



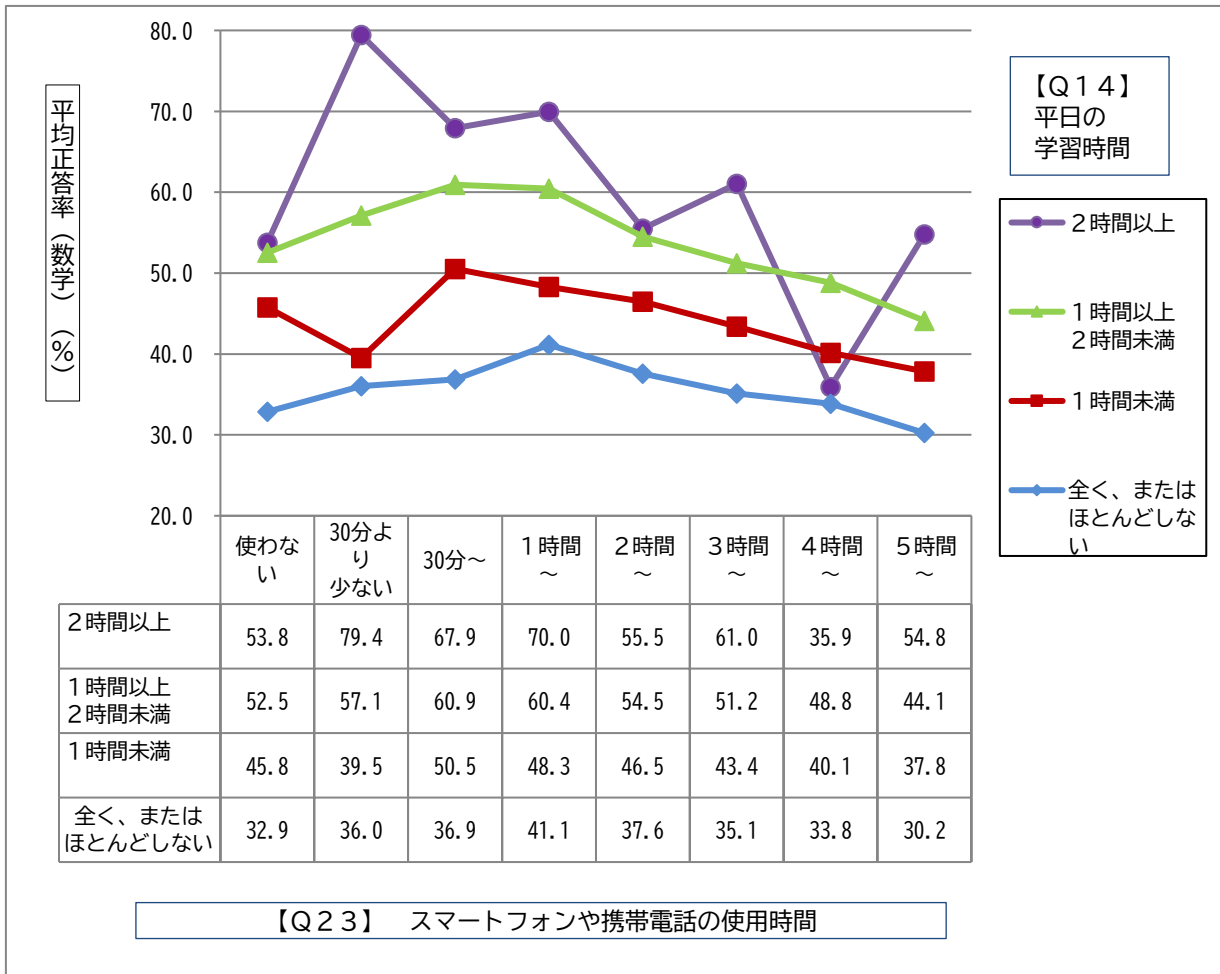
○ 休日も平日と同様に、R2を境に、長時間スマートフォンを使用している生徒が急増している。特に、「6時間以上」の増加の割合は著しい。一方で、「2時間未満」「2時間～3時間未満」が大きく減少している。極めて長時間のスマートフォン使用が習慣として定着しつつあるものと考えられ、引き続き十分な注意を要する。

⑤ 使用時間と正答率



○ スマートフォン等を使用していると回答した中では、「30分～」「1時間～」と回答したグループの正答率が高い。「2時間～」を超えると正答率は減少し、「3時間～」を超えると全ての教科で共通問題正答率を下回る。また、使用時間が長いグループほど正答率が低いことがみて取れる。

⑥ 学習時間とスマートフォンや携帯電話の使用時間、数学の正答率



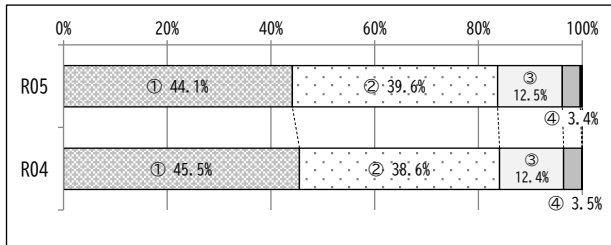
- スマートフォン等の使用時間が同程度ならば、学習時間が長いほど正答率が高い傾向がみられる。
- 同程度の学習時間の場合、スマートフォンや携帯電話の使用時間が長くなるほど、正答率は減少する傾向がみられる。使用時間が学習効果を打ち消す効果を与えている可能性がある。
- この傾向は、国語、英語の正答率をみた場合においても同様である。

## 2 心身の健康、志教育等

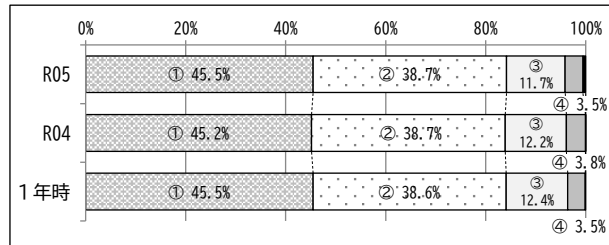
### (1) 心と体の安定について

#### ① 毎日同じくらいの時刻に寝ている(生活習慣について)【Q33】

〔1年生〕



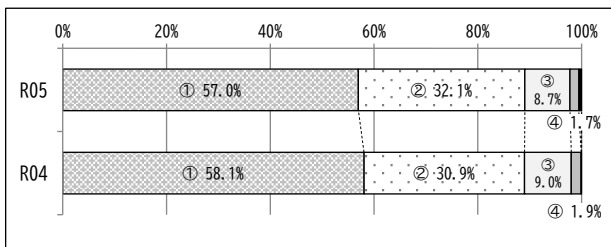
〔2年生〕



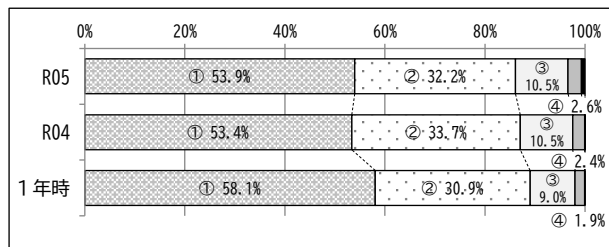
○ 1、2年生ともに、昨年度や1年時と比較して回答の内訳に大きな変化はない。

#### ② 体調はよい(生活習慣について)【Q34】

〔1年生〕



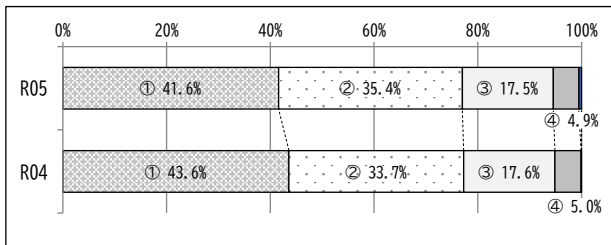
〔2年生〕



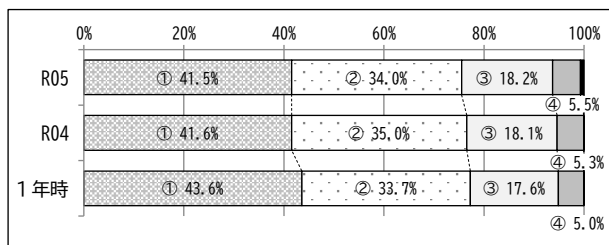
○ 1年生は、回答の内訳に大きな変化はない。2年生の1年時との比較では、肯定的回答の割合がやや減少。

#### ③ 熟睡ができています(睡眠について)【Q35】

〔1年生〕



〔2年生〕

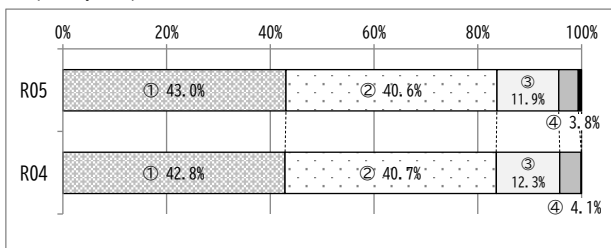


○ 1年生で、「①当てはまる」の割合がやや減少。2年生の1年時との比較では、肯定的回答の割合がやや減少。

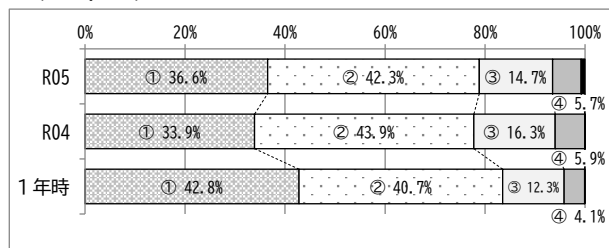
### (2) 学校生活について

#### ① 学校生活に充実感や満足感を感じている(学校生活について)【Q36】

〔1年生〕



〔2年生〕



○ 2年生で、「①当てはまる」の割合が増加している。一方で、1年時と比較すると肯定的回答が減少する傾向は長期的に続いており、引き続き注意を要する。

選択肢の内容 (各設問共通)

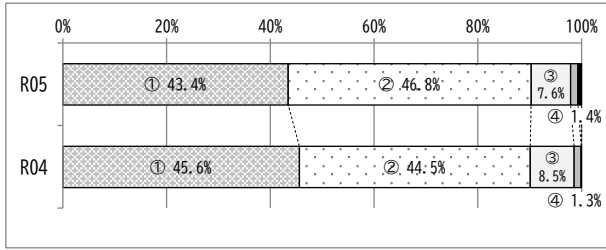
- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる ③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない

無回答 (割合の表示は割愛している)

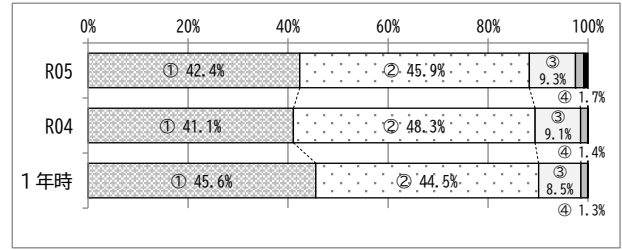
(3) 「志教育」に係る意識について 1

① 人が困っている時は、進んで助けるようにしている〈かかわる〉(他者理解について)【Q39】

〔1年生〕



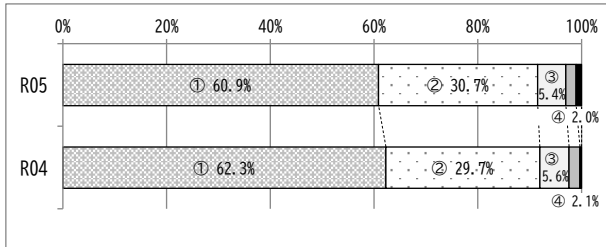
〔2年生〕



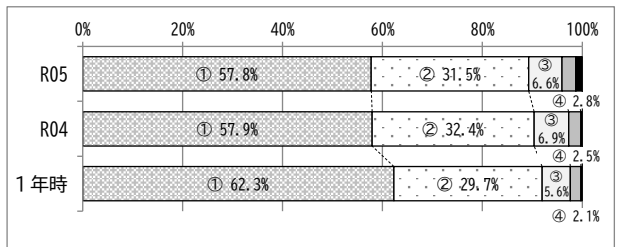
○ 1年生で、「①当てはまる」の割合がやや減少。2年生の1年時との比較では、肯定的回答の割合がやや減少。

② 人の役に立つ人間になりたいと思っている〈もとめる〉(志について)【Q46】

〔1年生〕



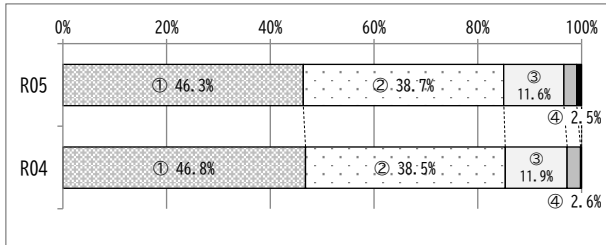
〔2年生〕



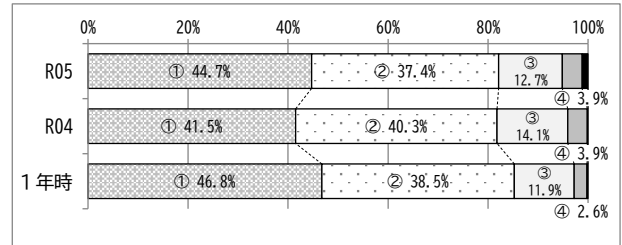
○ 1年生で、「①当てはまる」の割合がやや減少。2年生の1年時との比較では、「①当てはまる」の割合が減少。

③ クラスや学校の行事等に積極的に取り組んでいる〈はたす〉(学校行事について)【Q58】

〔1年生〕



〔2年生〕

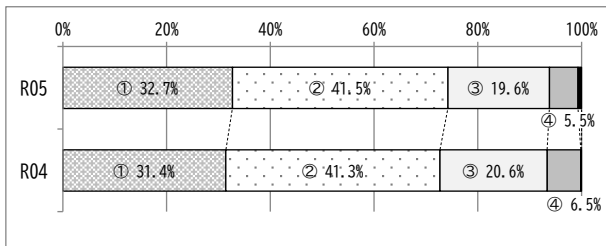


○ 1年生は、昨年度と比較して回答の内訳に大きな変化はない。2年生は、昨年度との比較では「①当てはまる」の割合が増加したが、1年時との比較では、肯定的回答の割合が減少。

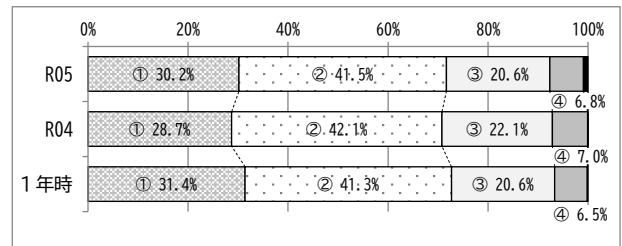
(4) 「志教育」に係る意識について 2

① 自分の個性や適性が分かっている〈もとめる〉(自己理解について)【Q49】

〔1年生〕



〔2年生〕



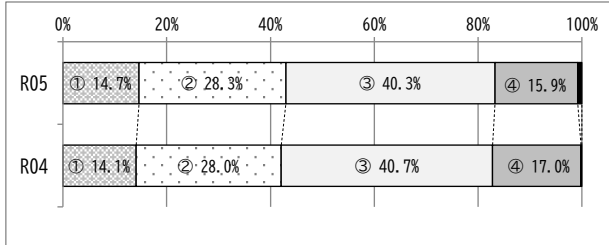
○ 1、2年生ともに、昨年度と比較して肯定的回答の割合がやや増加。

選択肢の内容（各設問共通）			
① 当てはまる	② どちらかといえば、当てはまる	③ どちらかといえば、当てはまらない	④ 当てはまらない

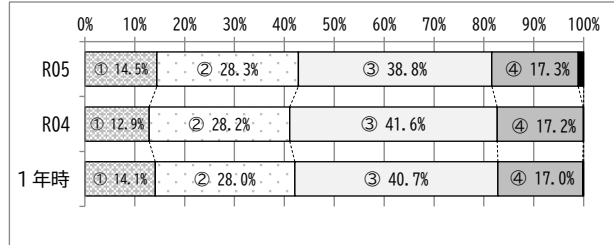
無回答（割合の表示は割愛している）

② 自分の個性や適性が、学校や社会でどのように生かせるかをイメージできている〈もとめる・はたす〉（有用感について）【Q50】

〔1年生〕



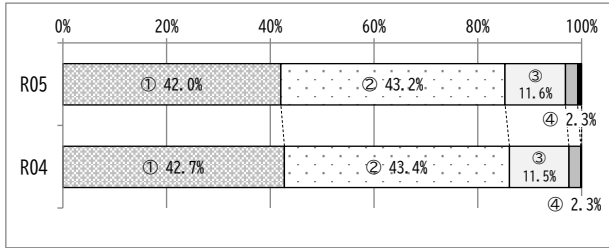
〔2年生〕



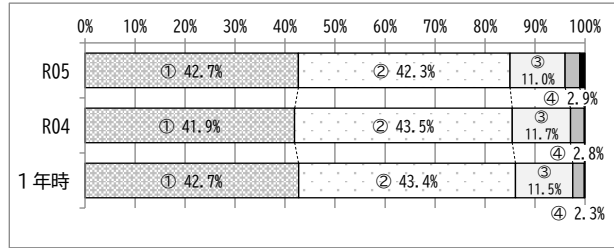
○ 1、2年生ともに、肯定的回答は4割程度。Q49と比較すると、肯定的回答の割合が大きく減少しており、自分の個性・適性が理解できている、それを社会においてどのように生かせるかのイメージはできていないことがみと取れる。

③ 働くことの意義を理解している〈はたす・もとめる〉（勤労観・職業観について）【Q55】

〔1年生〕



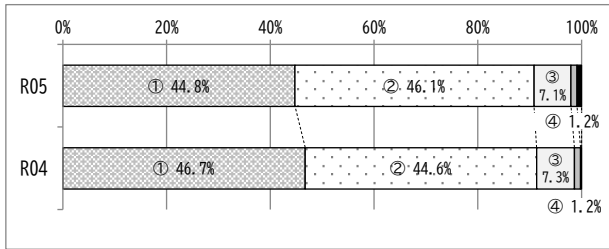
〔2年生〕



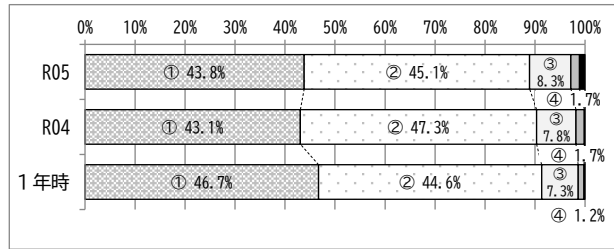
○ 1、2年生ともに、昨年度と比較して回答の内訳に大きな変化はない。8割を超える生徒が肯定的な回答をしている。

④ 自分の役割に責任を持って行動している〈はたす・もとめる〉（有用感について）【Q57】

〔1年生〕



〔2年生〕



○ 1年生で、「①当てはまる」の割合が減少。2年生の1年時との比較では、肯定的回答の割合がやや減少。



## IV 学力向上に向けた今後の取組

急激に変化していくこれからの社会の中で、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断し行動できる生徒を育てるために、次の3つの資質・能力の育成を目指す。

- 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
- 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」
- 学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」

そのために、以下の取組を行う。

### ○ 「主体的・対話的で深い学び」と「目標や振り返りを意識した授業」の実践

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることにより、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。また、「目標や振り返りを意識した授業」を実践することで、単元のゴールを明確にするとともに、学んだことを次の学びや生活に生かす力を育み、生徒が自己調整しながら、粘り強く学習に取り組む姿勢を養う。

### ○ 「探究的な学び」の充実

総合的な探究の時間のみならず、普段の授業から「探究的な学び」の充実を図る。生徒が良質な問いをつくることのできるような問いの焦点を示し、ウェビングや KJ 法等の考えるための技法を自在に活用しながら問いと向き合い、「探究のスパイラル」を経ることで、思考を深めることを目指す。

### ○ 基本的な生活習慣を確立する力の育成、家庭と学校との連携

スマートフォンや SNS は高い利便性を持つ一方で、長時間使用や依存により、学習時間や睡眠時間の減少など生徒の生活に負の影響を及ぼしている。各種討論会の実施など、他者の意見に触れ、自分の考えを広げ、課題について多面的・多角的に考える機会を設けることで、日常生活を振り返り、自己の生活習慣を主体的に改善しようとする態度を養う。同時に、生活習慣の改善については、家庭との連携を大切にする。

### ○ 「志教育」の充実

自身の特性や長所を、社会や集団の中でどのように生かせるか把握できていない生徒が多い。社会人講師を招いての講演会や、地域と連携した活動等をとおして社会性や勤労観を養い、社会や集団の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく。

## 学力向上

主体的・対話的で深い学び

充実した探究活動

学習意欲の喚起

### < 各学校 >

- 学力・学習状況等の把握、生徒との面談
- 指導力・授業力向上研修
- 指導の手引き、事例集等の活用
- 「志教育」の推進
- 家庭、県教委や関係機関との連携

### < 家庭 >

- 生活習慣の改善を促す
  - 状況の把握と情報共有
  - 家庭内での話合い
  - 家庭学習時間の確保
- 学校、県教委との連携

### < 県教育委員会 >

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| ○ 学力・学習状況等調査  | ○ 高大連携事業      | ○ クラフトマン21事業  |
| ○ 授業力向上支援     | ○ 魅力ある県立学校づくり | ○ 進路達成支援事業等   |
| ○ 学びの基礎づくり支援  | ○ 特色ある県立学校づくり | ○ 高校生マナーアップ運動 |
| ○ 地域進学重点校改革推進 | ○ SSH、IB      | ○ 高校生フォーラムの開催 |
| ○ みやぎ高校生異文化交流 | ○ 理系人材育成支援    | ○ ネットパトロール    |

## V 学習状況に関する調査 設問ごとの結果

※ 表中の数値は選択割合 (%)  
(無回答・マークミス等の割合は示していない)

Q1 高校卒業後、進みたいと考えている進路のうち、現在、最も強く希望しているものはどれですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	23.3	22.2	43.3	41.9	48.0	45.5	26.7	24.7	22.4	23.0	37.5	35.9	① 4年制国公立大学
R04	21.0	22.1	43.6	42.7	46.6	44.1	26.0	23.9	22.8	22.5	36.9	35.5	
R05	7.9	12.8	12.7	19.2	14.7	22.0	8.6	13.7	10.1	14.4	11.9	18.0	② 4年制私立大学
R04	8.5	12.3	13.9	20.7	16.5	21.1	8.0	13.5	9.9	15.1	12.8	18.2	
R05	1.9	1.9	1.7	2.3	1.8	2.1	2.6	3.1	2.6	3.1	2.0	2.4	③ 短期大学
R04	2.1	2.0	2.4	2.6	1.8	2.8	2.8	3.4	3.3	3.8	2.3	2.9	
R05	16.8	18.1	12.3	12.1	12.0	13.6	19.2	18.4	21.3	22.8	15.0	15.7	④ 専修学校(専門学校等)・各種学校
R04	16.7	19.0	12.6	12.8	13.2	13.6	18.0	19.2	21.5	20.7	15.3	15.8	
R05	15.2	23.7	10.4	12.2	6.9	8.0	13.9	21.6	14.0	15.9	10.7	13.9	⑤ 民間就職
R04	18.4	27.2	8.6	13.2	5.9	8.7	16.5	22.0	11.8	16.8	10.3	14.8	
R05	4.6	5.7	2.3	2.6	2.1	1.8	6.3	6.1	3.7	5.4	3.3	3.6	⑥ 公務員就職
R04	5.6	5.0	2.8	2.0	2.0	2.5	5.4	5.7	4.9	5.6	3.5	3.5	
R05	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.7	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	⑦ 家業
R04	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3	0.2	0.4	0.4	0.2	0.1	
R05	24.3	12.3	15.0	7.0	13.0	5.8	20.9	10.8	23.8	13.3	17.3	8.5	⑧ 未定
R04	25.7	10.8	14.5	5.2	12.8	6.2	21.6	11.0	22.8	13.3	17.2	8.1	
R05	6.0	3.3	1.1	0.9	1.3	1.0	1.1	1.2	1.7	1.6	1.7	1.3	⑨ その他
R04	1.3	1.4	1.4	0.7	0.9	1.0	1.5	1.0	2.6	1.7	1.4	1.1	

Q2 自分の進路希望の達成について、どのように考えていますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	51.7	57.6	60.9	66.0	59.6	67.0	52.5	62.6	50.7	59.1	56.8	64.1	① 卒業までに達成しようと思っている
R04	49.7	60.4	63.9	70.6	60.7	69.8	55.2	64.2	53.9	60.1	58.7	66.9	
R05	14.2	10.9	9.5	7.5	10.1	6.9	13.5	10.1	15.1	12.2	11.6	8.7	② 達成するまで、卒業後1、2年かかって もかまわないと思っている
R04	12.7	10.3	8.2	6.7	9.4	6.8	13.0	9.2	14.6	11.2	10.7	8.1	
R05	16.5	15.3	15.8	13.4	18.1	13.5	19.1	14.5	16.9	16.0	17.4	14.2	③ 達成が困難な場合、卒業までに他の進路 に変えてもいいと思っている
R04	20.2	14.9	16.6	12.7	17.9	13.1	17.5	12.8	17.9	15.9	17.7	13.5	
R05	11.8	11.2	8.9	8.0	8.3	9.5	9.6	8.7	11.9	9.3	9.5	9.1	④ 何とかなるだろうと思っている
R04	10.6	9.0	7.6	7.5	8.5	7.4	8.7	9.5	9.8	8.7	8.7	8.1	
R05	5.8	4.9	3.4	3.0	3.8	3.0	5.1	4.1	5.4	3.3	4.3	3.4	⑤ あまり考えないようにしている
R04	6.8	5.3	3.6	2.5	3.4	3.0	5.6	4.0	3.8	4.1	4.2	3.4	

Q3 普段どんな気持ちで勉強していますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	9.1	8.6	10.5	8.4	10.0	8.0	11.5	8.9	10.3	7.7	10.3	8.3	① 分からないことでも自分の力で答えを見 つけられるようになりたい
R04	9.9	7.8	11.3	8.3	11.6	8.3	12.7	9.8	8.7	7.5	11.2	8.4	
R05	12.2	9.2	10.2	8.3	11.4	8.5	11.8	10.1	11.7	10.0	11.3	9.0	② 多くのことを知り、社会に出て役立つ力 を身に付けたい
R04	11.5	9.8	10.7	8.1	10.9	8.2	12.5	9.3	12.6	8.9	11.4	8.6	
R05	13.9	13.8	16.7	17.5	17.1	17.6	12.8	13.3	12.4	14.5	15.3	16.1	③ 入学試験や就職試験に備えたい
R04	12.8	12.2	17.8	20.2	16.5	19.8	11.1	13.2	14.0	14.5	15.2	17.4	
R05	2.2	2.1	3.4	1.7	2.7	1.9	2.1	2.1	2.7	3.1	2.7	2.1	④ 親や先生にほめられたい
R04	2.3	2.1	2.3	1.6	2.5	2.2	2.2	1.9	3.1	2.5	2.5	2.0	
R05	37.8	35.7	37.3	37.8	37.6	39.0	40.9	39.6	39.5	37.5	38.3	38.3	⑤ 成績を上げたい
R04	38.4	38.5	37.7	38.1	36.6	38.5	40.4	40.9	38.7	39.1	38.0	38.9	
R05	3.4	2.7	3.3	3.4	3.5	3.3	3.1	3.0	3.0	3.6	3.3	3.3	⑥ 先生や家族に言われているから勉強して いる
R04	3.8	3.3	2.7	2.8	2.9	3.0	2.8	2.7	2.7	2.6	2.9	2.9	
R05	19.5	26.2	15.4	18.9	15.5	19.2	16.4	21.4	18.9	21.8	16.5	20.5	⑦ 特に考えていない
R04	20.0	24.2	15.8	18.9	16.7	17.6	16.4	20.7	18.7	23.1	17.0	19.8	
R05	1.9	1.6	1.6	2.1	2.1	2.4	1.3	1.5	1.5	1.7	1.7	2.0	⑧ その他
R04	1.2	1.9	1.6	1.9	2.3	2.2	1.9	1.4	1.5	1.7	1.8	1.9	

Q4 授業の内容がどの程度理解できますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	11.5	9.5	12.7	11.9	10.6	11.1	11.0	9.2	12.2	11.3	11.5	10.9	① ほとんどの授業がよく理解できる
R04	11.4	11.5	12.9	12.2	11.5	11.9	10.5	9.9	12.0	10.4	11.8	11.4	
R05	49.8	44.3	51.7	44.6	52.6	46.7	49.3	44.9	50.0	45.7	51.2	45.5	② 理解できる授業の方が多い
R04	46.8	42.3	51.3	45.8	51.2	47.8	48.9	43.7	50.3	45.0	50.3	45.8	
R05	33.5	38.2	29.9	34.6	31.9	35.0	34.6	38.6	33.1	36.4	32.1	36.0	③ 理解できる授業と理解できない授業が半 分くらいずつある
R04	36.0	38.6	30.9	35.0	32.5	33.9	35.5	39.1	32.5	37.4	32.9	35.9	
R05	3.8	7.2	3.3	5.3	4.2	5.9	4.3	6.2	4.0	4.3	3.9	5.7	④ 理解できない授業の方が多い
R04	5.3	6.2	4.2	6.1	3.8	5.7	4.5	6.1	4.7	5.8	4.3	5.9	
R05	1.1	0.7	0.6	1.1	0.6	1.0	0.7	1.0	0.6	2.2	0.6	1.2	⑤ ほとんどの授業が理解できない
R04	0.4	1.1	0.5	0.6	0.8	0.6	0.4	0.9	0.4	1.3	0.5	0.8	

Q5 授業でわからないことがあったら、どうすることが多いですか。(該当するものをすべて選んでください。)

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	64.6	60.4	73.1	71.9	72.7	74.8	70.4	66.8	66.3	68.9	70.8	70.6	ア 自分で調べる
R04	60.7	56.8	71.9	72.2	73.1	71.4	68.5	62.9	68.2	62.5	70.2	67.7	
R05	37.6	41.7	34.1	32.5	33.2	34.3	36.3	36.4	35.2	42.9	34.6	36.0	イ 学校の先生に質問する
R04	37.9	40.1	35.0	32.8	36.2	34.9	37.9	38.7	39.8	41.0	36.8	36.3	
R05	74.0	72.7	73.0	71.9	77.2	74.8	75.4	73.3	76.1	75.7	75.4	73.7	ウ 友達に聞く
R04	74.8	70.5	72.2	73.3	75.1	73.9	75.5	72.9	75.0	72.5	74.4	73.1	
R05	12.5	7.4	17.7	10.6	17.4	12.5	13.0	8.3	12.7	9.5	15.7	10.4	エ 家族に聞く
R04	14.3	7.7	18.1	12.3	18.3	12.2	14.5	8.5	14.8	8.2	16.8	10.6	
R05	8.3	7.2	16.4	15.4	14.8	13.1	11.7	10.5	13.7	11.6	13.9	12.5	オ 塾・予備校や家庭教師の先生に質問する
R04	8.8	8.6	17.9	15.8	14.9	15.8	11.9	11.0	14.1	12.4	14.5	13.9	
R05	13.3	11.5	9.6	14.8	9.9	14.1	9.7	11.9	9.6	13.3	10.1	13.6	カ そのままにしておく
R04	11.8	13.8	10.3	12.9	10.7	13.2	8.7	10.9	10.6	11.9	10.4	12.6	
R05	1.3	0.9	1.4	1.5	1.0	1.5	1.3	1.4	1.7	2.0	1.3	1.5	キ その他
R04	1.4	1.1	1.7	0.9	1.5	1.5	1.4	1.8	1.8	1.6	1.5	1.4	

Q6 授業のはじめに学習の目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが行われたりしていますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	16.1	12.4	12.2	9.7	13.0	11.3	18.8	14.6	18.4	14.1	14.8	11.9	① ほとんどの授業で行われている
R04	18.5	14.9	13.9	9.2	15.3	8.2	20.3	12.8	20.8	12.0	16.8	10.3	
R05	48.6	48.9	41.9	37.5	48.4	41.1	50.6	42.7	53.0	47.3	47.7	42.0	② 多くの授業で行われている
R04	51.4	46.1	44.6	37.8	48.5	37.4	49.3	42.1	49.9	41.1	48.1	39.6	
R05	32.2	33.4	36.7	41.0	34.4	39.0	27.4	35.7	26.6	34.1	32.6	37.8	③ 行われている授業は少ない
R04	27.3	34.2	34.5	43.3	31.9	45.1	27.0	38.3	26.9	39.9	30.6	41.8	
R05	3.0	5.4	7.6	9.9	4.2	8.6	3.2	7.0	1.9	4.5	4.5	7.8	④ 行われている授業はほとんどない
R04	2.8	4.8	6.9	9.6	4.3	9.3	3.4	6.7	2.3	7.0	4.4	8.2	

Q7 授業の中で、自分の考えを発表したり、考えたことをペアや小グループで話し合ったりする時間がありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	15.2	14.6	18.9	16.1	33.8	27.6	21.7	19.7	23.9	18.3	24.9	20.9	① ほとんどの授業でそのような時間がある
R04	17.1	9.9	19.9	12.0	31.9	17.6	25.5	14.4	20.3	12.0	24.9	14.2	
R05	64.0	55.5	63.1	55.6	52.5	50.9	61.2	54.5	56.5	53.6	58.3	53.5	② 多くの授業でそのような時間がある
R04	59.1	51.0	59.2	54.0	50.2	53.1	55.9	53.6	57.9	49.7	55.3	52.8	
R05	20.4	28.0	15.9	23.3	13.0	20.2	16.5	23.8	18.9	26.0	15.8	23.1	③ そのような時間がある授業は少ない
R04	23.2	34.9	20.3	30.3	17.2	26.2	17.3	29.8	21.1	33.3	19.1	29.6	
R05	0.3	1.8	0.5	2.3	0.6	1.3	0.6	2.0	0.7	1.9	0.6	1.8	④ そのような時間がある授業はほとんどない
R04	0.7	4.1	0.6	3.7	0.7	3.1	1.2	2.1	0.7	5.0	0.8	3.4	

Q8 授業の中で、あなたが課題を見つたり、解決したりする時間がありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	14.7	14.5	16.1	13.5	20.5	18.3	19.6	17.6	19.4	12.9	18.5	15.9	① ほとんどの授業でそのような時間がある
R04	16.4	14.4	16.2	13.5	21.3	14.5	20.0	16.0	17.6	12.8	18.8	14.3	
R05	52.5	53.6	51.2	48.6	52.8	49.6	55.4	52.2	54.8	53.4	53.1	50.7	② 多くの授業でそのような時間がある
R04	52.3	47.9	52.6	49.7	51.4	48.6	55.4	52.2	52.0	47.9	52.5	49.3	
R05	30.6	28.1	28.0	30.4	24.2	28.7	22.8	26.6	23.2	30.1	25.4	28.9	③ そのような時間がある授業は少ない
R04	28.5	32.6	28.0	32.4	24.3	31.8	21.8	27.9	27.3	33.8	25.6	31.7	
R05	1.9	3.8	3.1	4.4	2.5	3.3	2.2	3.5	2.4	3.5	2.5	3.7	④ そのような時間がある授業はほとんどない
R04	2.8	5.0	3.1	4.3	3.0	5.0	2.7	3.8	3.1	5.5	3.0	4.7	

Q9 授業の中で、生徒がタブレットやパソコンなどのICT機器を使用していますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	17.3	14.2	9.8	10.2	27.5	26.4	23.2	23.2	13.3	20.7	19.4	19.9	① ほとんどの授業で使用している
R04	9.6	7.5	7.5	5.6	17.7	10.4	15.4	8.5	9.0	6.8	12.8	8.1	
R05	40.9	33.3	30.6	26.6	39.7	39.1	35.8	35.4	42.2	43.5	37.2	35.4	② 多くの授業で使用している
R04	24.9	15.6	16.1	14.6	27.3	16.0	25.5	23.3	17.2	16.0	22.6	16.8	
R05	36.6	40.1	43.6	48.8	28.9	30.5	31.3	29.5	38.6	27.8	35.1	35.5	③ 使用している授業は少ない
R04	52.3	46.1	50.2	47.2	40.7	39.2	45.0	43.9	58.5	49.4	47.3	44.0	
R05	5.0	12.5	13.4	10.9	4.0	3.9	9.7	11.7	5.9	7.8	7.7	8.3	④ 使用している授業はほとんどない
R04	13.2	30.7	26.1	32.6	14.2	34.4	14.0	24.2	15.4	27.7	17.3	31.0	

Q10 授業でもっとタブレットやパソコンなどのICT機器を活用したいと思いますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	36.1	32.6	36.5	34.1	41.4	43.2	39.7	41.7	37.1	41.4	38.8	39.4	① 活用したいと思う
R04	37.8	39.9	36.8	34.7	39.7	39.2	39.0	38.7	37.5	38.2	38.4	37.9	
R05	47.1	45.1	41.3	39.4	42.6	38.6	46.8	41.9	47.8	41.5	44.1	40.3	② どちらかといえば、活用したいと思う
R04	45.0	41.1	42.4	41.9	41.2	38.7	44.1	42.6	43.0	42.7	42.8	40.9	
R05	12.8	14.3	14.2	15.9	11.7	12.6	10.1	12.1	12.0	12.4	12.2	13.5	③ どちらかといえば、活用したいと思わない
R04	12.0	13.2	15.4	14.9	14.3	14.8	13.0	13.3	12.4	13.3	13.9	14.2	
R05	3.9	8.1	5.8	7.2	4.3	5.6	3.3	4.2	3.1	4.5	4.3	5.8	④ 活用したいと思わない
R04	5.3	5.7	5.3	8.5	4.8	7.1	3.8	5.3	5.1	5.8	4.9	6.9	

Q11 学校からどのくらいの割合で宿題・課題が出されていますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	6.1	4.7	21.4	10.0	14.0	15.8	6.7	8.5	10.1	5.4	13.4	10.7	① ほとんど毎日出ている
R04	6.4	6.3	16.8	14.3	19.9	11.9	10.0	5.5	6.3	8.9	14.4	10.5	
R05	41.8	27.6	49.9	42.6	43.5	35.1	46.7	37.4	43.7	36.1	45.5	36.9	② 週に2～3回出ている
R04	42.8	32.7	52.4	42.9	46.8	43.1	47.1	45.1	44.0	34.1	47.6	41.3	
R05	36.6	43.9	22.7	35.3	33.9	36.5	42.2	46.1	35.7	41.1	32.9	39.1	③ 週に1回くらい出ている
R04	34.1	44.0	26.8	35.4	29.3	34.2	38.3	41.0	38.8	38.0	31.9	37.0	
R05	15.4	23.6	3.6	8.7	8.6	12.5	4.5	8.0	10.4	17.1	7.5	12.4	④ ほとんど出していない
R04	16.5	16.9	3.8	7.3	4.0	10.8	4.6	8.3	10.9	19.0	6.1	11.1	

Q12 学校ではどのくらいの割合でテスト(小テストや確認テストを含む。)がありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	4.0	7.7	8.8	11.6	4.2	7.9	5.3	5.9	4.6	4.9	5.6	8.1	① ほとんど毎日ある
R04	3.5	8.6	5.6	15.4	4.3	13.7	7.7	9.0	4.8	5.0	5.2	11.7	
R05	23.1	21.9	45.4	41.4	40.3	48.5	37.7	33.3	40.3	28.6	39.5	39.0	② 週に2～3回ある
R04	25.1	25.4	41.6	42.9	38.9	50.8	31.1	33.4	41.8	46.6	37.4	43.1	
R05	51.1	42.6	38.1	35.3	46.6	33.1	47.5	42.8	43.8	49.2	44.6	38.3	③ 週に1回くらいある
R04	50.2	45.9	39.4	32.8	46.2	28.7	48.1	40.8	44.0	31.1	44.9	33.6	
R05	21.7	27.9	5.9	8.2	8.9	10.4	9.3	18.0	11.2	17.2	9.8	13.6	④ ほとんどない
R04	21.2	20.1	13.3	8.8	10.5	6.7	13.0	16.7	9.4	17.3	12.5	11.5	

Q13 あなたが受けたい授業はどんな授業ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	34.3	34.1	33.8	35.0	34.1	34.2	34.0	35.5	37.4	36.3	34.5	34.9	① 基礎・基本からじっくりわかるまで教えてくれる授業
R04	34.3	33.2	33.8	36.2	33.7	33.1	37.1	38.1	36.7	34.6	34.8	34.9	
R05	8.1	6.9	10.2	9.3	10.4	9.4	8.3	7.9	8.5	8.1	9.5	8.7	② 発展的な内容まで教えてくれる授業
R04	8.1	5.9	12.3	10.8	11.2	9.0	8.7	8.0	9.9	9.0	10.6	9.0	
R05	13.9	12.5	11.6	8.9	13.8	10.5	14.7	11.5	12.2	7.8	13.2	10.1	③ ペアやグループで自分の考えを発表したり、話し合ったりする授業
R04	15.7	12.9	11.8	7.9	11.5	9.2	12.9	9.4	11.5	9.0	12.2	9.2	
R05	28.7	30.0	29.0	29.1	29.3	30.8	29.5	28.4	26.6	26.8	28.9	29.3	④ 興味や関心がもてるような授業
R04	27.9	29.6	27.9	28.0	30.7	31.4	28.1	28.1	25.6	28.2	28.6	29.4	
R05	9.9	12.0	10.3	12.6	9.7	12.4	9.5	12.7	10.6	14.7	9.9	12.8	⑤ 進路希望達成につながる授業
R04	9.3	12.4	10.8	13.6	10.2	14.0	10.0	12.2	10.8	14.3	10.3	13.5	
R05	5.1	4.5	3.5	2.8	2.6	2.8	4.0	3.9	4.7	6.0	3.6	3.6	⑥ 資格取得につながる授業
R04	4.6	5.9	3.3	3.4	2.7	3.3	3.1	4.1	5.4	4.8	3.4	3.9	

Q14 平日(テスト期間や長期休業中などを除く、通常の月曜日から金曜日)、学校の授業時間以外に1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか(塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。)

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	29.9	46.1	17.4	29.6	20.3	31.0	18.0	32.1	24.9	39.2	20.7	33.3	① 全く、またはほとんどしない
R04	26.4	40.2	17.8	24.9	16.0	24.5	17.8	25.9	24.8	37.1	18.9	27.9	
R05	17.1	14.0	13.6	13.9	16.1	14.8	13.1	13.8	14.0	15.0	14.8	14.4	② 30分より少ない
R04	16.3	14.6	13.0	13.1	14.9	15.8	12.4	14.9	14.1	13.4	14.0	14.5	
R05	19.6	15.7	20.1	18.6	21.9	19.2	24.0	19.2	20.0	18.1	21.3	18.6	③ 30分～
R04	20.0	16.0	21.9	20.6	21.6	17.6	21.7	19.9	19.4	16.7	21.3	18.5	
R05	23.3	16.4	28.8	21.6	27.1	20.9	31.6	23.8	29.1	19.1	28.2	20.9	④ 1時間～
R04	25.9	20.4	29.5	26.3	30.0	24.6	32.2	27.7	28.6	21.5	29.7	24.8	
R05	7.8	6.4	14.7	11.0	11.3	10.9	11.2	8.8	9.7	6.1	11.6	9.5	⑤ 2時間～
R04	9.7	6.9	14.1	11.9	14.3	13.6	13.0	9.4	9.9	9.4	13.0	11.3	
R05	1.7	0.9	3.0	2.4	2.7	2.6	1.7	1.8	1.7	1.3	2.4	2.1	⑥ 3時間～
R04	1.5	1.4	3.1	2.4	2.8	3.0	2.3	1.9	2.6	1.3	2.6	2.3	
R05	0.4	0.2	0.3	0.5	0.5	0.3	0.3	0.2	0.3	0.5	0.4	0.3	⑦ 4時間～
R04	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.2	0.4	0.3	0.4	0.4	
R05	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3	⑧ 5時間以上
R04	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	

Q15 休日に、1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	28.8	45.0	16.3	27.2	17.6	27.1	15.6	29.9	24.9	37.7	19.0	30.6	① 全く、またはほとんどしない
R04	24.9	36.5	16.0	23.1	14.4	21.5	16.2	23.7	23.1	35.8	17.2	25.5	
R05	13.7	12.2	9.6	9.7	11.1	10.5	11.7	11.2	10.4	11.7	11.0	10.8	② 30分より少ない
R04	11.9	12.0	9.2	9.6	8.8	9.4	9.7	10.2	11.2	10.3	9.7	9.9	
R05	14.2	9.6	12.8	11.8	13.7	13.0	13.9	11.6	12.7	12.7	13.4	12.1	③ 30分～
R04	13.4	11.2	12.7	11.3	12.0	11.4	14.0	14.7	12.5	11.5	12.7	11.9	
R05	19.5	16.0	20.9	17.8	21.2	17.3	26.4	20.7	24.3	18.6	22.2	18.1	④ 1時間～
R04	22.8	15.4	21.5	20.7	21.8	18.6	23.1	21.3	24.4	17.7	22.4	19.1	
R05	14.6	9.6	18.9	14.5	18.0	15.6	19.0	15.5	16.4	11.4	17.9	14.2	⑤ 2時間～
R04	16.1	14.7	18.2	17.4	19.5	16.6	20.5	16.9	17.2	14.3	18.7	16.4	
R05	5.7	5.8	10.2	8.1	9.9	8.5	8.8	7.0	6.9	4.9	9.0	7.4	⑥ 3時間～
R04	6.7	6.7	12.1	10.6	13.4	12.0	10.7	7.9	6.9	6.7	11.2	9.8	
R05	2.0	1.3	5.4	4.7	5.0	3.9	3.0	2.4	2.4	1.4	4.1	3.3	⑦ 4時間～
R04	3.4	1.7	6.1	4.1	5.8	5.6	3.4	3.5	3.2	2.2	4.9	4.1	
R05	1.1	0.1	2.4	2.1	2.0	2.2	1.2	1.2	0.9	0.5	1.7	1.6	⑧ 5時間～
R04	0.6	0.9	2.2	1.8	2.3	2.7	1.6	1.2	1.0	0.8	1.8	1.8	
R05	0.1	0.1	0.9	0.8	0.8	0.9	0.3	0.3	0.7	0.5	0.6	0.6	⑨ 6時間～
R04	0.2	0.5	1.3	0.7	0.9	1.2	0.7	0.2	0.2	0.2	0.8	0.7	
R05	0.2	0.3	0.4	0.5	0.8	0.9	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	⑩ 7時間以上
R04	0.2	0.4	0.7	0.7	0.9	1.1	0.1	0.2	0.2	0.6	0.6	0.7	

Q16 家庭学習の仕方に、最も近いものはどれですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	8.0	7.5	19.4	15.3	18.2	17.6	14.2	11.4	12.6	9.3	16.1	13.9	① ほぼ毎日している
R04	9.1	9.5	19.7	18.0	21.3	20.6	16.1	13.8	13.1	11.3	17.8	16.6	
R05	3.5	3.1	5.5	4.8	4.9	3.7	6.2	4.1	5.6	4.1	5.2	4.0	② 主に平日にしている
R04	5.5	4.3	5.1	4.4	4.6	4.5	5.3	4.3	6.0	4.1	5.1	4.4	
R05	7.4	5.4	6.8	5.1	7.7	5.7	9.2	8.1	8.7	5.4	7.8	5.9	③ 主に休日にしている
R04	9.8	5.9	8.0	6.1	8.1	6.0	10.6	8.6	8.7	6.1	8.7	6.5	
R05	15.6	21.6	11.4	16.9	13.6	16.1	13.8	16.0	13.7	19.3	13.3	17.2	④ 主に定期考査前にしている
R04	14.0	19.5	11.9	17.0	11.8	15.4	12.6	17.6	13.6	16.2	12.4	16.6	
R05	7.4	4.4	8.2	5.7	6.4	5.2	8.1	7.2	6.1	5.2	7.2	5.6	⑤ 主に宿題・課題のあるときにしている
R04	6.2	5.6	7.6	5.6	7.6	4.9	8.1	7.0	6.7	4.1	7.4	5.4	
R05	34.5	28.3	33.0	30.9	31.9	31.9	31.1	32.2	33.9	33.2	32.5	31.6	⑥ 主に宿題・課題のあるときと定期考査前にしている
R04	32.8	30.9	32.6	31.8	31.8	31.7	30.8	29.5	33.0	33.4	32.1	31.5	
R05	1.7	1.4	1.7	2.0	1.8	1.9	1.1	1.1	1.6	1.3	1.6	1.6	⑦ 主に塾・予備校のあるときや家庭教師の先生が来るときにしている
R04	1.7	1.1	1.7	2.0	1.6	1.7	1.0	1.5	1.8	1.5	1.6	1.7	
R05	12.9	13.0	8.4	9.1	10.3	10.0	10.9	9.8	11.1	11.9	10.3	10.3	⑧ 気が向いたときにしている
R04	13.2	10.0	9.3	8.5	9.2	8.6	10.4	9.4	11.0	11.4	10.0	9.2	
R05	8.5	15.0	4.0	7.6	5.0	7.7	4.9	9.6	6.2	9.1	5.2	8.9	⑨ 家庭学習はほとんどしない
R04	7.6	12.4	3.7	6.2	3.7	6.4	4.7	8.0	5.6	11.3	4.5	7.8	
R05	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.8	0.2	0.4	⑩ その他
R04	0.1	0.6	0.3	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.6	0.2	0.4	

Q17 学習塾等（家庭教師の先生に教わっている場合も含む。）で、どのように勉強していますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	3.2	3.1	8.3	8.5	8.1	6.9	3.6	3.8	4.6	3.8	6.5	6.0	① 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している
R04	4.1	2.8	8.6	8.0	7.8	7.9	4.5	3.2	5.0	3.7	6.7	6.1	
R05	9.2	9.1	9.8	9.7	9.7	9.0	12.4	10.2	11.7	10.0	10.4	9.6	② 学校の勉強でよくわからなかった内容を勉強している
R04	10.7	10.9	10.5	9.4	9.0	8.9	11.1	11.5	10.4	10.4	10.1	9.8	
R05	5.9	4.9	9.8	8.7	9.0	8.1	7.4	6.8	8.7	7.3	8.6	7.6	③ 上記①、②の両方の内容を勉強している
R04	5.7	5.8	10.9	8.6	8.4	9.2	9.0	6.6	8.9	9.8	9.0	8.4	
R05	1.5	1.9	1.4	1.9	1.8	1.7	1.6	1.3	1.7	1.6	1.6	1.7	④ 上記①、②の内容のどちらともいえない
R04	1.7	1.1	1.7	2.2	1.9	2.6	0.7	1.9	1.9	1.8	1.6	2.2	
R05	80.0	80.9	68.9	68.7	71.3	74.3	75.0	77.7	73.2	77.1	72.4	74.4	⑤ 学習塾等に通っていない
R04	77.7	79.2	68.2	71.8	72.9	71.4	74.6	76.6	73.9	74.3	72.5	73.4	

Q18 家庭学習をする上で悩んでいることはありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	10.3	11.0	8.3	9.4	9.9	8.5	10.5	11.4	9.9	9.4	9.6	9.6	① 家庭学習の方法が分からない
R04	10.5	9.3	8.4	9.3	9.7	8.8	12.3	11.7	12.3	10.8	10.2	9.7	
R05	23.5	22.3	25.7	28.2	28.0	28.6	23.6	24.7	22.8	25.6	25.6	26.9	② 家庭学習に集中できない
R04	22.8	24.8	28.1	30.1	26.9	30.0	21.5	23.9	22.7	26.1	25.4	28.0	
R05	17.7	13.6	16.7	15.7	17.2	17.7	19.7	19.0	19.0	16.3	17.8	16.9	③ 学習の計画を立てても長続きしない
R04	16.9	16.1	15.8	15.1	17.8	14.8	19.8	19.2	17.9	15.3	17.6	15.8	
R05	18.2	16.7	24.7	18.7	22.7	18.7	18.9	13.4	16.8	15.0	21.4	17.1	④ 家庭学習と部活動の両立が難しい
R04	19.9	13.4	23.3	18.9	23.0	19.5	18.1	15.1	16.4	13.9	21.1	17.3	
R05	4.4	5.1	4.3	4.5	3.9	5.3	4.5	5.6	4.8	5.5	4.3	5.2	⑤ 家庭学習を一生懸命やっても成績が伸びない
R04	4.2	5.2	4.0	5.6	4.0	6.3	6.0	5.0	4.6	6.1	4.4	5.8	
R05	23.2	28.5	16.4	17.8	16.3	18.6	21.1	23.3	24.7	25.9	18.9	21.1	⑥ 特に悩みはない
R04	23.8	28.7	18.0	18.7	16.7	17.6	19.5	22.9	24.0	25.4	19.1	20.8	
R05	2.5	2.6	2.0	2.6	1.9	2.4	1.5	2.4	1.7	1.9	1.9	2.4	⑦ その他
R04	1.9	2.4	2.1	2.2	1.8	2.7	2.4	1.9	1.9	2.3	2.0	2.4	

Q19 自宅でICT機器やオンラインを用いた学習を実施する(した)場合に、自分にとって不都合なこと(不都合だったこと)は何ですか。(該当するものをすべて選んでください。)

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	1.9	1.6	2.0	2.5	1.6	1.6	2.1	2.4	1.8	1.7	1.9	2.0	ア コンピュータやタブレット、スマホなどの機器がない(使用できない)
R04	2.1	3.0	1.6	1.9	1.5	1.7	1.8	3.2	2.0	2.3	1.7	2.2	
R05	17.3	20.1	17.2	16.6	16.9	16.0	19.8	20.3	21.0	21.6	18.0	18.0	イ 課題を印刷する機器がない(印刷できない)
R04	22.1	23.3	16.2	17.1	17.2	16.8	19.4	22.6	21.6	24.4	18.3	19.4	
R05	16.6	17.1	14.7	12.2	14.8	12.8	15.8	14.5	15.1	15.5	15.1	13.7	ウ 通信速度が遅い
R04	15.6	13.2	13.3	11.5	13.6	13.2	13.2	13.8	14.1	12.0	13.7	12.7	
R05	5.8	6.8	6.7	5.8	6.1	4.9	6.9	6.9	6.9	8.5	6.5	6.1	エ 通信料が高額になる
R04	5.2	6.0	6.1	5.6	6.5	6.1	6.5	8.0	8.2	7.4	6.5	6.5	
R05	3.8	4.7	4.5	4.0	4.1	3.9	5.7	5.3	5.9	5.2	4.7	4.4	オ セキュリティが心配
R04	5.7	4.2	5.1	4.7	5.5	3.7	6.0	6.5	6.9	6.7	5.7	4.9	
R05	14.5	12.5	16.1	12.9	15.2	14.4	14.1	14.4	16.4	16.2	15.3	14.1	カ 操作の方法が分からない
R04	14.7	12.3	16.2	14.1	18.8	12.8	16.3	14.3	17.0	16.2	17.1	13.8	
R05	21.0	26.9	22.0	23.9	23.2	24.4	19.6	23.8	21.9	23.8	21.9	24.3	キ 集中できない、やる気が起きない
R04	23.1	23.9	22.0	22.7	23.0	26.6	20.3	24.0	21.2	25.9	22.0	24.9	
R05	3.2	2.4	3.9	3.8	3.5	4.3	4.4	3.6	3.7	4.1	3.8	3.9	ク その他
R04	3.4	4.1	3.3	3.2	3.7	4.9	3.9	4.3	4.1	3.9	3.7	4.2	
R05	44.4	39.3	42.0	45.7	43.3	46.2	44.5	42.3	42.7	41.6	43.2	44.2	ケ 不都合なことはない
R04	40.3	40.0	44.3	47.7	42.3	44.6	43.9	41.0	41.7	39.1	42.8	43.6	

Q20 学校に行く前に朝食をとりますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	64.6	65.5	76.3	72.7	76.4	74.0	71.4	68.1	70.6	67.3	73.6	71.0	① 必ずとる
R04	68.8	62.9	77.5	73.2	77.3	75.2	71.7	69.1	71.4	68.2	74.9	71.7	
R05	18.7	15.8	12.6	12.9	13.4	14.1	14.8	15.7	15.6	14.4	14.2	14.3	② たいていとる
R04	15.5	17.1	13.0	14.2	13.3	14.3	15.6	14.8	14.5	16.0	14.0	14.8	
R05	8.5	8.1	5.1	6.6	6.3	6.5	8.3	9.1	8.1	8.6	6.8	7.4	③ とらないことが多い
R04	8.2	10.1	4.8	6.1	5.1	5.6	6.9	7.6	8.0	8.1	6.0	6.8	
R05	8.0	10.5	4.4	5.7	4.0	5.3	5.5	7.0	5.8	9.6	5.0	6.7	④ 全く、またはほとんどとらない
R04	7.5	9.9	4.5	6.5	4.2	4.8	5.7	8.4	6.0	7.7	5.1	6.6	

Q21 平日の睡眠時間は1日当たり、どのくらいですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	0.7	1.2	0.5	0.9	0.4	0.7	0.5	0.9	0.4	1.3	0.5	0.9	① 3時間より少ない
R04	1.4	1.1	0.4	0.8	0.6	0.7	0.5	1.0	0.9	1.0	0.7	0.9	
R05	3.4	4.4	2.1	2.4	2.4	2.7	2.7	3.4	3.1	2.9	2.6	2.9	② 3時間～4時間未満
R04	3.2	3.7	2.6	2.7	2.1	2.6	3.4	3.2	2.2	3.7	2.6	3.0	
R05	8.4	9.8	8.5	9.7	7.1	9.7	8.6	9.1	7.7	9.4	7.9	9.6	③ 4時間～5時間未満
R04	10.2	10.6	8.5	10.6	9.3	10.6	8.9	8.7	7.6	9.1	8.9	10.1	
R05	26.7	27.3	27.6	30.1	27.5	31.6	25.0	28.2	24.7	27.5	26.7	29.7	④ 5時間～6時間未満
R04	24.5	31.9	27.9	30.8	29.2	30.0	26.3	29.1	25.2	25.6	27.4	29.6	
R05	35.4	36.4	37.7	37.7	39.7	38.2	38.4	37.2	37.7	35.4	38.3	37.4	⑤ 6時間～7時間未満
R04	37.8	35.6	40.3	38.1	38.5	39.3	38.9	36.8	39.0	39.3	39.0	38.2	
R05	21.7	16.6	17.4	13.5	19.1	14.3	18.8	16.8	20.1	19.3	19.0	15.4	⑥ 7時間～8時間未満
R04	18.0	13.0	16.4	13.8	16.3	14.3	17.2	17.4	20.7	17.2	17.2	15.0	
R05	3.3	2.8	3.6	2.6	3.2	2.3	4.9	3.8	5.3	3.4	3.9	2.8	⑦ 8時間～9時間未満
R04	3.6	3.3	3.4	2.8	3.4	2.0	3.8	3.0	3.7	3.7	3.5	2.7	
R05	0.2	1.4	0.8	0.6	0.6	0.6	1.0	0.6	0.9	0.7	0.7	0.7	⑧ 9時間以上
R04	1.2	0.6	0.5	0.2	0.4	0.5	0.7	0.7	0.7	0.4	0.6	0.4	

Q22 平日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	2.2	2.2	7.6	6.0	7.0	7.4	4.4	3.5	4.1	2.5	5.9	5.3	① 家庭学習
R04	3.1	4.0	7.6	6.6	8.7	7.5	5.6	5.0	2.8	4.0	6.6	6.1	
R05	4.4	2.9	4.7	3.9	4.2	3.8	3.6	2.6	2.9	3.2	4.1	3.4	② テレビ(録画を含む)やDVD等
R04	3.8	3.6	4.7	4.4	4.7	4.1	3.5	3.3	4.0	3.7	4.3	3.9	
R05	25.2	25.6	21.8	22.2	25.4	21.7	24.5	24.8	27.2	23.1	24.5	22.9	③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、SNS等
R04	26.6	22.2	24.5	21.2	23.2	22.5	25.3	22.4	25.3	23.0	24.5	22.2	
R05	42.7	46.2	40.4	42.8	40.1	43.7	43.3	45.4	43.0	47.2	41.3	44.5	④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
R04	41.3	45.5	39.7	44.2	39.8	42.8	41.2	46.3	43.3	44.3	40.6	44.2	
R05	8.0	7.5	7.2	6.8	5.5	6.8	6.5	8.2	7.3	8.6	6.6	7.4	⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
R04	7.9	7.5	6.5	8.0	5.6	6.0	8.4	8.1	8.2	10.0	6.8	7.5	
R05	1.5	0.9	1.3	1.1	1.4	1.0	1.6	1.2	0.9	1.7	1.3	1.1	⑥ 読書
R04	1.4	1.4	1.6	1.0	1.4	1.2	1.2	1.4	1.9	1.3	1.5	1.2	
R05	8.1	7.5	7.2	7.1	7.5	6.7	9.1	7.3	7.9	8.6	7.8	7.2	⑦ 趣味(①～⑥を除く)
R04	6.1	6.5	6.4	7.3	6.5	6.5	7.4	6.8	8.3	7.2	6.8	6.8	
R05	4.3	3.4	4.1	3.3	4.4	3.9	4.2	3.7	3.7	2.5	4.2	3.5	⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
R04	5.0	3.9	4.8	3.3	5.0	4.0	4.1	3.6	4.0	2.9	4.7	3.6	
R05	3.3	3.8	4.4	4.6	4.4	4.9	2.8	3.2	3.0	2.6	3.9	4.1	⑨ その他
R04	4.8	5.4	3.9	4.0	5.2	5.5	3.4	3.0	2.2	3.6	4.1	4.4	

Q23 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は1日当たりどのくらいですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	0.4	1.2	0.8	0.5	0.4	0.6	0.3	0.7	0.6	0.5	0.5	0.6	① 全く使わない
R04	0.2	0.7	0.4	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.2	1.0	0.5	0.6	
R05	1.0	1.3	1.5	1.5	2.4	1.8	1.4	1.7	1.0	1.1	1.7	1.6	② 30分より少ない
R04	2.0	1.2	2.1	1.4	2.2	1.4	1.9	1.4	1.2	0.9	2.0	1.3	
R05	2.5	3.1	5.0	3.7	6.4	5.3	5.2	3.7	3.8	3.0	5.1	4.1	③ 30分～1時間未満
R04	3.1	2.3	6.1	4.2	7.4	5.1	4.9	4.1	4.0	3.6	5.8	4.3	
R05	14.9	10.3	21.2	16.4	23.1	17.9	17.8	14.1	16.4	12.0	20.1	15.4	④ 1時間～2時間未満
R04	14.6	13.4	19.2	16.1	22.7	20.1	17.4	18.1	14.5	14.0	19.1	17.3	
R05	24.8	21.2	28.0	25.3	30.3	27.9	28.8	26.1	26.0	26.2	28.4	26.1	⑤ 2時間～3時間未満
R04	23.8	21.7	28.3	28.0	29.0	28.9	25.9	27.2	27.7	24.9	27.6	27.2	
R05	23.1	21.5	20.4	21.6	18.4	21.4	20.9	20.8	21.0	22.9	20.1	21.6	⑥ 3時間～4時間未満
R04	23.7	24.0	20.9	22.3	18.9	20.6	22.5	19.4	24.0	20.2	21.1	21.1	
R05	13.2	15.0	10.3	12.0	8.9	10.6	11.3	12.7	12.2	13.0	10.5	12.1	⑦ 4時間～5時間未満
R04	14.1	13.9	10.6	11.1	8.2	9.9	10.7	11.4	12.6	12.7	10.3	11.2	
R05	20.0	26.3	11.1	16.4	9.9	14.2	14.0	19.8	18.6	21.0	13.0	17.7	⑧ 5時間以上
R04	18.0	22.5	12.2	16.1	10.5	13.2	15.5	17.8	15.8	22.4	13.2	16.8	
R05	0.0	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	⑨ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R04	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.5	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	

Q24 平日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	6.0	4.0	2.8	3.3	3.6	3.4	4.4	5.6	6.1	4.8	4.1	4.0	① 相手との通話
R04	3.8	3.9	3.3	3.2	3.1	3.4	5.6	5.4	4.8	5.6	3.9	4.0	
R05	1.5	2.0	1.9	1.4	2.1	1.2	2.1	1.1	2.4	1.3	2.0	1.3	② メール
R04	2.2	0.7	1.9	1.0	1.9	0.9	1.8	1.6	1.3	1.2	1.8	1.1	
R05	36.7	35.9	37.9	36.5	39.1	37.1	36.0	33.9	34.8	32.2	37.5	35.6	③ SNS(LINE、ツイッター、インスタグラム等)
R04	40.7	31.7	41.2	36.9	39.2	37.3	36.4	31.5	35.6	32.0	38.9	35.0	
R05	27.2	34.4	30.8	33.7	31.9	36.4	32.4	35.1	32.0	37.7	31.3	35.5	④ 動画サイト
R04	27.7	37.5	30.5	36.2	31.9	36.7	32.3	35.9	34.7	38.2	31.6	36.7	
R05	12.5	8.7	10.9	10.2	11.2	9.9	10.5	9.7	10.5	9.6	11.0	9.8	⑤ 音楽サイトや音楽プレイヤー
R04	9.2	10.6	8.3	9.6	10.7	9.8	8.8	10.6	10.1	9.4	9.6	9.9	
R05	13.6	13.7	11.5	10.7	9.8	9.7	13.4	13.0	12.4	12.4	11.6	11.2	⑥ オンラインゲーム
R04	14.2	13.6	11.7	11.0	10.7	9.5	13.0	13.2	11.6	11.7	11.8	11.2	
R05	0.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	⑦ ブログや掲示板
R04	0.6	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.5	0.3	0.3	
R05	1.4	1.0	1.9	1.5	1.7	1.5	0.8	1.1	1.2	1.7	1.5	1.4	⑧ 情報・ニュース等の検索
R04	1.3	1.3	2.2	1.6	1.7	1.7	0.9	1.1	1.3	1.3	1.6	1.5	
R05	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	⑨ 静止画や動画の撮影
R04	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	0.1	
R05	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.2	0.0	0.2	0.2	⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R04	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.2	0.6	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	

Q25 平日に、1日当たりどのくらいの時間、読書(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)をしますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	64.2	70.2	60.7	70.3	63.4	72.2	54.6	63.1	59.3	61.3	60.8	68.5	① 全く、またはほとんどしない
R04	62.0	69.2	64.4	67.9	63.2	71.4	57.4	59.4	55.4	69.2	61.4	68.0	
R05	17.3	15.0	20.8	14.5	19.8	14.4	24.2	21.2	22.0	19.6	20.8	16.3	② 30分より少ない
R04	19.5	14.1	19.9	17.9	20.2	14.8	23.1	22.9	23.3	14.6	21.0	16.8	
R05	10.3	8.1	10.3	8.1	11.1	8.2	13.2	9.2	11.6	10.8	11.2	8.7	③ 30分～1時間未満
R04	10.6	10.0	9.1	9.2	10.7	8.6	12.0	11.2	12.4	9.6	10.7	9.4	
R05	5.7	3.9	4.2	2.6	3.9	3.4	5.9	3.8	4.6	4.8	4.6	3.5	④ 1時間～2時間未満
R04	5.6	3.8	4.4	3.4	3.8	3.3	4.8	3.9	6.0	4.1	4.6	3.6	
R05	1.4	1.2	1.3	1.0	1.3	1.1	1.3	1.3	1.6	2.4	1.4	1.3	⑤ 2時間～3時間未満
R04	1.2	1.2	1.5	1.1	1.3	1.1	1.3	1.1	1.7	1.5	1.4	1.2	
R05	0.4	1.2	0.5	0.3	0.2	0.4	0.5	0.7	0.6	0.7	0.4	0.6	⑥ 3時間～4時間未満
R04	0.5	0.8	0.4	0.2	0.3	0.4	0.7	0.6	0.7	0.5	0.5	0.4	
R05	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	⑦ 4時間～5時間未満
R04	0.2	0.5	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	
R05	0.2	0.4	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	⑧ 5時間以上
R04	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.1	0.4	0.2	0.3	

Q26 休日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	2.2	1.7	6.3	4.6	5.8	6.4	3.2	2.7	3.3	2.2	4.8	4.3	① 家庭学習
R04	2.1	3.1	6.9	5.2	7.8	6.7	3.8	3.5	3.2	3.3	5.8	5.0	
R05	5.8	3.4	6.5	5.5	6.4	4.6	4.7	4.8	4.3	5.0	5.8	4.8	② テレビ(録画を含む)やDVD等
R04	5.5	5.3	6.7	6.2	6.7	6.3	4.6	5.0	4.8	4.8	6.0	5.8	
R05	20.4	19.2	15.7	15.3	18.5	16.5	18.9	18.2	19.6	18.9	18.2	17.1	③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、SNS等
R04	20.7	16.7	17.4	15.0	16.2	14.1	20.5	15.8	19.0	17.5	18.0	15.3	
R05	38.9	42.4	35.9	38.6	36.8	41.4	40.9	41.8	41.1	40.7	38.0	40.8	④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
R04	38.4	42.0	35.9	40.2	37.6	40.3	38.1	42.6	38.1	40.9	37.4	40.9	
R05	8.4	8.1	8.2	8.8	7.2	8.0	7.7	9.6	8.7	8.6	7.8	8.5	⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
R04	8.3	9.8	8.0	8.5	7.0	7.4	9.1	10.7	9.9	11.5	8.1	9.0	
R05	1.3	1.3	1.4	0.9	1.2	1.2	1.3	1.0	1.1	1.3	1.2	1.1	⑥ 読書
R04	1.2	1.1	1.2	0.8	1.3	1.3	1.4	1.0	1.3	0.9	1.3	1.1	
R05	12.6	12.8	13.1	13.0	13.6	11.4	13.9	12.3	12.9	14.0	13.3	12.4	⑦ 趣味(①～⑥を除く)
R04	12.1	11.7	13.3	13.6	11.6	11.9	12.3	11.7	14.0	10.8	12.5	12.1	
R05	4.3	3.5	4.5	3.0	4.2	3.6	4.0	3.5	3.6	3.6	4.2	3.4	⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
R04	4.5	2.6	4.8	4.0	4.6	4.3	4.5	4.2	4.7	3.0	4.6	3.9	
R05	5.9	7.6	6.3	7.2	6.4	6.8	5.3	6.2	5.3	5.7	6.0	6.7	⑨ その他
R04	7.0	7.8	5.6	6.6	7.3	7.5	5.7	5.4	4.9	7.4	6.2	6.9	

Q27 休日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は1日当たりどのくらいですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	0.8	1.5	1.0	1.4	0.9	0.9	0.8	1.3	0.9	0.8	0.9	1.1	① 全く使わない
R04	0.6	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.8	0.7	0.8	0.7	0.8	
R05	1.7	1.4	1.1	1.3	1.5	1.2	0.7	1.1	1.1	0.9	1.2	1.2	② 30分より少ない
R04	1.9	0.7	1.5	1.1	1.3	1.1	1.5	1.1	0.9	0.8	1.4	1.0	
R05	1.1	0.8	2.6	2.0	2.5	2.1	2.3	1.7	2.0	1.7	2.3	1.8	③ 30分～1時間未満
R04	1.8	1.3	2.5	2.5	2.8	2.0	2.1	1.6	2.0	1.0	2.4	1.9	
R05	3.6	3.3	6.9	5.0	7.0	6.2	4.6	5.3	4.9	4.1	6.0	5.2	④ 1時間～2時間未満
R04	4.0	3.1	8.2	5.0	7.9	6.7	5.9	4.7	4.8	3.9	6.9	5.2	
R05	13.0	11.4	16.7	14.2	19.1	14.1	15.8	10.9	12.9	10.6	16.5	12.9	⑤ 2時間～3時間未満
R04	10.4	11.7	15.2	13.6	17.9	16.4	14.0	13.5	12.0	11.4	15.1	14.1	
R05	18.4	15.5	20.4	17.5	22.4	20.8	21.3	17.6	18.6	17.5	20.8	18.5	⑥ 3時間～4時間未満
R04	17.9	16.0	20.7	21.3	22.2	20.9	18.5	19.8	18.4	18.1	20.3	20.0	
R05	15.9	16.0	17.4	16.8	16.3	17.4	17.5	18.5	15.1	16.8	16.6	17.2	⑦ 4時間～5時間未満
R04	18.0	17.3	17.1	18.0	15.5	17.0	17.8	17.4	18.2	16.4	16.9	17.3	
R05	15.2	13.7	11.7	12.0	10.4	11.9	12.4	11.9	13.1	14.2	11.9	12.4	⑧ 5時間～6時間未満
R04	14.2	13.6	10.9	11.5	11.2	12.3	12.1	11.6	14.6	12.7	12.0	12.1	
R05	29.9	35.8	19.8	26.7	19.7	25.0	24.5	31.0	31.1	33.1	23.0	28.5	⑨ 6時間以上
R04	30.7	34.7	22.6	25.7	20.0	22.6	26.8	29.2	28.2	34.6	23.9	27.2	
R05	0.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.7	0.2	0.3	0.2	0.4	⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R04	0.5	0.6	0.4	0.4	0.4	0.2	0.6	0.2	0.1	0.3	0.4	0.3	



Q28 休日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	5.9	3.2	2.7	2.4	3.0	2.8	4.5	5.6	5.2	3.5	3.7	3.3	① 相手との通話
R04	4.3	3.2	2.9	3.0	2.7	3.1	4.5	4.4	4.4	4.6	3.4	3.5	
R05	1.3	1.7	0.9	1.2	1.5	0.7	1.4	0.7	1.6	1.2	1.3	1.0	② メール
R04	1.4	1.3	1.3	0.7	1.2	0.7	1.3	0.9	1.1	1.1	1.2	0.8	
R05	31.4	30.4	32.7	30.7	33.8	31.7	29.8	28.6	29.9	28.4	32.1	30.4	③ SNS (LINE、ツイッター、インスタグラム等)
R04	34.8	27.6	32.8	29.3	32.5	28.4	30.3	26.5	28.7	25.2	31.9	27.8	
R05	36.5	39.9	40.3	43.3	40.5	45.5	39.9	43.0	39.6	44.5	39.9	43.9	④ 動画サイト
R04	35.5	45.2	40.9	46.3	41.6	48.2	41.1	44.7	42.1	48.8	40.9	47.0	
R05	8.5	7.5	6.2	6.4	7.7	6.5	6.7	6.1	7.1	6.8	7.2	6.5	⑤ 音楽サイトや音楽プレイヤー
R04	6.1	6.9	6.1	6.1	7.1	6.1	6.3	6.9	7.4	5.8	6.6	6.2	
R05	14.2	15.9	13.0	11.5	11.3	10.5	16.3	14.1	14.5	13.1	13.2	12.2	⑥ オンラインゲーム
R04	16.1	14.1	13.1	12.0	12.2	11.1	14.6	14.8	13.6	12.4	13.4	12.4	
R05	0.3	0.2	0.5	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	⑦ ブログや掲示板
R04	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.1	0.3	0.2	0.6	0.2	0.4	
R05	1.4	0.6	1.3	1.4	1.5	1.3	0.6	1.1	1.1	1.7	1.2	1.3	⑧ 情報・ニュース等の検索
R04	0.9	0.9	1.9	1.5	1.6	1.7	0.7	1.1	1.3	1.0	1.4	1.4	
R05	0.3	0.2	0.4	0.3	0.1	0.3	0.4	0.2	0.5	0.3	0.3	0.3	⑨ 静止画や動画の撮影
R04	0.4	0.2	0.4	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.9	0.1	0.4	0.1	
R05	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.0	0.2	0.2	⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R04	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.5	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	

Q29 休日に、1日当たりどのくらいの時間、読書(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)をしますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	66.2	71.7	65.1	73.3	65.3	73.8	63.3	70.6	66.8	69.0	65.2	72.3	① 全く、またはほとんどしない
R04	65.6	71.6	67.9	70.1	65.7	72.0	63.9	66.9	62.3	70.5	65.5	70.4	
R05	12.9	10.9	14.2	10.4	15.4	11.8	13.9	11.8	12.4	12.0	14.2	11.4	② 30分より少ない
R04	14.0	10.6	14.0	13.6	15.5	12.3	15.4	12.9	14.8	10.9	14.9	12.4	
R05	9.1	8.8	8.5	6.8	9.5	7.0	11.1	9.5	9.9	8.1	9.5	7.7	③ 30分～1時間未満
R04	8.7	7.3	8.0	8.0	9.3	7.5	9.6	9.2	10.5	8.2	9.1	8.0	
R05	5.8	3.5	5.5	3.8	5.5	3.9	7.0	4.1	6.2	4.8	5.9	4.0	④ 1時間～2時間未満
R04	5.6	5.7	5.2	4.8	5.2	4.5	6.0	6.6	6.9	6.2	5.6	5.2	
R05	2.9	2.7	2.8	1.4	2.4	1.7	2.6	1.9	2.8	3.0	2.6	1.9	⑤ 2時間～3時間未満
R04	2.7	2.1	2.3	2.2	2.4	2.0	2.7	1.9	2.4	2.1	2.5	2.1	
R05	1.7	0.7	1.2	0.8	0.9	0.8	1.2	1.0	0.9	1.1	1.1	0.9	⑥ 3時間～4時間未満
R04	1.5	1.0	1.2	0.5	0.9	0.8	1.0	0.9	1.3	0.9	1.1	0.8	
R05	0.4	0.5	0.3	0.2	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3	1.0	0.3	0.4	⑦ 4時間～5時間未満
R04	0.7	0.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.3	0.5	0.4	
R05	0.5	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	⑧ 5時間～6時間未満
R04	0.4	0.7	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.2	0.3	
R05	0.1	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.2	0.1	⑨ 6時間～7時間未満
R04	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	
R05	0.2	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	0.3	0.5	0.1	0.4	0.1	0.3	⑩ 7時間以上
R04	0.5	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	

Q30 普段、次のような時に、スマートフォンや携帯電話でメールやメッセージ(LINE等)のやりとりをすることがありますか。(該当するものをすべて選んでください。)

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	21.6	28.1	28.5	33.0	28.4	33.5	26.7	29.5	30.2	30.9	27.7	31.8	ア 家庭で勉強しているとき
R04	25.0	26.2	28.3	30.5	28.5	31.8	28.7	31.4	26.4	30.1	27.9	30.7	
R05	8.0	8.7	8.0	10.5	8.9	10.4	7.5	10.0	8.7	10.6	8.3	10.2	イ 家族と一緒に食事をしているとき
R04	8.2	9.0	8.8	8.0	8.1	8.1	8.9	9.9	8.8	9.7	8.5	8.7	
R05	55.9	61.9	47.2	54.7	50.9	55.8	53.9	58.4	57.2	59.0	51.8	56.9	ウ 夜、ふとんやベッドに入ってから
R04	57.7	56.4	49.2	52.0	48.7	54.2	53.6	59.3	56.3	59.3	51.5	55.4	
R05	42.9	42.5	44.1	43.8	43.7	43.3	43.1	42.2	43.3	47.4	43.6	43.7	エ パソコンやゲームをしているとき
R04	43.4	39.8	43.4	43.1	41.6	40.4	41.6	42.7	42.2	43.1	42.3	41.8	
R05	39.8	38.7	45.7	48.3	48.2	50.7	37.8	40.7	39.3	44.7	43.9	46.5	オ テレビを見ているとき
R04	41.9	41.8	46.5	48.4	49.6	49.9	39.9	42.0	41.0	42.0	45.3	46.4	
R05	24.6	19.7	26.9	22.4	26.5	22.7	23.7	21.7	25.8	23.8	25.9	22.3	カ その他
R04	25.2	23.3	26.7	24.9	26.5	24.1	25.5	20.2	26.7	22.7	26.3	23.4	
R05	0.4	0.7	0.4	0.5	0.5	0.6	0.4	0.7	0.6	0.4	0.5	0.6	キ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R04	0.4	1.0	0.6	0.5	0.7	0.5	1.0	0.6	0.2	0.4	0.6	0.6	

Q31 インターネットの利用に関して、どのような経験をしたことがありますか。(該当するものをすべて選んでください。)

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	78.6	79.3	82.0	80.5	83.5	82.7	79.3	79.1	78.2	78.8	81.2	80.7	ア 気がつくと、思ったより長い時間ネットをしていることがある
R04	75.9	70.4	80.5	81.1	81.2	80.8	76.7	78.1	77.1	75.8	79.2	78.8	
R05	30.1	31.2	31.4	36.4	34.0	40.8	32.2	34.5	33.0	34.0	32.5	36.8	イ やるべき事があっても、まず先にSNSサイトやメールをチェックする
R04	30.8	26.0	33.7	32.5	33.5	33.6	30.4	30.0	31.9	30.2	32.6	31.6	
R05	14.6	14.5	17.2	21.3	18.3	21.9	15.0	17.5	16.2	16.7	16.9	19.6	ウ ネットが原因で、勉強に悪影響が出て成績が下がった
R04	14.8	14.3	19.3	22.1	17.8	22.0	16.7	18.3	17.0	17.8	17.6	20.1	
R05	28.9	32.6	31.4	35.0	32.3	35.9	29.7	31.8	31.0	32.7	31.1	34.3	エ 夜遅くまでネットをすることが原因で、睡眠時間が短くなっている
R04	29.6	28.7	31.7	32.3	30.7	32.5	29.3	28.9	31.7	30.7	30.7	31.3	
R05	20.3	21.2	19.2	20.9	19.4	21.7	21.2	20.4	21.9	23.6	20.0	21.5	オ ネットで新しく知り合いを作ることがある
R04	23.2	22.6	21.6	22.9	20.8	21.4	20.4	21.7	26.3	21.8	21.9	22.0	
R05	16.8	17.5	23.7	25.4	26.1	27.1	21.9	20.8	20.9	18.8	23.2	23.6	カ ネットをする時間や頻度を減らそうとしても、できないことがある
R04	18.4	17.6	24.5	24.0	24.9	24.8	18.9	19.5	19.2	21.4	22.4	22.6	
R05	5.2	5.3	7.4	7.4	8.5	8.1	5.5	5.5	5.7	5.0	7.0	6.8	キ ネットをする時間や回数、内容を家族や先生に隠そうとすることがある
R04	5.0	4.6	7.3	6.6	7.5	7.8	5.8	6.2	5.5	4.9	6.7	6.6	
R05	2.5	3.4	2.7	2.9	2.9	3.4	2.8	2.8	2.8	2.6	2.8	3.0	ク ネットをしていない時はイライラしたり憂鬱な気持ちになったりする
R04	2.9	4.1	2.7	3.3	2.6	2.7	2.3	2.7	2.5	3.0	2.6	3.0	
R05	6.3	7.0	6.8	7.8	7.2	8.0	7.1	7.1	8.0	9.0	7.1	7.8	ケ 家族や友人と外出するよりもネットを利用することを選ぶことがある
R04	6.0	7.3	7.5	8.0	6.8	8.1	7.5	7.8	8.5	7.5	7.3	7.9	
R05	22.5	23.1	26.7	30.1	27.6	32.0	24.6	25.8	25.5	28.2	26.1	29.1	コ 様々な問題から気をそらすためにネットで時間を過ごすことがある
R04	21.0	23.4	26.5	29.3	26.4	30.0	22.2	24.7	23.6	27.8	24.9	28.1	

Q32 毎日同じくらいの時刻に起きています。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	71.0	71.3	74.1	74.2	75.2	75.1	72.2	74.5	71.5	73.9	73.5	74.3	① 当てはまる
R04	74.0	71.6	75.5	77.7	74.8	75.1	72.9	73.1	71.7	71.1	74.2	74.6	
R05	25.7	25.1	21.2	21.7	21.4	21.9	23.8	22.4	24.7	22.6	22.6	22.3	② どちらかといえば、当てはまる
R04	23.1	24.3	21.0	19.7	22.1	21.8	22.9	23.7	24.9	25.2	22.4	22.3	
R05	2.3	2.7	2.7	1.8	2.8	2.3	3.2	2.1	2.8	2.8	2.8	2.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	2.2	3.0	2.5	2.1	2.3	2.2	3.2	1.9	2.6	2.9	2.5	2.3	
R05	0.9	0.9	0.9	1.1	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	0.4	0.8	0.8	④ 当てはまらない
R04	0.7	1.1	0.9	0.6	0.8	0.9	0.8	1.1	0.7	0.7	0.8	0.9	

Q33 毎日同じくらいの時刻に寝ている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	38.7	41.9	46.9	46.9	46.3	46.5	41.8	44.8	39.7	43.7	44.1	45.5	① 当てはまる
R04	43.0	41.8	48.0	47.0	45.8	47.0	44.3	43.0	43.3	41.9	45.5	45.2	
R05	44.1	40.9	36.4	37.5	39.2	38.9	40.9	37.8	41.7	39.9	39.6	38.7	② どちらかといえば、当てはまる
R04	39.5	39.0	37.9	39.1	38.4	36.8	38.7	40.3	39.4	41.2	38.6	38.7	
R05	12.2	13.3	12.1	10.7	11.3	11.1	13.9	13.5	14.9	12.1	12.5	11.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	13.6	15.2	11.1	10.6	12.2	12.3	12.8	12.7	13.7	12.7	12.4	12.2	
R05	5.0	3.8	3.2	2.9	3.2	3.5	3.3	4.0	3.6	4.0	3.4	3.5	④ 当てはまらない
R04	3.9	3.9	3.0	3.3	3.5	3.9	4.0	3.9	3.6	4.1	3.5	3.8	

Q34 体調はよい。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	54.2	53.6	57.7	54.2	56.5	53.3	56.6	54.2	59.5	55.0	57.0	53.9	① 当てはまる
R04	57.2	53.2	58.7	54.7	58.3	53.9	58.1	53.4	56.6	49.4	58.1	53.4	
R05	33.6	34.5	30.1	30.3	32.9	32.9	33.6	32.7	30.8	31.6	32.1	32.2	② どちらかといえば、当てはまる
R04	32.1	33.5	30.7	33.5	30.2	32.6	30.5	34.0	33.2	36.8	30.9	33.7	
R05	9.9	9.1	8.4	9.8	9.0	11.2	8.3	10.8	8.0	10.7	8.7	10.5	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	8.7	10.7	8.6	9.6	9.5	10.7	9.0	10.7	8.5	11.0	9.0	10.5	
R05	2.2	2.8	1.9	3.0	1.6	2.7	1.4	2.3	1.6	2.4	1.7	2.6	④ 当てはまらない
R04	1.9	2.6	1.9	2.1	1.9	2.7	2.1	1.8	1.7	2.7	1.9	2.4	

Q35 熟睡ができています。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	37.2	38.2	41.6	41.5	42.1	42.7	40.4	40.7	45.1	42.0	41.6	41.5	① 当てはまる
R04	42.3	36.5	43.4	42.2	43.4	43.2	43.3	41.1	45.5	39.9	43.6	41.6	
R05	37.7	37.5	34.0	33.7	35.1	33.2	37.9	34.4	34.0	33.6	35.4	34.0	② どちらかといえば、当てはまる
R04	33.4	36.3	34.3	36.2	33.5	33.1	33.5	34.8	33.3	37.1	33.7	35.0	
R05	19.8	17.8	17.9	16.5	17.9	18.9	16.1	18.9	15.9	18.9	17.5	18.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	17.9	20.6	17.1	17.2	18.1	18.1	17.6	18.6	17.0	17.4	17.6	18.1	
R05	5.2	6.5	4.6	5.6	4.8	5.2	5.4	5.9	4.9	5.2	4.9	5.5	④ 当てはまらない
R04	6.3	6.7	5.0	4.4	4.9	5.5	5.4	5.4	4.2	5.5	5.0	5.3	

Q36 学校生活に充実感や満足感を感じている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	39.5	32.0	43.0	38.5	45.3	38.4	39.4	35.2	44.0	33.1	43.0	36.6	① 当てはまる
R04	37.4	30.6	45.4	36.6	44.4	35.7	41.4	31.6	39.5	29.1	42.8	33.9	
R05	41.5	44.9	39.0	39.6	39.7	41.3	43.6	43.8	42.2	45.9	40.6	42.3	② どちらかといえば、当てはまる
R04	44.8	44.3	40.0	44.6	39.3	41.7	41.4	44.9	42.3	46.7	40.7	43.9	
R05	14.9	16.3	12.1	13.9	11.3	14.8	12.7	14.9	10.1	14.6	11.9	14.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	12.8	18.1	11.0	13.8	12.1	16.5	12.5	17.3	14.4	17.8	12.3	16.3	
R05	4.1	6.7	3.6	5.2	3.7	5.5	4.2	6.1	3.7	6.1	3.8	5.7	④ 当てはまらない
R04	5.0	7.0	3.6	5.0	4.2	6.1	4.6	6.1	3.8	6.2	4.1	5.9	

Q37 友達とよく話をする。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	75.9	73.0	72.4	68.7	75.4	72.1	73.7	72.6	78.0	69.4	74.7	71.0	① 当てはまる
R04	74.0	66.9	73.7	68.7	73.9	70.3	74.7	69.6	73.6	69.5	74.0	69.4	
R05	18.7	21.7	19.4	21.9	19.5	22.1	20.7	21.4	17.2	23.8	19.3	22.1	② どちらかといえば、当てはまる
R04	20.4	25.4	20.2	24.9	19.8	22.5	19.9	24.7	20.9	24.0	20.1	23.9	
R05	3.8	4.7	4.5	4.4	4.0	4.6	4.3	4.4	3.8	4.8	4.1	4.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	4.2	5.8	4.5	5.0	5.0	5.6	3.7	4.5	4.4	4.9	4.5	5.2	
R05	1.5	0.6	1.3	1.8	1.1	1.2	1.2	1.6	0.9	1.7	1.2	1.4	④ 当てはまらない
R04	1.4	1.9	1.4	1.3	1.2	1.5	1.4	1.2	1.0	1.5	1.3	1.4	

Q38 周りの人は、自分の良いところをよく認めてくれていると感じる。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	28.0	30.8	37.9	35.6	38.6	36.8	29.9	34.1	37.4	35.0	35.8	35.2	① 当てはまる
R04	29.0	29.3	36.8	34.4	36.2	35.5	31.8	30.8	35.5	30.8	34.8	33.3	
R05	54.6	50.3	44.5	44.5	45.6	47.0	51.1	46.9	47.8	48.6	47.4	46.9	② どちらかといえば、当てはまる
R04	52.1	49.9	46.2	48.7	47.4	48.1	48.6	49.0	47.6	49.4	47.8	48.7	
R05	12.8	15.3	11.8	12.8	12.1	12.8	14.2	14.3	11.7	12.3	12.4	13.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	14.9	15.5	13.2	13.0	12.4	12.3	14.7	15.6	13.8	15.9	13.4	13.8	
R05	4.6	3.5	3.4	4.0	3.7	3.4	4.7	4.7	3.0	3.9	3.8	3.9	④ 当てはまらない
R04	4.0	5.4	3.6	3.8	3.9	4.0	4.7	4.4	3.0	3.9	3.9	4.1	

Q39 人が困っている時は、進んで助けるようにしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	40.0	38.5	42.9	40.3	46.2	43.4	41.8	45.8	41.7	41.7	43.4	42.4	① 当てはまる
R04	42.7	37.2	45.4	41.3	46.2	42.8	46.6	40.2	44.9	39.9	45.6	41.1	
R05	49.0	50.2	46.1	46.0	44.7	45.5	50.1	43.8	48.1	46.3	46.8	45.9	② どちらかといえば、当てはまる
R04	46.7	51.7	44.1	48.4	44.1	47.0	44.4	48.5	45.0	49.3	44.5	48.3	
R05	9.5	9.0	7.0	9.0	7.7	9.4	6.8	8.8	8.1	10.0	7.6	9.3	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	8.3	9.4	9.2	9.1	8.4	8.6	7.4	10.1	8.7	9.1	8.5	9.1	
R05	1.4	2.1	1.6	1.7	1.2	1.6	1.2	1.5	2.1	1.6	1.4	1.7	④ 当てはまらない
R04	2.1	1.7	1.1	1.2	1.2	1.6	1.4	1.1	1.4	1.5	1.3	1.4	

Q40 新聞やテレビのニュースなどに関心がある。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	16.8	15.5	22.4	22.9	21.8	23.1	18.1	18.6	16.3	20.2	20.1	21.2	① 当てはまる
R04	16.0	18.0	23.1	24.8	22.6	22.2	16.9	19.7	18.9	17.9	20.7	21.5	
R05	36.9	35.5	37.3	36.9	39.5	37.6	41.7	41.1	39.7	37.7	39.1	37.9	② どちらかといえば、当てはまる
R04	37.1	38.1	40.4	39.8	41.2	40.6	41.6	39.9	42.0	41.3	40.8	40.1	
R05	32.5	33.7	27.9	26.3	27.8	27.1	28.5	27.2	31.5	28.5	28.9	27.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	33.6	31.7	26.2	26.3	25.8	27.0	29.3	28.1	28.3	28.7	27.5	27.6	
R05	13.7	15.2	10.3	10.8	10.9	12.2	11.6	13.1	12.4	13.3	11.3	12.4	④ 当てはまらない
R04	13.4	12.2	10.1	9.1	10.4	10.1	12.0	12.1	10.9	12.0	10.9	10.6	

Q41 心配なことがあり、学校生活に集中できない。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	4.3	5.3	5.0	5.4	4.6	4.8	4.5	5.1	4.8	5.2	4.7	5.1	① 当てはまる
R04	5.0	5.3	4.9	5.2	4.5	4.9	4.0	5.1	4.5	5.7	4.5	5.1	
R05	14.6	15.4	12.3	13.6	13.6	15.7	12.4	12.7	12.4	14.3	13.0	14.4	② どちらかといえば、当てはまる
R04	11.9	13.9	12.6	13.9	12.8	13.4	11.4	13.6	13.7	15.5	12.5	13.9	
R05	35.6	33.5	31.5	34.6	33.1	35.2	33.4	30.9	34.5	36.6	33.2	34.3	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	35.0	32.9	34.3	36.8	34.9	36.7	29.3	34.3	36.1	36.7	34.0	36.0	
R05	45.3	45.7	48.8	43.2	48.6	44.3	49.5	51.1	48.2	43.6	48.4	45.2	④ 当てはまらない
R04	48.0	47.9	48.1	44.1	47.8	45.0	55.0	46.9	45.7	42.0	48.8	44.9	

Q42 つまらなく過ごすことが多い。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	9.7	11.7	7.0	9.1	7.1	9.7	8.3	10.4	8.4	9.9	7.7	9.8	① 当てはまる
R04	10.7	11.9	7.5	9.0	7.1	10.0	8.5	9.5	8.2	11.4	7.9	10.0	
R05	19.7	22.7	16.4	18.7	16.6	20.7	18.9	18.7	19.0	22.0	17.6	20.2	② どちらかといえば、当てはまる
R04	16.8	22.6	15.6	21.6	18.6	20.5	16.9	22.1	19.3	21.9	17.5	21.4	
R05	36.5	38.7	35.3	36.6	37.4	37.2	35.8	34.9	34.5	38.0	36.1	36.9	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	39.4	37.6	37.1	37.4	35.5	37.8	31.7	35.5	38.0	39.1	35.9	37.5	
R05	33.9	26.7	38.8	32.4	38.9	32.4	36.9	35.8	38.0	29.8	37.9	32.1	④ 当てはまらない
R04	32.9	27.9	39.8	32.0	38.8	31.6	42.8	32.7	34.6	27.6	38.6	31.0	

Q43 感情の起伏を抑えられないことがある。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	6.8	7.5	6.3	8.0	6.6	8.0	5.3	7.2	6.8	7.7	6.4	7.8	① 当てはまる
R04	6.2	8.2	5.5	6.4	6.0	6.2	5.8	6.5	5.9	7.1	5.8	6.6	
R05	16.2	18.9	14.2	16.7	15.9	17.7	14.1	16.1	14.0	18.5	14.9	17.4	② どちらかといえば、当てはまる
R04	14.9	16.3	14.3	16.3	14.2	16.4	12.6	14.8	15.9	18.3	14.2	16.3	
R05	33.7	32.7	29.6	28.5	30.5	29.7	30.2	28.7	30.3	31.0	30.5	29.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	32.9	30.9	31.4	31.8	29.7	30.4	27.6	30.8	30.2	30.0	30.2	30.8	
R05	43.0	40.9	47.2	43.5	46.9	44.6	50.3	47.9	48.8	42.4	47.4	44.3	④ 当てはまらない
R04	46.0	44.6	48.5	45.4	50.1	47.0	53.6	47.5	48.0	44.4	49.6	46.1	

Q44 一度始めたことは最後までやり遂げるようにしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	27.7	29.3	31.1	30.0	32.3	31.0	32.6	34.0	31.5	32.2	31.5	31.3	① 当てはまる
R04	30.3	32.0	33.2	30.3	33.4	30.3	35.3	32.7	31.5	29.0	33.1	30.7	
R05	52.9	53.6	50.1	50.0	50.6	49.4	52.3	49.1	51.8	49.3	51.1	49.9	② どちらかといえば、当てはまる
R04	54.5	49.8	50.2	51.9	49.3	51.9	49.7	50.6	50.1	52.9	50.2	51.6	
R05	16.8	14.3	14.5	14.5	14.3	16.6	13.2	13.5	14.0	14.9	14.4	15.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	13.1	15.5	14.5	15.4	15.0	14.9	12.3	14.1	15.5	15.3	14.3	15.0	
R05	2.5	2.3	2.2	2.6	2.6	2.8	1.6	2.9	2.6	2.9	2.3	2.7	④ 当てはまらない
R04	1.8	2.6	1.7	2.1	2.0	2.8	2.2	2.1	2.8	2.4	2.1	2.4	

Q45 難しいことでも挑戦することが多い。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	15.9	16.9	19.6	18.6	19.9	19.7	18.5	18.4	18.4	18.1	19.0	18.7	① 当てはまる
R04	17.5	15.3	20.7	18.5	20.8	18.9	19.8	17.9	18.8	14.6	20.0	17.8	
R05	45.3	41.1	42.0	41.1	42.8	40.2	44.8	42.9	42.7	41.1	43.2	41.1	② どちらかといえば、当てはまる
R04	42.3	40.2	42.6	41.3	42.2	39.9	42.4	41.7	43.8	41.2	42.6	40.8	
R05	33.7	34.4	31.2	31.8	31.7	33.3	32.3	32.3	33.5	33.4	32.1	32.9	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	35.7	37.1	31.8	35.0	32.2	35.0	31.8	34.6	31.8	37.8	32.3	35.5	
R05	5.0	7.2	4.9	5.1	5.2	6.5	4.1	6.0	5.1	6.5	4.9	6.1	④ 当てはまらない
R04	4.3	7.2	4.5	4.9	4.6	6.0	5.6	5.3	5.4	6.1	4.8	5.7	

Q46 人の役に立つ人間になりたいと思っている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	58.3	57.0	60.2	57.9	63.8	58.7	59.2	57.4	58.4	56.0	60.9	57.8	① 当てはまる
R04	57.8	55.0	63.6	57.6	63.6	59.6	61.6	57.7	60.2	56.1	62.3	57.9	
R05	32.8	33.4	29.4	29.1	28.4	31.2	33.3	34.0	34.2	32.4	30.7	31.5	② どちらかといえば、当てはまる
R04	34.0	34.6	28.3	33.2	28.4	30.8	30.7	31.9	31.4	34.5	29.7	32.4	
R05	6.3	6.2	5.1	6.5	5.4	6.8	5.4	6.1	5.6	7.6	5.4	6.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	6.2	7.4	5.7	6.6	5.7	6.7	5.1	7.5	5.6	7.1	5.6	6.9	
R05	2.2	3.0	2.1	2.8	2.1	2.9	1.7	2.0	1.6	3.1	2.0	2.8	④ 当てはまらない
R04	1.9	2.8	1.9	2.4	2.0	2.7	2.2	2.3	2.6	2.0	2.1	2.5	

Q47 勉強と部活動の両立を目指している。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	43.1	40.7	54.3	48.3	55.4	47.4	52.4	42.6	47.7	38.9	52.4	45.1	① 当てはまる
R04	48.1	41.5	50.5	48.5	55.6	47.5	51.4	42.7	47.3	37.5	53.3	45.1	
R05	28.9	31.1	29.1	27.9	27.5	28.2	30.3	32.2	29.7	27.4	28.8	28.9	② どちらかといえば、当てはまる
R04	31.7	32.6	27.9	29.4	28.1	28.2	31.5	32.7	29.9	31.6	29.2	30.1	
R05	12.4	13.9	9.0	10.0	9.1	10.8	11.0	13.5	13.2	15.9	10.3	12.0	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	11.3	14.3	9.0	11.1	8.2	10.6	10.3	14.1	12.8	14.5	9.7	12.1	
R05	14.4	14.1	5.9	11.7	7.6	13.5	6.0	11.6	9.4	17.0	7.8	13.3	④ 当てはまらない
R04	8.7	11.6	6.5	10.9	7.9	13.7	6.4	10.3	9.9	16.0	7.6	12.5	

Q48 部活動に集中できている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	47.4	43.2	53.5	46.8	55.0	45.1	54.3	43.9	52.2	41.0	53.4	44.6	① 当てはまる
R04	51.8	41.9	54.5	45.6	53.3	44.7	53.7	41.6	48.7	37.8	52.9	43.2	
R05	27.7	30.9	28.5	28.1	27.8	29.5	31.1	31.5	30.0	28.7	28.8	29.5	② どちらかといえば、当てはまる
R04	30.6	32.9	29.0	30.5	28.5	29.9	31.1	34.2	30.3	30.9	29.5	31.2	
R05	9.1	11.8	9.6	10.2	9.3	11.8	8.3	12.4	9.1	12.6	9.1	11.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	8.2	13.1	9.8	13.2	9.6	10.8	8.7	13.5	10.6	13.7	9.5	12.4	
R05	14.6	13.9	5.9	12.1	7.7	13.5	6.0	12.1	8.6	16.9	7.7	13.4	④ 当てはまらない
R04	9.3	12.1	6.5	10.6	8.2	14.4	6.1	10.4	10.4	17.1	7.8	13.0	

Q49 自分の個性や適性が分かっている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	30.8	25.8	35.5	31.9	32.8	31.7	29.9	28.2	31.5	28.7	32.7	30.2	① 当てはまる
R04	28.3	25.8	33.1	29.0	32.5	30.2	29.3	27.8	30.2	27.3	31.4	28.7	
R05	43.6	43.0	39.4	40.4	41.0	41.2	43.4	42.6	43.5	41.9	41.5	41.5	② どちらかといえば、当てはまる
R04	39.8	41.8	41.8	43.3	40.8	41.1	41.9	42.4	41.5	42.1	41.3	42.1	
R05	19.6	24.4	17.8	19.0	20.5	20.0	20.3	21.8	19.4	21.6	19.6	20.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	24.5	23.8	19.1	21.2	19.9	21.9	21.2	22.1	22.3	23.2	20.6	22.1	
R05	5.8	6.6	4.9	5.9	5.6	7.1	6.2	7.2	5.5	7.0	5.5	6.8	④ 当てはまらない
R04	7.2	8.5	5.9	6.5	6.6	6.7	7.2	7.5	5.9	7.2	6.5	7.0	

Q50 自分の個性や適性が、学校や社会でどのように活かせるかをイメージできている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	12.2	12.1	15.4	14.6	16.0	15.5	12.5	14.0	14.2	13.8	14.7	14.5	① 当てはまる
R04	11.7	10.0	15.6	13.3	15.1	14.0	12.3	12.9	12.5	10.7	14.1	12.9	
R05	30.2	27.5	28.7	28.4	28.2	28.8	27.5	28.1	27.4	28.1	28.3	28.3	② どちらかといえば、当てはまる
R04	26.7	26.4	29.1	30.4	27.6	27.1	28.5	29.1	26.9	27.3	28.0	28.2	
R05	42.0	42.1	38.5	36.9	39.3	38.8	42.9	39.8	42.2	38.6	40.3	38.8	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	41.7	42.8	38.5	40.4	40.8	41.4	41.4	41.5	43.0	43.7	40.7	41.6	
R05	15.4	18.1	14.8	16.5	16.5	16.9	16.8	17.9	16.1	18.6	15.9	17.3	④ 当てはまらない
R04	19.7	20.8	16.6	15.9	16.3	17.4	17.4	16.3	17.5	18.1	17.0	17.2	

Q51 自分の長所を伸ばそうとしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	36.8	34.7	39.9	36.4	41.8	37.2	37.4	39.4	38.0	37.6	39.6	37.2	① 当てはまる
R04	36.2	30.9	39.3	34.2	39.7	34.7	38.5	37.2	41.0	32.4	39.2	34.3	
R05	42.0	39.7	38.2	36.9	39.7	40.0	42.9	38.6	42.7	40.1	40.5	39.0	② どちらかといえば、当てはまる
R04	41.2	43.8	39.4	43.4	39.8	41.7	39.7	39.3	39.2	42.9	39.7	42.1	
R05	15.8	20.1	14.6	17.4	14.3	16.9	15.0	16.5	15.1	16.8	14.7	17.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	16.8	18.7	16.0	17.7	15.8	18.2	15.8	18.5	15.8	20.0	15.9	18.4	
R05	5.1	5.2	4.7	5.6	4.0	5.8	4.4	5.3	4.0	4.7	4.3	5.5	④ 当てはまらない
R04	5.6	6.6	5.1	4.7	4.7	5.3	5.5	4.8	4.0	4.6	4.9	5.1	

Q52 相手の言葉や意見に耳を傾けるようにしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	60.2	55.1	62.1	57.6	64.4	61.5	61.2	61.7	61.3	57.0	62.5	59.4	① 当てはまる
R04	60.3	52.6	62.2	59.4	64.4	59.9	62.5	58.2	59.9	55.0	62.5	58.2	
R05	35.9	40.6	32.2	35.1	32.7	35.1	36.1	35.2	35.4	39.4	33.8	36.2	② どちらかといえば、当てはまる
R04	36.6	43.3	34.7	37.7	32.9	36.8	34.7	38.7	36.9	41.1	34.6	38.5	
R05	3.1	3.0	2.4	2.9	2.3	2.6	2.0	2.4	2.7	2.1	2.4	2.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	2.3	3.3	2.5	2.3	2.1	2.7	1.9	2.2	2.6	3.1	2.3	2.6	
R05	0.7	0.9	0.3	0.5	0.4	0.7	0.5	0.5	0.4	0.7	0.4	0.6	④ 当てはまらない
R04	0.6	0.8	0.4	0.5	0.4	0.5	0.3	0.7	0.5	0.6	0.4	0.6	

Q53 自分の考えを相手に的確に伝えている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	22.1	23.1	27.1	25.3	28.5	28.3	23.6	27.5	25.7	22.4	26.3	26.1	① 当てはまる
R04	22.5	23.1	27.0	25.6	26.9	25.9	26.5	25.1	23.3	21.6	26.1	24.8	
R05	51.2	45.9	48.0	46.7	49.1	47.7	52.3	47.6	49.5	49.4	49.6	47.5	② どちらかといえば、当てはまる
R04	49.6	47.3	49.4	49.2	49.8	48.0	50.4	47.7	50.6	50.0	49.9	48.5	
R05	22.1	25.8	19.6	21.2	19.4	20.4	20.9	20.2	21.4	22.7	20.2	21.4	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	23.3	23.3	19.8	22.2	20.1	22.3	18.8	23.8	22.3	24.1	20.4	22.9	
R05	4.2	5.0	2.4	3.1	2.9	3.5	3.1	4.5	3.2	4.7	3.0	3.9	④ 当てはまらない
R04	4.4	6.3	3.0	2.9	3.1	3.7	3.9	3.2	3.8	4.2	3.4	3.7	

Q54 校則や公共のルール・マナーを守っている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	60.6	57.0	64.3	58.2	67.6	64.3	66.4	60.5	66.1	55.4	65.7	60.3	① 当てはまる
R04	60.7	57.0	65.7	63.1	68.5	63.2	67.8	57.4	63.7	57.9	66.3	61.0	
R05	34.7	36.9	29.9	33.3	29.6	31.4	30.2	34.7	30.0	36.5	30.3	33.7	② どちらかといえば、当てはまる
R04	35.0	37.0	30.8	33.3	28.9	32.7	29.3	36.8	31.9	36.4	30.4	34.4	
R05	4.1	4.3	2.4	3.5	2.2	3.1	2.8	3.5	3.1	5.4	2.6	3.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	3.8	4.7	2.8	2.8	2.2	3.3	1.9	4.3	3.6	4.6	2.6	3.6	
R05	0.4	1.3	0.5	1.1	0.4	1.0	0.5	1.1	0.6	1.9	0.5	1.2	④ 当てはまらない
R04	0.4	1.2	0.6	0.7	0.4	0.7	0.5	1.3	0.8	1.0	0.5	0.9	

Q55 働くことの意義を理解している。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	38.1	35.0	42.5	44.7	44.1	44.6	38.9	41.8	42.4	40.2	42.0	42.7	① 当てはまる
R04	36.7	39.0	44.9	43.0	44.6	44.3	40.9	40.8	39.9	37.0	42.7	41.9	
R05	47.5	47.3	41.6	40.0	41.4	41.2	46.7	44.3	43.8	43.7	43.2	42.3	② どちらかといえば、当てはまる
R04	48.8	45.0	41.8	43.2	41.1	41.0	45.7	45.2	45.8	47.4	43.4	43.5	
R05	11.7	14.2	10.8	9.4	12.1	10.8	12.2	11.2	11.2	12.2	11.6	11.0	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	11.6	12.5	11.1	11.2	11.8	11.2	11.3	11.7	11.5	13.3	11.5	11.7	
R05	2.6	3.2	2.5	2.6	2.3	3.2	1.8	2.5	2.4	3.2	2.3	2.9	④ 当てはまらない
R04	2.8	3.4	2.1	2.6	2.4	3.3	1.7	2.1	2.7	2.2	2.3	2.8	

Q56 インターンシップ（職業体験）をしたいと考えている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	32.7	36.0	36.3	35.0	37.7	33.6	36.2	38.8	30.4	34.6	35.6	35.2	① 当てはまる
R04	35.5	31.6	37.6	33.9	37.4	30.1	38.3	36.1	35.6	32.8	37.2	32.6	
R05	39.0	37.4	35.3	32.0	36.8	34.0	39.9	37.1	40.0	36.4	37.6	34.6	② どちらかといえば、当てはまる
R04	39.6	39.4	37.4	34.0	37.7	35.1	39.6	37.6	40.9	35.3	38.6	35.7	
R05	22.8	19.1	19.2	20.0	19.1	22.1	18.8	18.3	22.2	19.5	19.8	20.3	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	19.3	19.5	18.6	22.2	18.7	24.9	16.5	19.3	17.4	23.2	18.2	22.6	
R05	5.3	7.3	6.3	9.6	6.2	10.2	4.9	5.7	7.3	8.7	6.1	8.8	④ 当てはまらない
R04	5.3	9.4	6.2	9.7	6.1	9.8	5.2	6.7	6.1	8.5	5.9	9.0	

Q57 自分の役割に責任を持って行動している。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	42.1	41.2	44.5	44.2	46.5	44.3	44.8	45.7	42.4	41.4	44.8	43.8	① 当てはまる
R04	42.3	39.7	47.1	44.6	47.7	44.3	48.4	42.9	44.4	39.3	46.7	43.1	
R05	48.2	48.9	44.3	43.0	45.2	45.4	47.7	44.6	48.1	46.3	46.1	45.1	② どちらかといえば、当てはまる
R04	49.1	49.1	44.4	46.5	43.7	45.6	42.8	47.6	46.6	51.4	44.6	47.3	
R05	8.1	8.2	7.1	7.6	7.0	8.6	6.2	7.4	8.1	9.6	7.1	8.3	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	7.6	9.1	7.0	7.2	7.4	8.1	7.0	7.9	7.6	7.5	7.3	7.8	
R05	1.4	1.3	1.1	1.6	1.1	1.6	1.1	2.0	1.2	2.0	1.2	1.7	④ 当てはまらない
R04	0.8	1.9	1.3	1.8	1.1	1.8	1.3	1.3	1.3	1.5	1.2	1.7	

Q58 クラスや学校の行事等に積極的に取り組んでいる。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	43.7	41.3	45.8	43.5	47.7	46.4	46.1	45.3	46.0	44.0	46.3	44.7	① 当てはまる
R04	46.8	39.4	46.8	42.9	46.7	41.5	46.6	40.8	47.3	41.3	46.8	41.5	
R05	39.8	42.2	37.5	36.3	38.3	36.5	39.3	38.1	40.3	37.7	38.7	37.4	② どちらかといえば、当てはまる
R04	39.1	40.8	38.2	39.4	37.8	40.0	39.7	41.8	39.0	40.5	38.5	40.3	
R05	12.8	12.3	11.1	12.3	11.3	13.3	12.2	12.3	11.6	12.9	11.6	12.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	11.6	15.4	12.3	13.9	12.4	14.0	11.3	13.9	11.2	14.4	11.9	14.1	
R05	3.6	3.8	2.4	4.0	2.6	3.6	2.2	4.0	1.9	4.7	2.5	3.9	④ 当てはまらない
R04	2.3	4.3	2.6	3.8	3.0	4.4	2.0	3.2	2.3	3.6	2.6	3.9	

Q59 ボランティア活動に進んで参加している（参加したいと思っている）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	11.4	14.4	17.0	17.6	19.3	19.6	17.7	24.7	14.1	17.5	17.0	19.2	① 当てはまる
R04	12.7	15.9	19.5	17.6	18.5	16.9	20.7	23.3	16.9	17.4	18.4	18.1	
R05	34.3	29.1	33.1	30.8	34.3	32.5	38.6	31.9	32.9	31.0	34.5	31.5	② どちらかといえば、当てはまる
R04	35.5	28.7	33.8	31.8	35.9	31.2	36.7	33.6	36.7	30.8	35.6	31.5	
R05	35.7	35.9	32.5	29.0	31.6	29.2	30.6	26.0	35.7	32.7	32.6	29.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	35.1	33.9	31.7	32.9	30.3	32.4	29.4	28.0	33.6	31.8	31.4	31.9	
R05	18.4	20.2	14.4	18.5	14.6	18.6	12.8	17.1	17.2	18.1	15.0	18.4	④ 当てはまらない
R04	16.4	21.4	14.8	17.6	15.1	19.3	12.9	14.8	12.8	19.8	14.5	18.4	

Q60 地域の行事に進んで参加している（参加したいと思っている）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R05	11.0	12.9	16.6	15.3	17.4	16.1	15.8	18.6	13.9	13.3	15.8	15.7	① 当てはまる
R04	13.0	12.3	17.5	14.1	16.4	14.4	18.5	17.7	16.3	13.5	16.7	14.6	
R05	33.7	28.7	33.5	29.9	33.6	31.6	36.6	31.2	33.0	31.6	34.0	30.8	② どちらかといえば、当てはまる
R04	32.7	28.3	33.9	31.5	34.6	29.8	34.0	33.1	35.9	29.1	34.3	30.6	
R05	33.4	35.7	30.4	29.7	31.4	31.0	32.2	29.5	34.8	32.4	31.9	31.0	③ どちらかといえば、当てはまらない
R04	34.5	34.1	31.0	33.0	30.9	33.9	30.8	30.2	33.3	34.9	31.5	33.2	
R05	21.7	22.1	16.5	21.1	17.5	21.1	15.2	20.5	18.0	22.0	17.3	21.2	④ 当てはまらない
R04	19.7	25.1	17.3	21.2	18.0	21.7	16.3	18.7	14.5	22.1	17.2	21.4	

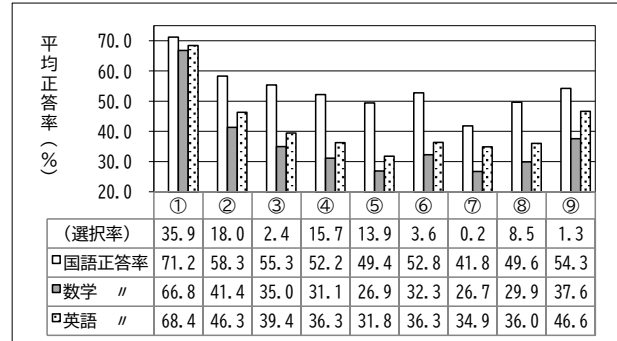
## VI 学習状況に関する調査の回答 と 学力状況に関する調査の共通問題正答率 の関係

※ 質問紙調査各設問（Q1～31）について、回答（マークした選択肢）群ごとに学力状況調査（教科に関する調査）共通問題の正答率をみたもの。ただし、無回答・マークミス群については、表示を省略している。

**Q1 高校卒業後、進みたいと考えている進路のうち、現在、最も強く希望しているものはどれですか。**

<選択肢>

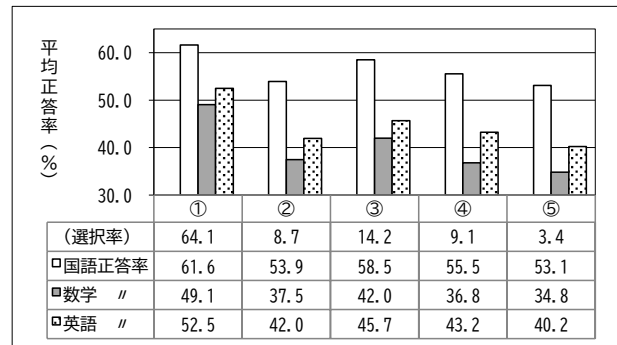
- ① 4年制国立大学
- ② 4年制私立大学
- ③ 短期大学
- ④ 専修学校（専門学校等）・各種学校
- ⑤ 民間就職
- ⑥ 公務員就職
- ⑦ 家業
- ⑧ 未定
- ⑨ その他



**Q2 自分の進路希望の達成について、どのように考えていますか。**

<選択肢>

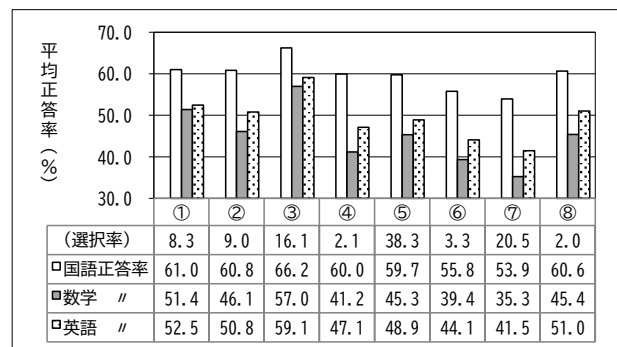
- ① 卒業までに達成しようと思っている
- ② 達成するまで、卒業後1、2年かかってかまわないと思っている
- ③ 達成が困難な場合、卒業までに他の進路に変えてもいいと思っている
- ④ 何とかなるだろうと思っている
- ⑤ あまり考えないようにしている



**Q3 普段どんな気持ちで勉強していますか。**

<選択肢>

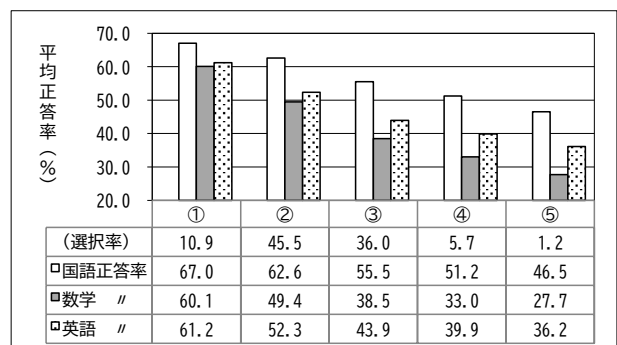
- ① わからないことでも自分の力で答えを見つけられるようになりたい
- ② 多くのことを知り、社会に出て役立つ力を身につけたい
- ③ 入学試験や就職試験に備えたい
- ④ 親や先生にほめられたい
- ⑤ 成績を上げたい
- ⑥ 先生や家族に言われているから勉強している
- ⑦ 特に考えていない
- ⑧ その他



**Q4 授業の内容がどの程度理解できますか。**

<選択肢>

- ① ほとんどの授業がよく理解できる
- ② 理解できる授業の方が多い
- ③ 理解できる授業と理解できない授業が半分くらいずつある
- ④ 理解できない授業の方が多い
- ⑤ ほとんどの授業が理解できない

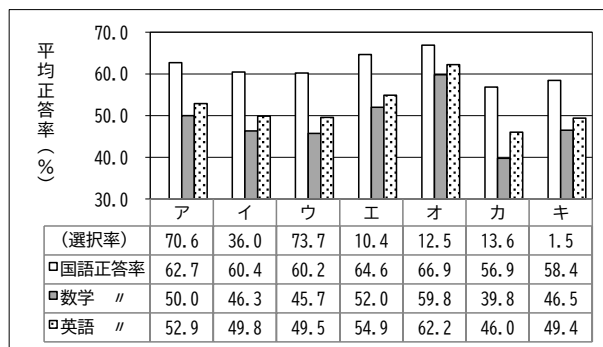




Q5 授業でわからないことがあったら、どうすることが多いですか。(該当するものをすべて選んでください。)

<選択肢>

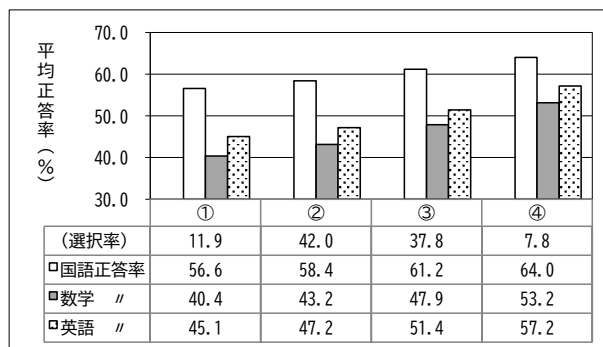
- ア 自分で調べる
- イ 学校の先生に質問する
- ウ 友達に聞く
- エ 家族に聞く
- オ 塾・予備校や家庭教師の先生に質問する
- カ そのままにしておく
- キ その他



Q6 授業のはじめに学習の目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが行われたりしていますか。

<選択肢>

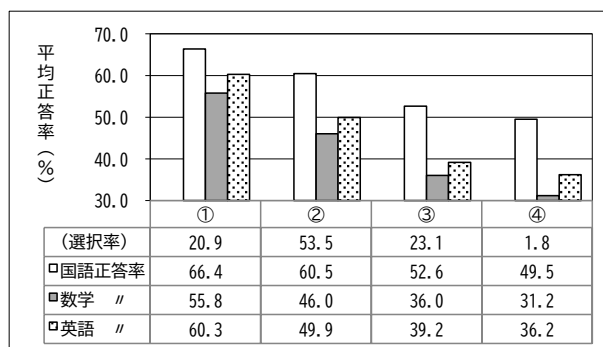
- ① ほとんどの授業で行われている
- ② 多くの授業で行われている
- ③ 行われている授業は少ない
- ④ 行われている授業はほとんどない



Q7 授業の中で、自分の考えを発表したり、考えたことをペアや小グループで話し合ったりする時間がありますか。

<選択肢>

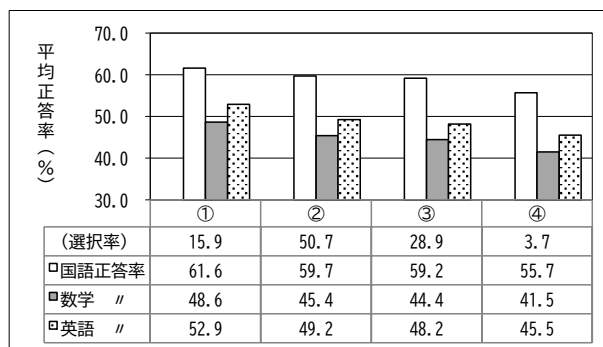
- ① ほとんどの授業でそのような時間がある
- ② 多くの授業でそのような時間がある
- ③ そのような時間がある授業は少ない
- ④ そのような時間がある授業はほとんどない



Q8 授業の中で、あなたが課題を見つけたり、解決したりする時間がありますか。

<選択肢>

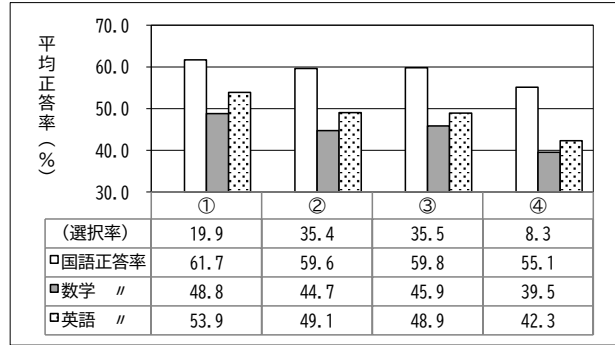
- ① ほとんどの授業でそのような時間がある
- ② 多くの授業でそのような時間がある
- ③ そのような時間がある授業は少ない
- ④ そのような時間がある授業はほとんどない



**Q 9 授業の中で、生徒がタブレットやパソコンなどのICT機器を使用していますか。**

<選択肢>

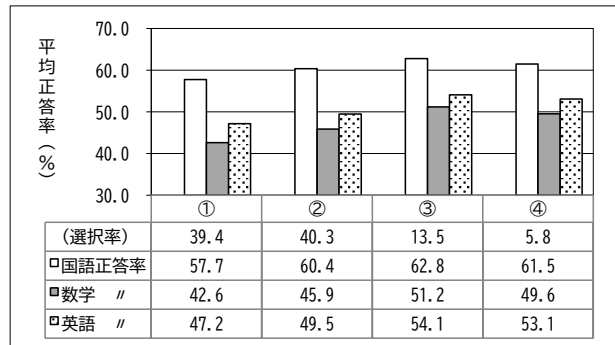
- ① ほとんどの授業で使用している
- ② 多くの授業で使用している
- ③ 使用している授業は少ない
- ④ 使用している授業はほとんどない



**Q 10 授業でもっとタブレットやパソコンなどのICT機器を活用したいと思いますか。**

<選択肢>

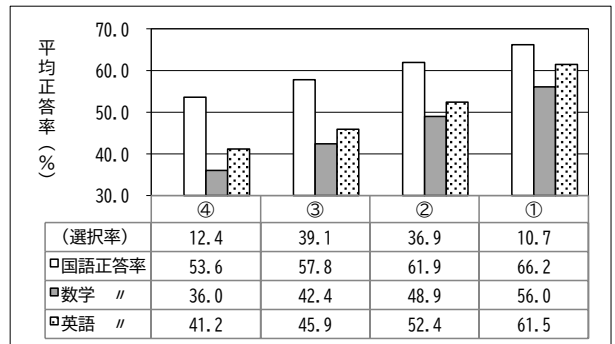
- ① 活用したいと思う
- ② どちらかといえば、活用したいと思う
- ③ どちらかといえば、活用したいと思わない
- ④ 活用したいと思わない



**Q 11 学校からどのくらいの割合で宿題・課題が出されていますか。**

<選択肢>

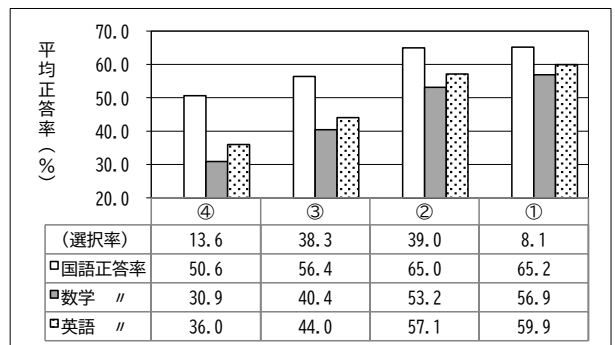
- ① ほとんど毎日出ている
- ② 週に2~3回出ている
- ③ 週に1回くらい出ている
- ④ ほとんど出していない



**Q 12 学校ではどのくらいの割合でテスト（小テストや確認テストを含む。）がありますか。**

<選択肢>

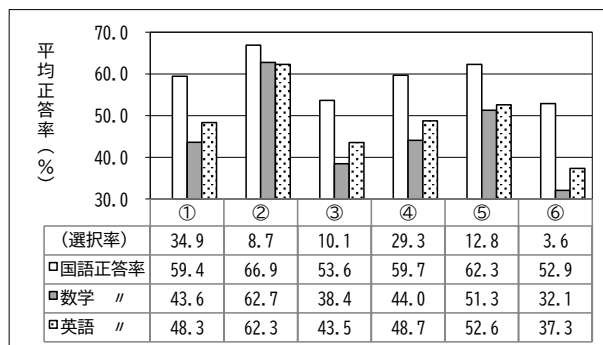
- ① ほとんど毎日ある
- ② 週に2~3回ある
- ③ 週に1回くらいある
- ④ ほとんどない



Q13 あなたが受けたい授業はどんな授業ですか。

<選択肢>

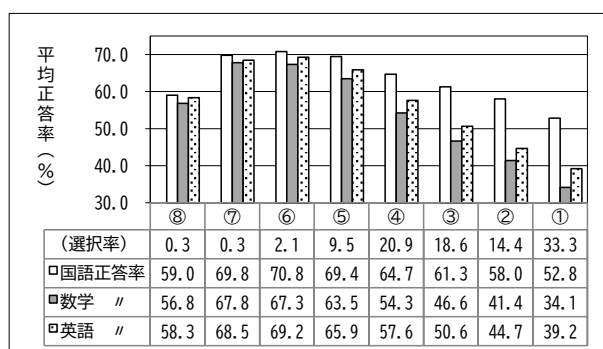
- ① 基礎・基本からじっくりわかるまで教えてくれる授業
- ② 発展的な内容まで教えてくれる授業
- ③ ペアやグループで自分の考えを発表したり、話し合ったりする授業
- ④ 興味や関心がもてるような授業
- ⑤ 進路希望達成につながる授業
- ⑥ 資格取得につながる授業



Q14 平日（テスト期間や長期休業中などを除く、通常の月曜日から金曜日）、学校の授業時間以外に1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

<選択肢>

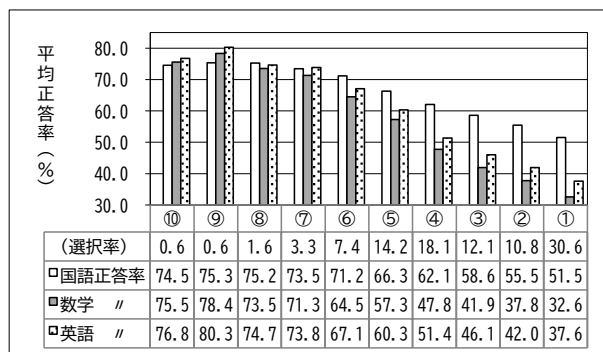
- ① 全く、またはほとんどしない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～
- ④ 1時間～
- ⑤ 2時間～
- ⑥ 3時間～
- ⑦ 4時間～
- ⑧ 5時間以上



Q15 休日に、1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

<選択肢>

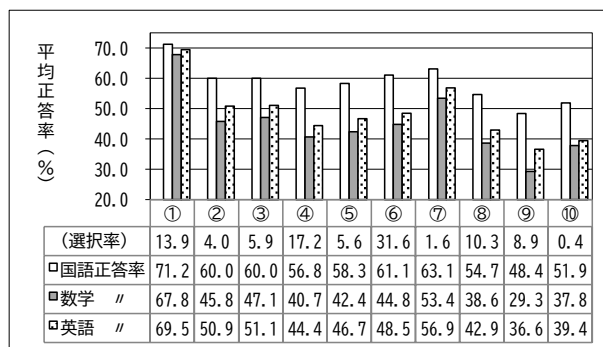
- ① 全く、またはほとんどしない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～
- ④ 1時間～
- ⑤ 2時間～
- ⑥ 3時間～
- ⑦ 4時間～
- ⑧ 5時間～
- ⑨ 6時間～
- ⑩ 7時間以上



Q16 家庭学習の仕方に、最も近いものはどれですか。

<選択肢>

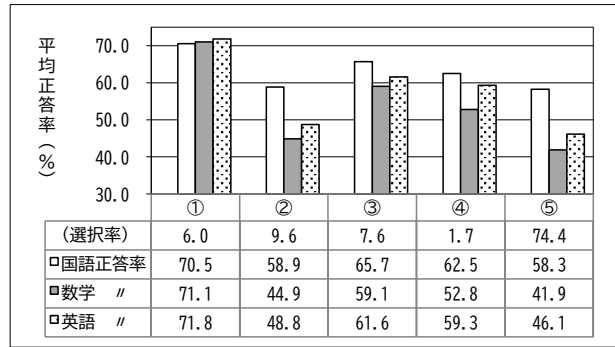
- ① ほぼ毎日している
- ② 主に平日にしている
- ③ 主に休日にしている
- ④ 主に定期考査前にしている
- ⑤ 主に宿題・課題のあるときにしている
- ⑥ 主に宿題・課題があるときと定期考査前にしている
- ⑦ 主に塾・予備校のあるときや家庭教師の先生が来るときにしている
- ⑧ 気が向いたときにしている
- ⑨ 家庭学習はほとんどしない
- ⑩ その他



Q17 学習塾等（家庭教師の先生に教わっている場合も含む。）で、どのように勉強していますか。

<選択肢>

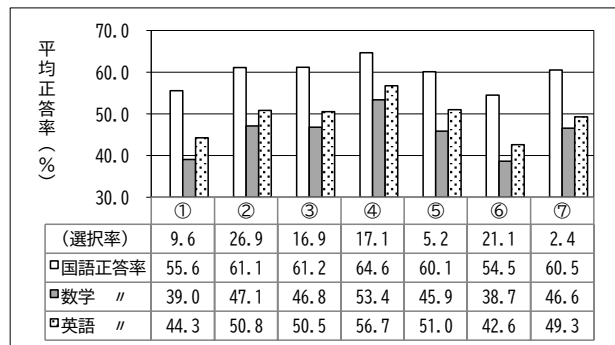
- ① 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している
- ② 学校の勉強でよくわからなかった内容を勉強している
- ③ 上記①、②の両方の内容を勉強している
- ④ 上記①、②の内容のどちらともいえない
- ⑤ 学習塾等に通っていない



Q18 家庭学習をする上で悩んでいることはありますか。

<選択肢>

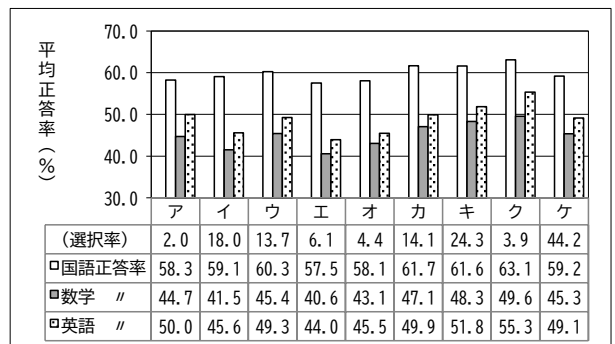
- ① 家庭学習の方法が分からない
- ② 家庭学習に集中できない
- ③ 学習の計画を立てても長続きしない
- ④ 家庭学習と部活動の両立が難しい
- ⑤ 家庭学習を一生懸命やっても成績が伸びない
- ⑥ 特に悩みはない
- ⑦ その他



Q19 自宅でICT機器やオンラインを用いた学習を実施する（した）場合に、自分にとって不都合なこと（不都合だったこと）は何ですか。（該当するものをすべて選んでください。）

<選択肢>

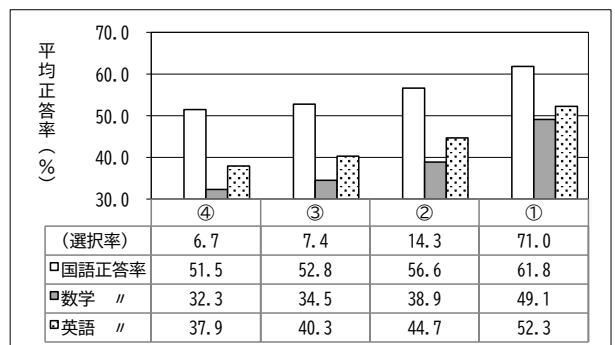
- ア パソコンやタブレット、スマホなどの機器がない（使用できない）
- イ 課題を印刷する機器がない（印刷できない）
- ウ 通信速度が遅い
- エ 通信料金が高額になる
- オ セキュリティが心配
- カ 操作の方法がわからない
- キ 集中できない、やる気が起きない
- ク その他
- ケ 不都合なことはない



Q20 学校に行く前に朝食をとりますか。

<選択肢>

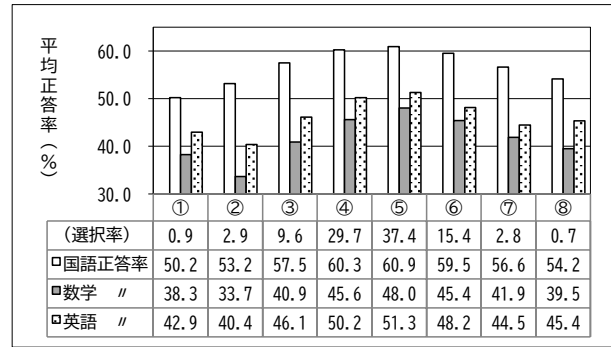
- ① 必ずとる
- ② たいていとる
- ③ とらないことが多い
- ④ 全く、またはほとんどとらない



**Q21 平日の睡眠時間は1日当たり、どのくらいですか。**

<選択肢>

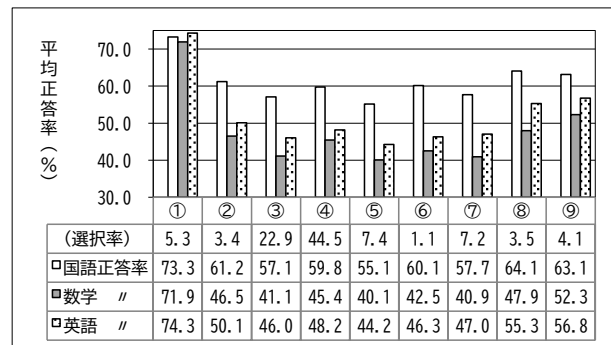
- ① 3時間より少ない
- ② 3時間～4時間未満
- ③ 4時間～5時間未満
- ④ 5時間～6時間未満
- ⑤ 6時間～7時間未満
- ⑥ 7時間～8時間未満
- ⑦ 8時間～9時間未満
- ⑧ 9時間以上



**Q22 平日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。**

<選択肢>

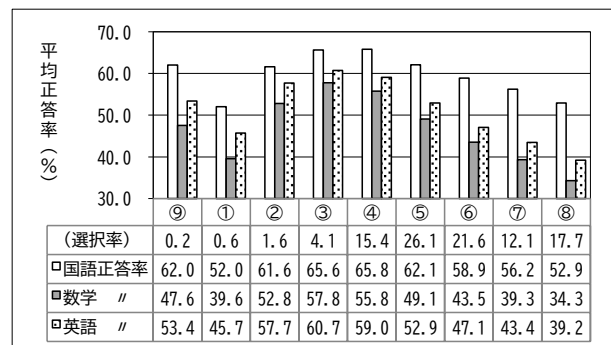
- ① 家庭学習
- ② テレビ(録画を含む)やDVD等
- ③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、SNS等
- ④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
- ⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
- ⑥ 読書
- ⑦ 自分の趣味(①～⑥を除く)
- ⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
- ⑨ その他



**Q23 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は1日当たりどのくらいですか。**

<選択肢>

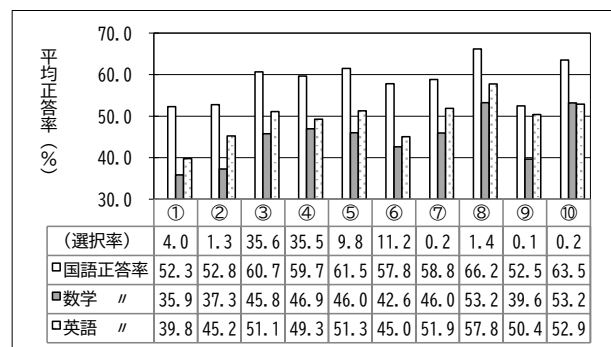
- ① 全く使わない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～1時間未満
- ④ 1時間～2時間未満
- ⑤ 2時間～3時間未満
- ⑥ 3時間～4時間未満
- ⑦ 4時間～5時間未満
- ⑧ 5時間以上
- ⑨ スマートフォンや携帯電話を持っていない



**Q24 平日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。**

<選択肢>

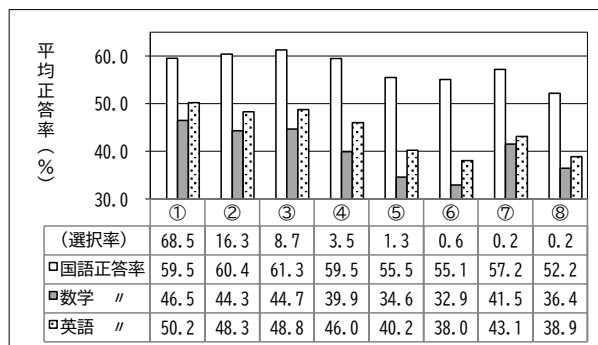
- ① 相手との通話
- ② メール
- ③ SNS(LINE、ツイッター、インスタグラム等)
- ④ 動画サイト
- ⑤ 音楽サイトや音楽プレイヤー
- ⑥ オンラインゲーム
- ⑦ ブログや掲示板
- ⑧ 情報・ニュース等の検索
- ⑨ 静止画や動画の撮影
- ⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない



Q25 平日に、1日当たりどのくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）をしますか。

<選択肢>

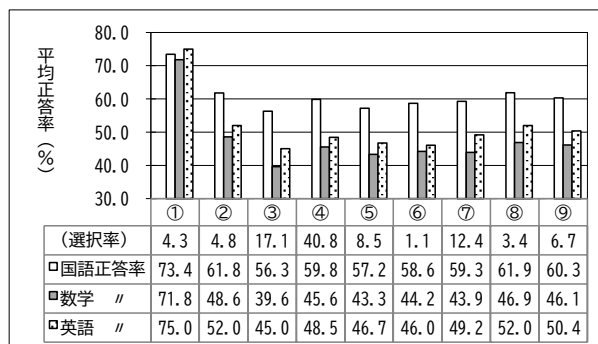
- ① 全く、またはほとんどしない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～1時間未満
- ④ 1時間～2時間未満
- ⑤ 2時間～3時間未満
- ⑥ 3時間～4時間未満
- ⑦ 4時間～5時間未満
- ⑧ 5時間以上



Q26 休日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

<選択肢>

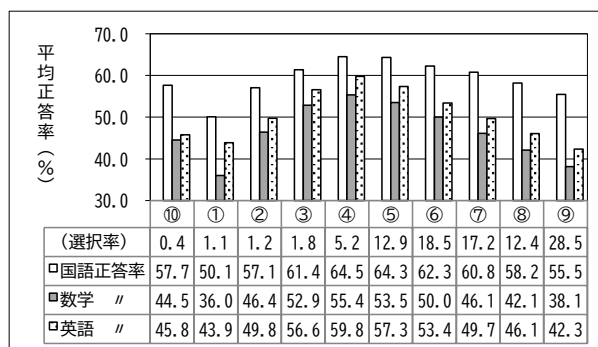
- ① 家庭学習
- ② テレビ（録画を含む）やDVD等
- ③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、SNS等
- ④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
- ⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
- ⑥ 読書
- ⑦ 自分の趣味（①～⑥を除く）
- ⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
- ⑨ その他



Q27 休日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は1日当たりどのくらいですか。

<選択肢>

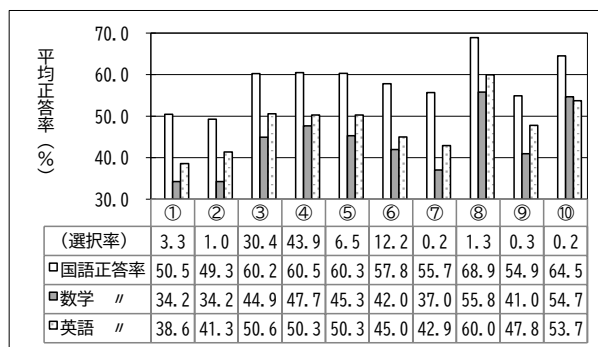
- ① 全く使わない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～1時間未満
- ④ 1時間～2時間未満
- ⑤ 2時間～3時間未満
- ⑥ 3時間～4時間未満
- ⑦ 4時間～5時間未満
- ⑧ 5時間～6時間未満
- ⑨ 6時間以上
- ⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない



Q28 休日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。

<選択肢>

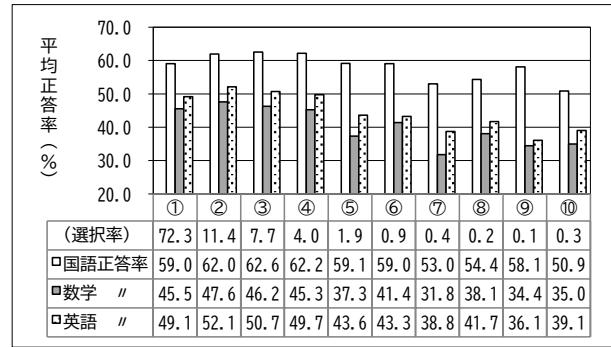
- ① 相手との通話
- ② メール
- ③ SNS（LINE、ツイッター、インスタグラム等）
- ④ 動画サイト
- ⑤ 音楽サイトや音楽プレイヤー
- ⑥ オンラインゲーム
- ⑦ ブログや掲示板
- ⑧ 情報・ニュース等の検索
- ⑨ 静止画や動画の撮影
- ⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない



Q29 休日に、1日当たりどのくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）をしますか。

<選択肢>

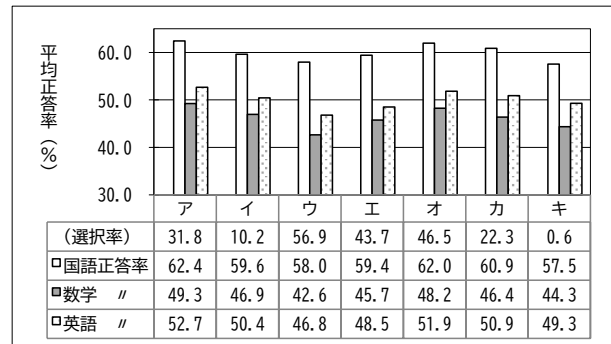
- ① 全く、またはほとんどしない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～1時間未満
- ④ 1時間～2時間未満
- ⑤ 2時間～3時間未満
- ⑥ 3時間～4時間未満
- ⑦ 4時間～5時間未満
- ⑧ 5時間～6時間未満
- ⑨ 6時間～7時間未満
- ⑩ 7時間以上



Q30 普段、次のような時に、スマートフォンや携帯電話でメールやメッセージ（LINE等）のやりとりをすることがありますか。（該当するものをすべて選んでください。）

<選択肢>

- ア 家庭で勉強しているとき
- イ 家族と一緒に食事をしているとき
- ウ 夜、ふとんやベッドに入ってから
- エ パソコンやゲームをしているとき
- オ テレビを見ているとき
- カ その他
- キ スマートフォンや携帯電話を持っていない



Q31 インターネットの利用に関して、どのような経験をしたことがありますか。（該当するものをすべて選んでください。）

<選択肢>

- ア 気がつく、思ったより長い時間ネットをしていることがある
- イ やるべき事があっても、まず先にSNSサイトやメールをチェックする
- ウ ネットが原因で、勉強に悪影響が出て成績が下がった
- エ 夜遅くまでネットをすることが原因で、睡眠時間が短くなっている
- オ ネットで新しく知り合いを作ることがある
- カ ネットをする時間や頻度を減らそうとしても、できないことがある
- キ ネットをする時間や回数、内容を家族や先生に隠そうとすることがある
- ク ネットをしていない時はイライラしたり憂鬱な気持ちになったりする
- ケ 家族や友人と外出するよりもネットを利用することを選ぶことがある
- コ 様々な問題から気をそらすためにネットで時間を過ごすことがある

